



令和4年版 姫路市

消防年報



このページは空白です。

令和 4 年 版

姫 路 市 消 防 年 報

姫路市消防局

は じ め に

この年報は、姫路市消防局における消防行政の概要と令和3年中の火災・救急・救助の状況を取りまとめたものです。広く各方面の皆さまにご高覧いただき、活用いただければ幸いと存じます。

今後も「生きがいと魅力ある 住みよい都市 姫路」の実現に向け取り組んでまいりますので、皆さまのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年6月

姫路市消防局長
松本 佳久

《 ご 利 用 の 前 に 》

- (1) 本書は、姫路市の消防防災の全般にわたる基礎的な統計資料を収録したもので、原則として令和3年度の資料を中心に収録しています。
- (2) 統計表の「年次」とあるのは、暦年（1月1日～12月31日）、「年度」とあるのは、会計年度（4月1日～翌年3月31日）を表すものです。
- (3) 統計表中の符号の用法は、次のとおりです。
 - 「－」……該当なし
 - 「▲」……負数

※ 合併等について

姫路市は、平成18年3月27日に近隣4町（家島町・夢前町・香寺町・安富町）と合併し、平成19年4月1日からは、神崎郡3町（市川町・福崎町・神河町）の消防事務（消防団・水利事務を除く）を受託しています。

本書には以下のとおりの統計数値を掲載しています。

- ① 平成18年中の表示は、夢前町・香寺町・安富町を除く数値
- ② 平成19年中の表示は、消防事務受託後の4月1日以降の数値
- ③ その他、例外的なものについては、頭注に表記

目次

第一部 施策編

第1章 総括

1	姫路市勢	1
2	一目統計	2
3	主な行事・出来事等	3
4	消防署所の配置	4
5	姫路消防の沿革	5
6	消防庁舎の現況	12
7	組織及び事務分掌	13
8	階級と職名	14
9	消防団の活動	15
10	令和4年度消防局重点目標	17
11	令和4年度消防局施策及び年間推進事項	18

第2章 災害を未然に防ぐために

1	予防広報	21
	・ 火災予防行事等の年間実施状況	21
	・ 広報手段	21
	(1) 姫路シティFM21での放送	21
	(2) 姫路ケーブルテレビでの放送	21
	(3) 情報提供	21
	・ 音楽隊	22
2	防火指導	23
	・ 立入検査	23
	・ 消防同意等	23
	・ 防火対象物定期点検報告制度	23
	・ 表示制度	24
	・ 防火管理	24
	(1) 防火管理者の役割	24
	(2) 防火管理者講習	24
	・ 住宅防火対策	24
	(1) 住宅用火災警報器等の普及促進	24
	(2) 高齢者等への防火訪問の実施	24
	・ 民間防火組織の育成	25
	(1) 婦人防火クラブ	25
	(2) 幼年消防クラブ	25
	・ 違反対象物公表制度	25
3	危険物規制	26
	・ 危険物保安体制	26
	・ 石油コンビナート等特別防災区域	26
	・ 保安教育	26

第3章 市民の生命財産を守るために

1	消防指揮体制	29
2	火災活動体制	29
	・ 火災出動体制	29
3	救急活動体制	29
	・ 救急出場体制	29
	・ 救急業務の高度化	30
	・ 派遣型救急ワークステーション	30
	・ 救急搬送支援システム	30
	・ 応急手当の普及啓発	30
	・ PA出動	31

	・ 「Thanksカード」の配布	31
4	救助活動体制	31
	・ 救助出動体制	31
	・ 救助出動状況	31
	・ 救助業務の高度化	32
	(1) 国際消防救助隊	32
	(2) 水難救助隊	32
	(3) 山岳救助隊	32
5	緊急通報受信体制	32
	・ 119番通報	33
	(1) IP電話からの119番通報	33
	(2) 携帯電話からの119番通報	33
	・ 119番以外による通報	33
	(1) FAX119	33
	(2) NET119	33
	・ 外国語同時通訳機能	33
	・ 119番による応急手当の指導	33
6	相互応援体制	34

第4章 災害について楽しく学ぶために

1	ひめじ防災プラザ	37
	・ 施設の利用	37
	・ 施設の紹介	37
	・ 来館状況	39
2	施設見学	41
3	トライやるウィークの受け入れ	41
4	市政出前講座	42
5	消防防災運動会	42

第二部 統計・資料編

人事・予算

1	職員の配置状況	46
2	年齢別職員数	47
3	年度別職員数	48
4	公務災害等の発生状況	48
5	職員の技能資格	48
6	職員表彰	49
7	市民表彰等	49
8	年度別一般会計及び消防費決算額	50
9	令和3年度消防費予算概要	50
10	年度別主要事業実施状況	51

警 防

1	消防車両等の配置状況	54
2	消防緊急車両等の一覧	55
3	部隊別主要資機材配備基準	56
4	消防水利の現況	57
5	消防水利の整備状況	57
6	開発行為による設置状況	57
7	泡消火薬剤の備蓄状況	58
8	出勤基準表	59

消防指令

1	総受信状況の推移	62
2	119番受信状況	62
3	119番受信状況の推移	63
4	119番通報形態(通報手段)の推移	63
5	FAX119受信状況の推移	64
6	NET119受信状況の推移	64
7	外国語同時通訳機能利用状況の推移	64
8	テレホンガイド受信状況の推移	64
9	医療機関問合せ状況の推移	64
10	姫路市救急受診ガイド利用状況の推移	64
11	119番による応急手当の口頭指導状況	64
12	消防通信系統図	65

予防・防災

1	火災予防に関する届出及び申請状況	68
2	防火対象物定期点検報告制度等に係る届出状況	69
3	液化石油ガス施設等の推移	70
4	指定査察対象物の推移	70
5	消防法等違反の実態と措置状況	70
6	指定査察対象物の立入検査実施状況	71
7	指定査察対象物の状況	72
8	中高層建築物・地下を有する建築物の状況	73
9	防火対象物使用開始検査の状況	74
10	防火管理者・消防計画を必要とする防火対象物の届出状況	75
11	消防同意等の推移	76
12	民間防火組織等の指導育成状況	76
13	自主防災組織の結成状況	77

危険物

1	危険物事務の処理状況	82
2	完成検査前検査の状況	82
3	仮貯蔵・仮取扱承認件数の状況	82
4	危険物施設の状況	82
5	危険物施設の推移	83
6	危険物施設立入検査実施状況	83
7	特定・準特定屋外タンクの容量別・品名別状況	84
8	特定事業所の危険物等貯蔵取扱量の状況	84
9	特定事業所の危険物施設の状況	84
10	姫路臨海地区特別防災区域の現況	85
11	危険物防災体制の推進状況	86

消防団

1	消防団の沿革	88
2	消防団の組織	90
3	階級別の定員	91
4	年齢別団員数	92
5	在職年数別団員数	92
6	報酬及び費用弁償	93
7	公務災害補償等の発生状況の推移	93
8	退職報償金の支給状況の推移	93
9	団員表彰の推移	93
10	教養訓練の実施状況の推移	94
11	消防ポンプ車庫及び消防ポンプ自動車の整備状況	94
12	団員の職業状況	95
13	分団別出火状況	96
14	消防団の装備・資機材	97

各種災害の状況

令和３年中の災害の状況	101	12 事故別・傷病程度別搬送人員	136
火 災		13 年齢別・事故別搬送人員	137
1 火災状況	102	14 年齢別・傷病程度別搬送人員	137
2 火災状況の推移	104	15 管轄外への救急搬送	138
3 降水量と出火率の推移	105	16 傷病程度構成比の推移	138
4 署別火災件数	105	17 急病件数の推移	139
5 月別火災状況	106	18 科目別傷病程度と傷病名（急病）	139
6 四季別火災状況	107	19 受傷部位・傷病程度と傷病名（外傷）	139
7 建物用途別火災状況	107	20 発生場所別傷病程度（交通事故）	140
8 建物火災に占める住宅火災の割合	108	21 発生場所別傷病程度（一般負傷）	140
9 火災の覚知方法	108	22 転院搬送人員の推移	140
10 初期消火実施状況	108	23 転院搬送の理由	140
11 初期消火失敗の理由	109	24 転院医療機関	141
12 主な火災一覧	109	25 隊員の行った応急処置の状況	141
13 小学校区別火災状況	110	26 応急処置実施状況	142
14 事務受託町の火災状況	110	27 救急救命士の特定行為実施状況の推移	142
15 出火原因の推移	111	28 救命率	143
16 建物用途別出火原因	112	29 不搬送状況	143
17 主な出火原因の状況	113	30 不搬送理由	143
（1）放火（疑いを含む）	113	31 市民処置状況	144
（2）たき火・焼却火	114		
（3）電気関係	115	救 助	
（4）たばこ	116	1 救助出動・活動状況	145
（5）こんろ	116	2 救助出動件数及び出動種別の推移	146
18 火災による死者の推移	117	3 署別救助事故発生状況及び活動状況	146
19 火災による死者の発生状況	117	4 署所別救助事故発生状況	147
20 火災による負傷者の推移	117	5 発生場所別救助事故状況	147
（1）火災種別による負傷者	118	6 水難救助事故の状況	148
（2）負傷者の区分	118	7 山岳救助事故の状況	148
（3）負傷原因	118	8 救助出動隊員数及び活動隊員数	149
（4）負傷経過	118	9 救助出動車両台数及び活動車両台数	149
21 出火場所と最寄り消防機関の距離	119	10 救助事故別傷病程度	149
22 出動区分別活動状況	120	11 救助資機材使用状況	150
23 車両別火災出動状況	122	12 救助訓練実施状況	150
24 先着隊の平均所要時間	123		
25 火災・救助以外の消防隊の緊急出動状況	124	資 料	
26 自動火災報知設備の誤作動による出動状況	124	令和３年度救急車適正利用啓発ポスター入賞作品	153
27 兵庫県消防防災航空隊災害出動状況	125	令和３年度防火ポスター最優秀賞・金賞	155
28 自治体消防発足以後の火災概要	126		
救 急			
1 救急出場件数	129		
2 救急出場件数の推移	130		
3 事故種別出場件数構成比の推移	130		
4 月別出場件数	131		
5 曜日別出場件数	131		
6 時間別出場件数	131		
7 小学校区別出場状況	132		
8 隊別活動状況	133		
9 当市が行った応援出場状況	134		
10 当市が受けた応援の状況	134		
11 隊別救急出場の推移	135		

このページは空白です。

第一部 施 策 編

このページは空白です。

第1章 総括

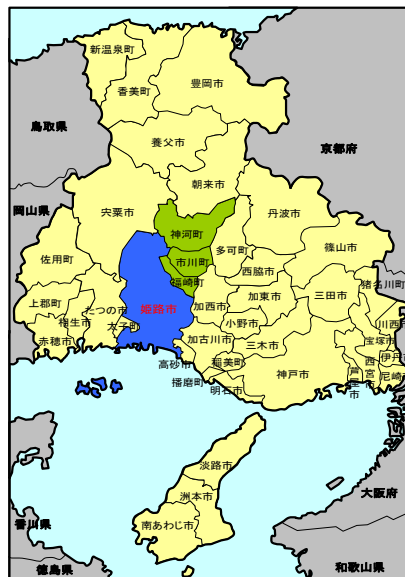


このページは空白です。

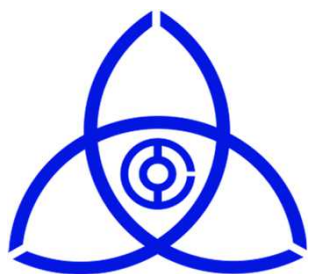
1 姫路市勢

姫路市は、兵庫県の南西部に位置し、人口はおよそ53万人、市域面積534k㎡で、北は中国山地の雪彦山、南は瀬戸内海に浮かぶ家島諸島を擁しています。年平均気温は15℃前後、年間降水量は1,200mm程度で、温和な気候である瀬戸内気候区に属しています。

■ 位置図



■ 市徽章



姫路の「姫」がモチーフ

■ 市旗



ヒメジの「ヒ」と白鷺がモチーフ

■ 市木



カシの木

■ 市鳥



しらさぎ（白鷺）

■ 市花



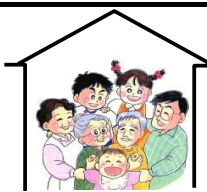
さぎ草

■ 市蝶



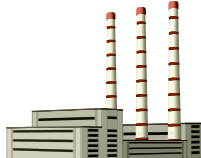
ジャコウアゲハ

2 一目統計

管 轄 面 積 管 轄 人 口 消 防 予 算 (R4. 3. 31現在)						
	面 積	人 口 (住民基本台帳)	人 口 密 度	世帯数 (住民基本台帳)	令和4年度消防局予算	
	姫 路 市	534. 35 km ²	529, 450 人	990. 8 人／km ²	237, 282 世帯	7, 166, 998千円
	受 託 町	330. 69 km ²	40, 831 人	123. 5 人／km ²	16, 884 世帯	
合 計	865. 04 km ²	570, 281 人	659. 3 人／km ²	254, 166 世帯		

【常備消防】 組 織 機 械 施 設 (R4. 4. 1現在)					
	署 所	消 防 職 員	消防局保有車両等 (非常用を含む)		消 防 水 利
	消防本部 1 消 防 署 5 分 署 2 出 張 所 13	定 員 604 人 実 員 578 人 平均年齢 37. 7 歳	指 揮 隊 車 3 台 S T 車 16 台 タ ン ク 車 9 台 は し ご 車 5 台 化 学 車 3 台	救助工作車 3 台 救 急 車 23 台 消 防 艇 1 隻 救 急 艇 1 隻 そ の 他 57 台	消 火 栓 21, 978 基 防 火 水 槽 717 基 防 火 井 戸 208 基 プ ール 等 249 基

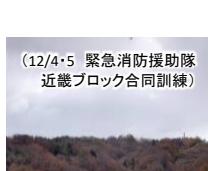
火 災 災 害 事 故 報 告 緊 急 通 報 (R3年中)					
	火 災	救 急	救 助	災 害 事 故	緊 急 通 報
	火災件数 164 件	救急出場件数 26, 567 件	救助出動 529 件	発生件数 1, 872 件 (警戒・誤報・風水害等)	総受信件数 44, 475 件 (うち119番 39, 828 件)

予 防 民間防火組織 (R4. 4. 1現在)					
	防 火 対 象 物	表示マーク制度	危 険 物 施 設	特 定 事 業 所	民 間 防 火 組 織
	1 7 条 21, 348 対象 8 条 5, 174 対象	交付宿泊施設数 金 13 対象 銀 3 対象	製造所 46 対象 貯蔵所 1, 420 対象 取扱所 677 対象	1 種事業所 6 対象 2 種事業所 8 対象	婦人防火クラブ 40 対象 幼年消防クラブ 65 対象

【非常備消防】 組 織 機 械 施 設 (R4. 4. 1現在)				防 災 (R4. 4. 1現在)	
	団・分団	消防団員	消防団協力事業所		自主防災組織
	消防団 8 団 消防分団 72 分団	定 員 3, 226 人 実 員 2, 890 人 平均年齢 42. 5 歳	表示交付事業所 72 事業所		結成数 782 (*) (結成率100%)

(*) 全自治会 (組織数925) で結成。

3 主な行事・出来事等（令和3年4月から令和4年3月）

4月	7日(水)～5/21(金) 26日(月)	緊急事態宣言発出（新型コロナウイルス感染症に伴うもの。～5/21まで） 消防救助技術近畿地区指導会に伴う訓練開始式	
5月	21日(金)	緊急事態宣言解除	
6月	6日(日)～12日(土) 12日(土)	危険物安全週間 NET119登録会	
7月	11日(日)	消防Ⅰ 消防吏員採用試験	
8月	1日(日) 30日(月)～9月5日(日)	高規格救急車受納式 防災の日 企画展示（ひめじ防災プラザ）	
9月	19日(日) 26日(日) 29日(水)	消防Ⅱ 消防吏員採用試験 アクリエひめじゼロ対応訓練 消防活動安全の誓い	
10月	1日(金) 3日(日) 15日(金) 26日(火) 29日(金)	播磨姫路救急搬送システム本格運用開始 雪彦山遭難対策協議会遭難救助訓練 兵庫県石油コンビナート等総合防災訓練（図上） 消防技術競技会（消防局訓練場） 令和3年度 防火ポスター表彰式	
11月	2日(火)～15日(月) 7日(日) 9日(火) 9日(火)～15日(月) 10日(水)	防火ポスター展（ひめじ防災プラザ） 姫路市消防音楽隊70周年記念演奏会 姫路駅周辺・都市型災害対応訓練 秋季全国火災予防運動 姫路市災害対策本部運営訓練（図上）	
12月	4日(土)、5日(日) 14日(火) 20日(月) 26日(日)～31日(金)	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練（兵庫県） 姫路港ゼロ対策合同訓練 年末火災特別警戒発隊式 消防団年末火災特別警戒	
1月	9日(日) 12日(水)～21日(金) 26日(水)	令和4年姫路市消防出初式 1.17「ひょうご安全の日」企画展（ひめじ防災プラザ） 文化財防火デーに伴う総合訓練（姫路城）	
2月			
3月	1日(火)～7日(月)	春季全国火災予防運動	

4 消防本部・消防署所の配置



区分	総計	姫路市	受託町		
			市川町	福崎町	神河町
面積 (km ²)	865.04 〔 100% 〕	534.35 〔 61.77% 〕	82.67 〔 9.56% 〕	45.79 〔 5.29% 〕	202.23 〔 23.38% 〕
人口 (人)	570,281 〔 100% 〕	529,450 〔 92.84% 〕	11,302 〔 1.98% 〕	18,762 〔 3.29% 〕	10,767 〔 1.89% 〕
世帯数 (世帯)	260,669 〔 100% 〕	243,798 〔 93.53% 〕	4,915 〔 1.89% 〕	7,771 〔 2.98% 〕	4,185 〔 1.61% 〕

※端数処理の関係上、表中の計算が合わないことがある。R4年3月31日現在の住民基本台帳人口)

【管轄署別面積・人口・世帯数】

区分	総計	姫路東 消防署	姫路西 消防署	飾 磨 消防署	網 干 消防署	中 播 消防署
面積 (km ²)	865.04 〔 100% 〕	105.11 〔 12.15% 〕	150.47 〔 17.39% 〕	75.65 〔 8.75% 〕	25.42 〔 2.94% 〕	508.39 〔 58.77% 〕
人口 (人)	570,281 〔 100% 〕	131,606 〔 23.10% 〕	147,816 〔 25.92% 〕	145,488 〔 25.51% 〕	69,547 〔 12.20% 〕	75,824 〔 13.30% 〕
世帯数 (世帯)	260,669 〔 100% 〕	61,961 〔 23.77% 〕	70,160 〔 26.92% 〕	65,780 〔 25.24% 〕	30,651 〔 11.76% 〕	32,117 〔 12.32% 〕

※端数処理の関係上、表中の計算が合わないことがある。R4年3月31日現在の住民基本台帳人口)

5 姫路消防の沿革

姫路市消防本部は、昭和23年3月7日に自治体消防として1本部、1消防署、消防職員90人、車両11台で発足しました。

半世紀以上経過した平成19年4月1日に神崎郡3町（市川町・福崎町・神河町）の消防事務を受託し、姫路の消防は、令和4年4月1日現在、1本部・5消防署・2分署・13出張所・消防車両等119台・消防艇等2隻・消防職員578人、消防団は8団・72分団、消防団員2,890人で安全・安心を担っています。

- | | |
|----------|---|
| 明治28年 | ・公設姫路消防組として発足した。 |
| 昭和 8年 1月 | ・姫路消防組常設消防部が発足した。 |
| 20年 3月 | ・常設消防部の消防員を兵庫県消防手として採用、姫路消防独立中隊として発足、消防署に昇格した。
(署長以下56名、車両10台) |
| 20年 7月 | ・兵庫県須磨消防署から派遣された人員・車両、姫路消防独立中隊及び飾磨消防独立中隊を併せて西播消防大隊として発足した。
(署長以下263名、車両31台) |
| | ・姫路青年学校の校舎内に臨時消防大隊仮本部を設置した。
部隊編成は、姫路(第1)中隊、飾磨(第2)中隊とした。 |
| 20年10月 | ・消防本部を姫路進駐軍接收の本町庁舎に移転した。 |
| 21年 2月 | ・兵庫県告示第161号をもって、消防署の名称、位置及び管轄区域が定められ、西播消防大隊は「兵庫県姫路消防署」に名称変更した。
(署長以下210名、車両19台)
(管轄区域) 姫路市、飾磨市、白浜町、広畑町、網干町、勝原村、余部村 |
| 21年 3月 | ・隣接する1市(飾磨市)、3町(白浜・広畑・網干町)、3村(大津・勝原・余部村)と合併した。 |
| 23年 3月 | ・消防組織法の施行による自治体消防への改革と同時に「姫路市消防本部」を設置し、また、署の名称も「姫路市消防署」に改めた。
消防本部 → 姫路市消防本部
消 防 署 → 姫路市消防署
出 張 所 → 飾磨出張所 網干出張所 白浜出張所 |
| 24年12月 | ・姫路市消防本部に関する規則の制定に伴い、「姫路市消防局」に名称変更し、総務、予防、消防、機械の各課を置いた。 |
| 25年 1月 | ・飾磨、網干出張所を署に昇格し、3署体制とした。
消防本部 → 姫路市消防局
消 防 署 → 姫路消防署 飾磨消防署 網干消防署
出 張 所 → 白浜出張所 延末出張所 |
| 25年 7月 | ・消防音楽隊を発足させた。 |
| 25年10月 | ・救急業務を開始した。(県下で2番目) |
| 27年 4月 | ・鳥取市大火に当市から応援出動した。 |
| 29年 7月 | ・隣接する5村(曾左・余部・糸引・八木・太市村)と合併した。 |
| 30年 1月 | ・文化財防火デー(1月26日)が制定された。 |
| 30年12月 | ・予防課を消防課に、機械課を総務課に統合し、従来の4課を2課に改めた。 |
| 31年 1月 | ・消防波無線機を導入した。
・特別救助隊を発足させた。 |
| 31年 4月 | ・市西北部に姫路消防署夢前出張所(現・飾西出張所)を新設した。 |

- 32年10月 ・ 隣接する4村(四郷・花田・御国野・別所村)と合併した。
- 33年 1月 ・ 隣接する1町(神南町)、2村(飾東・的形村)と合併した。
- 33年 9月 ・ 救急車に無線機を搭載した。
- 34年 2月 ・ 飾磨消防署広畑出張所を新設した。
- 34年 3月 ・ 昭和32年10月、隣接5ヶ村との合併により、市東部に姫路消防署御国野出張所を新設した。
- 34年 5月 ・ 隣接する大塩町と合併した。
- 34年 9月 ・ 危険物の規制に関する政令が制定された。
- 35年 6月 ・ 防災の日(9月1日)が制定された。
- 36年 4月 ・ 姫路消防署豊富出張所を新設した。
- 36年 5月 ・ 姫路消防署延末出張所を新築移転し、名称を姫路消防署手柄出張所に改めた。
- 37年 7月 ・ 姫路消防署姫路駅前出張所を新設した。
- ・ 災害対策基本法が施行された。
- 38年 4月 ・ 消防法の一部改正により救急業務が法制化された。
- 40年 5月 ・ 消防設備士資格制度が創設された。
- 42年 1月 ・ 飾磨消防署大の出張所を新設した。
- 42年 3月 ・ 隣接する林田町と合併した。
- 42年12月 ・ 姫路消防署夢前出張所を姫路消防署飾西出張所に名称を改めた。
- ・ 姫路消防署林田出張所を新設した。
- 43年 4月 ・ 姫路消防署飾西出張所を新築移転した。
- ・ 化学消火薬剤共同備蓄事業会を設立した。
- 44年 4月 ・ 予防課を新設し、3課体制とした。(総務課 消防課 予防課)
- ・ 消防指令センターを新設し、消防課に救助隊を設置した。
- 44年12月 ・ 網干消防署に監視テレビ装置を設置した。
- 45年 3月 ・ 指令無線基地網干前進基地局の運用を開始した。
- 45年 6月 ・ 救急車用サイレンの音色が変更された。
- 47年 9月 ・ 水難救助活動中隊員2名が殉職した。
- 48年 9月 ・ 姫路消防署城東救急分遣隊を新設した。
- 49年 3月 ・ 飾磨消防署を新築移転した。
- ・ 飾磨消防署に高所監視テレビ装置を導入した。
- 50年 3月 ・ 姫路市消防局及び姫路消防署を改築した。
- ・ 姫路消防署に高所監視テレビ装置を導入した。
- 50年 4月 ・ 夜間救急対策費運営要綱を制定、夜間救急患者の受け入れに協力した医療機関に対する謝礼金制度を確立した。
- 50年 6月 ・ 姫路海上保安署と船舶火災等に関する業務協定を締結した。
- 50年 7月 ・ 姫路市水難救助隊に関する規定を制定、水難災害事故を民間に委託した。
- 50年10月 ・ 市と臨海地区事業所間で災害防止協定を締結した。
- 51年 4月 ・ 姫路市消防審議会を設置した。
- ・ 災害緊急通報電話(ホットライン)を導入した。
- ・ 救急業務に協力した医師に対する報償金支給要綱を制定、救急現場への医師確保のための謝金制度を確立した。
- 51年 7月 ・ 姫路臨海地区が「石油コンビナート等災害防止法」の施行に伴い、特別防災区域の指定を受けた。
- 昭和51年 9月 ・ 救急隊員の健康管理の特別検診を開始した。

- 52年 3月 ・姫路消防署飾東出張所を新設した。
- 53年 4月 ・「石油コンビナート等災害防止法」の施行に伴い、激増する危険物行政に対応するため、危険物保安課を新設した。(総務課 消防課 予防課 危険物保安課)
- ・危険物関係事務電算処理システムを導入した。
- 53年 6月 ・網干消防署を新築移転した。
- ・網干消防署に高所監視テレビ装置を導入した。
- 53年 7月 ・救急隊員の行う応急処置等の基準が告示され、救急隊員の応急処置等が義務化された。
- 54年 2月 ・姫路市夜間急病センターが開設された。
- 54年 3月 ・姫路消防署増位出張所を新設した。
- 55年 3月 ・姫路消防署豊富出張所を新築移転した。
- ・飾磨消防署白浜出張所を分署に昇格し、新築移転した。
- 55年 4月 ・警防部を新設した。
- ・(総務課 警防部消防課 警防部予防課 警防部危険物保安課)
- ・姫路市役所の新築移転に伴い、消防局も市役所新庁舎に移転した。
- 55年 9月 ・救急隊員確保のため法的特例措置に基づき補充講習を実施、有資格隊員65名を確保した。
- 56年 1月 ・消防・救急指令装置を一新し、指令センターを新庁舎に移設した。
- ・救急関係事務電算処理システムを導入した。
- ・防火基準適合表示制度の運用を開始した。
- 56年 4月 ・姫路消防署城東救急分遣隊を廃止した。
- 56年 6月 ・姫路西消防署を新設した。
- ・姫路西消防署の新設に伴い、姫路消防署を姫路東消防署と改名した。
- 57年 3月 ・姫路東消防署御国野出張所を改築した。
- ・網干消防署勝原出張所を新設した。
- 57年 9月 ・救急の日・救急医療週間が制定された。
- 58年 4月 ・管理部、警防部の二部制に改革し、管理部に管理課、警防部予防課に査察専従隊を新設した。
- ・県救急医療情報システムによる救急管制業務が開始された。
- 58年 7月 ・管理部、警防部を廃止し、総務・警防担当の次長制を導入した。
- 59年 2月 ・指令無線基地大的前進基地局の運用を開始した。
- 59年 4月 ・飾磨消防署広畑出張所を改築した。
- 60年 4月 ・播磨灘流出油災害対策協議会が設立された。
- 61年 4月 ・消防法の一部改正により、救助隊の配置が義務化された。
- 61年11月 ・飾磨消防署広畑出張所を増築し、分署に昇格させた。
- 62年 9月 ・119の日が制定された。
- 63年 4月 ・各消防署に救急救助係を新設した。
- 63年 8月 ・兵庫県広域消防相互応援協定を締結した。
- 平成元年 9月 ・国際緊急援助隊の派遣に関する法律が交付・施行された。
- 2年 1月 ・危険物安全週間が制定された。
- 2年 7月 ・姫路東消防署、飾磨消防署に特別救助隊を設置した。
- 2年10月 ・姫路東消防署豊富出張所を増築した。
- 平成2年12月 ・緊急通報装置(安心コール)の受信を開始した。
- 3年 5月 ・ファックスによる緊急通報(ファックスコール)の受信を開始した。

- 3年 7月 ・ 消防次長を1人制とした。
- ・ 総務課と管理課を統合して総務課とし、消防課指令係を指令室に昇格させた。
- 3年 8月 ・ 救急救命士法が施行された。
- 4年 4月 ・ 姫路市における初の女性消防官を2人採用した。
- 4年 6月 ・ 初の救急救命士が誕生した。
- 5年 4月 ・ 姫路市救急指導医の嘱託制を開始した。
- ・ 高速自動車道消防協議会が発足した。
- 6年 1月 ・ 高規格救急車の運用を開始した。
- 6年 2月 ・ 救急救命士による特定行為を開始した。
- 7年 1月 ・ 阪神・淡路大震災による災害援助に応援出動した。
- 7年 3月 ・ 姫路市応急手当の普及啓発活動に関する要綱制定に伴い、応急手当指導員資格者35人を養成した。
- 7年 6月 ・ 消防緊急情報システムの運用を開始した。
- 7年 9月 ・ 緊急消防援助隊に登録した。
- 8年 4月 ・ 姫路市が中核市に移行した。
- ・ PHS電話からの119番受信を開始した。
- ・ 消防活動用資機材及び支援物資相互応援協定（堺市高石市・和歌山市・徳島市）を締結した。
- ・ 西播磨地域災害時等相互応援に関する協定を締結した。
- 8年 5月 ・ 災害時における生鮮食料品等の供給協力等相互応援に関する協定を締結した。
- ・ 榊原公ゆかり都市災害時等相互応援に関する協定を締結した。
- 8年10月 ・ 中核市災害時等相互応援に関する協定を締結した。
- ・ 兵庫県消防防災航空隊が発足した。
- 8年11月 ・ 姉妹都市災害時相互応援協定を締結した。
- ・ 大規模災害用人員搬送車を姫路東消防署に配備した。
- ・ 全消防署（4署）に非常電源装置（自家発電設備）を設置した。
- 9年 3月 ・ 山陽自動車道消防相互応援協定（全線）を締結した。
- 9年11月 ・ 災害時における姫路郵便局との相互協力に関する協定を締結した。
- 10年 1月 ・ 隣接都市（高砂・加古川・加西市）災害時相互応援協定を締結した。
- 10年 4月 ・ 携帯電話からの119番受信を開始した。
- ・ 消防職員OBの活用として防災指導員制度を導入した。
- 10年12月 ・ 高規格救急車を全隊(9隊)に配備完了した。
- 11年 3月 ・ 兵庫県水道災害相互応援に関する協定を締結した。
- 11年 4月 ・ 姫路市震度ネットワークシステムの運用を開始した。
- ・ 災害対策本部を整備し、運用を開始した。
- 11年 6月 ・ 災害時における食料、生活必需品等の供給に関する協定を締結した。
- ・ 災害時における物資の輸送に関する協定を締結した。
- 11年 7月 ・ 指令室を情報指令課に名称変更した。
- ・ 防災行政全般が消防局に移管され、防災課を新設し、防災監を置いた。
- 12年 3月 ・ 災害時における建設業界との応急対策に関する協定を締結した。
- 12年 4月 ・ 予防課と危険物保安課を統合し、5課体制とした。
- （総務課 消防課 予防課 情報指令課 防災課）
- ・ 姫路東消防署に女性救急隊員を配置した。
- 12年10月 ・ 国際消防救助隊編成協力市町村に登録した。

- 13年 1月 ・ 災害時における災害トイレ等の供給協定を締結した。
- 4月 ・ 国際消防救助隊員として登録した。
- 13年 7月 ・ 災害情報放送(姫路ケーブルテレビ(株))に関する協定を締結した。
- ・ 災害等緊急放送(株姫路シティFM21)の実施に関する協定を締結した。
- 13年 9月 ・ 「姫路市における消防力の整備に関する懇話会」を設置した。
- 13年11月 ・ P A出動の試行を開始した。
- 14年 1月 ・ 災害時における遺体の安置・搬送等の協力に関する協定を締結した。
- 14年 3月 ・ 「姫路市における消防力の整備に関する懇話会」から提言を受けた。
- ・ 生物・化学(BC)テロ対応資機材を国から貸与された。
- 14年11月 ・ P A出動の本格運用を開始した。
- 15年 3月 ・ 新消防艇「ひめじ」が竣工した。
- ・ 第1回 中・西播磨地域メディカルコントロール協議会を開催した。
- ・ BC災害対応部隊を姫路東消防署特別救助隊に配置した。
- 15年 4月 ・ 姫路市水難救助隊が発足した。
- 15年 5月 ・ 消防組織法の改正により、緊急消防援助隊が義務付けられた。
- ・ 第1回中・西播磨地域検証委員会を開催した。
- 15年 6月 ・ 避難所(県立高等学校)に関する覚書を締結した。
- 15年11月 ・ 女性救急救命士が誕生した。
- 16年 4月 ・ 避難所(兵庫県立大学)に関する覚書を締結した。
- 16年 6月 ・ 国民保護法が公布された。
- 16年 7月 ・ 救急救命士による気管挿管を開始した。
- ・ 福井豪雨に緊急消防援助隊として応援出動した。
- 16年 8月 ・ 救急隊員によるAEDの使用を開始した。
- 16年 9月 ・ IP電話からの119番受信を開始した。
- 16年10月 ・ 豊岡市水害へ応援出動した。
- 17年 4月 ・ JR福知山線列車事故(尼崎市)に応援出動した。
- 17年11月 ・ 携帯電話119番通報が直接受信方式へ移行した。
- 17年12月 ・ 水難救助車を飾磨消防署に配備した。
- 18年 1月 ・ 災害時要援護者用一時避難所に関する協定を締結した。
- 18年 3月 ・ 隣接する4町(家島・夢前・香寺・安富町)と合併した。
- ・ 合併町の消防体制を整備する間、夢前・香寺町域の消防事務を中播消防事務組合に、安富町域の消防事務を宍粟市に委託した。(19年3月末まで)
- 18年 4月 ・ 国民保護業務が消防局に移管され、防災課に国民保護担当を置いた。
- ・ 救急救命士(認定)による薬剤(アドレナリン)の投与を開始した。
- ・ 高度救助隊が法制化された。
- ・ 消防組織法の一部改正に基づき、「市町村の消防の広域化に関する基本指針」が示された。
- 18年12月 ・ 救急隊員の心肺蘇生法要領の改正に基づく、新プロトコールによる救急活動を開始した。
- 19年 1月 ・ 災害時における船舶による輸送等に関する協定を締結した。
- 19年 3月 ・ 姫路市国民保護計画を作成した。
- 19年 4月 ・ 姫路市防災センターを新設した。
- 姫路市防災センター内に消防本部を移転し、消防防災総合情報システム(高機能消防指令システム・防災情報システム)の運用を開始するとともに本部直轄隊を

- 配備した。
- ・姫路市の組織改正により、危機管理監が新設されるとともに、消防局長が危機管理担当理事を兼任、消防局内の災害への実効機能を高めるため、防災課を危機管理室に改名し、危機管理室長を置いた。
 - ・中播消防事務組合の解散に伴い、神崎郡3町(市川・福崎・神河町)の消防事務を受託し、中播消防事務組合の庁舎を姫路市中播消防署とした。
 - ・中播消防署香寺出張所を新設した。
 - ・姫路西消防署林田出張所を新築移転した。
 - ・姫路東消防署姫路駅前出張所及び姫路西消防署手柄出張所を廃止した。
〔1本部(4課・1室)、5署、2分署、11出張所体制となった。〕
 - ・指令無線基地林田・夢前前進基地局の運用を開始した。
 - ・中播消防無線基地局及び日光寺前進基地局の無線免許を承継し、前進基地局として運用を開始した。
 - ・消防課に本部直轄隊(指揮支援車・救助工作車・救急車・ポンプ車・災害対応車)を配置し、本部高度救助隊を発足した。
- 19年 5月 ・姫路市地域防災貢献事業所登録制度の運用を開始した。
- 19年 9月 ・姫路市で初めての国民保護訓練を実施した。
- 19年11月 ・姫路市危機管理基本指針を策定した。
- 20年 6月 ・姫路市職員定数条例を一部改正し、消防職員539人から561人とした。
- 20年10月 ・姫路市山岳救助隊を発足した。
- 21年 4月 ・姫路市の組織改正により、防災全般や国民保護など庁内の連携や調整を担当する防災審議監が新設され、消防局長は危機管理担当理事を兼任解除となった。
- 21年 8月 ・兵庫県北・西部豪雨に伴う応援出動をした。(佐用町・宍粟市)
- 22年 3月 ・消防局訓練施設を竣工した。
- 22年 4月 ・姫路市の組織改正により、消防局危機管理室が危機管理室に昇格し、防災や国民保護に関する業務が消防局から危機管理室に移管された。
〔1本部(4課)、5署、2分署、11出張所体制となった。〕
- 23年 3月 ・東日本大震災に緊急消防援助隊(兵庫県隊)を派遣した。
- 4月 ・飾磨消防署白浜分署を新築移転した。
- ・飾磨消防署家島出張所・坊勢出張所を開設し、救急業務を主体とした家島町域の常備消防体制を開始した。
〔1本部(4課)、5署、2分署、13出張所体制となった。〕
 - ・家島前進基地局の運用を開始した。
- 24年6月 ・横田石油㈱と消防業務に係る燃料調達に関する覚書を締結した。
- 9月 ・石油コンビナート火災活動中隊員1人が殉職した。
- 25年1月 ・飾磨消防署家島出張所を新築移転した。(家島事務所内に併設)
- 25年3月 ・飾磨消防署大の出張所を新築した。
- ・VSAT搭載型消防無線中継車・資機材搬送車を国から貸与された。
- 26年2月 ・ひめじ防災プラザをリニューアルオープンさせた。
- 4月 ・消防課を消防・救急課に名称変更した。
- 5月 ・姫路沖タンカー爆発火災に応援出動した。(消防艇)
- ・赤穂市の林野火災に応援出動した。
- 6月 ・相生市の林野火災に応援出動した。
- 27年3月 ・朝来市の工場火災に応援出動した。

- 27年11月 ・救急ワークステーション事業を開始した。
- 28年 1月 ・救急救命士（認定）による心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与を開始した。
- 28年 4月 ・姫路市職員定数条例を一部改正し、消防職員561人から565人とした。
- ・消防指揮隊が2隊、発足した。（本部、姫路東）
- ・高機能消防指令システムの更新及び消防救急デジタル無線システムの運用を開始した。
- ・熊本地震に緊急消防援助隊（兵庫県隊）を派遣した。
- 29年 3月 ・新型防火衣を導入した。
- ・姫路西消防署を増築した。
- 29年 4月 ・消防指揮隊の3隊運用を開始した。（本部、姫路東、姫路西）
- 〃 ・違反対象物公表制度を開始した。
- 29年 7月 ・飾磨消防署を増築した。
- 30年 3月 ・姫路西消防署飾西出張所を新築移転した。
- 30年 7月 ・広島県（平成30年7月豪雨）へ緊急消防援助隊（兵庫県隊）を派遣した。
- 31年 4月 ・水難救助車を本部へ配置替えした。
- 〃 ・消防・救急課を警防課と救急課、それぞれ単独の課とし、5課体制とした。
- 〃 ・水難救助車を本部へ配置替えした。
- 〃 ・新救急艇「いえしま」が就航した。
- 令和2年2月～ ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、感染防止対策を図る。
- 2年 4月 ・姫路市職員定数条例を一部改正し、消防職員565人から604人とした。
- 3年10月 ・中、西播磨地域の5市6町での協働により、「播磨姫路救急搬送システム（通称HEARTS）」を本格稼働した。
- 4年 5月 ・兵庫県立はりま姫路総合医療センター（愛称：はり姫）において、派遣型救急ワークステーションの運用を開始した。

6 消防庁舎の現況

区 分		所 在 地	構 造	敷地面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)	建築年月日
消 防 局 (防災センター)		姫路市三左衛門堀 西の町3番地	鉄筋コンクリート造6階建	1,932.99	6,614.87	平成19年 2月 15日
姫路東消防署	本 署	姫路市本町 68番地68	鉄筋コンクリート造3階建	3,985.02	1,580.53	昭和50年 3月 31日
	付 属 棟		コンクリートブロック造平屋建		284.31	〃
	自 転 車 置 場		軽量鉄骨造平屋建		21.60	〃
	倉 庫		鉄骨プレハブ造2階建		113.40	昭和61年 3月 31日
	御国野出張所	姫路市御国野町 国分寺65番地1	鉄筋コンクリート造2階建	392.00	195.45	昭和57年 3月 27日
	豊富出張所	姫路市豊富町 御蔭1112番地	鉄筋コンクリート造平屋建	677.06	256.53	昭和55年 3月 19日 (平成2年11月 増築)
救急消毒室		鉄筋コンクリート造平屋建		16.00	平成16年12月 28日	
飾 東 出 張 所	姫路市飾東町 山崎608番地4	鉄筋コンクリート造平屋建	456.87	175.56	昭和52年 3月 31日	
増 位 出 張 所	姫路市増位新町 一丁目18番地	鉄筋コンクリート造平屋建	570.00	182.94	昭和54年 3月 29日	
姫路西消防署	本 署	姫路市西今宿 三丁目7番20号	鉄筋コンクリート造2階建	2,644.59	1,292.09	昭和56年 6月 12日 (平成29年3月 増築)
	倉 庫		鉄筋コンクリート造平屋建		100.75	昭和56年 6月 12日
	カ ー ポ ー ト		鉄骨造平屋建		26.40	昭和57年 3月 31日
	自 転 車 置 場		鉄骨造平屋建		4.20	〃
飾 西 出 張 所	姫路市飾西341番地	鉄筋コンクリート造平屋建	816.70	394.75	平成30年 3月 22日	
林 田 出 張 所	姫路市林田町 六九谷136番地2	鉄筋コンクリート造平屋建	815.20	351.47	平成19年 3月 15日	
飾磨消防署	本 署	姫路市飾磨区 中島1130番地8	鉄筋コンクリート造2階建	3,346.57	1,551.19	昭和49年 3月 7日 (平成29年7月 増築)
	自 転 車 置 場		軽量鉄骨造平屋建		20.00	昭和49年 3月 7日
	白 浜 分 署	姫路市白浜町 甲840番地5	鉄筋コンクリート造平屋建	2,709.21	696.93	平成23年 2月 28日
	倉 庫		鉄骨造平屋建		127.41	〃
	発 電 機 棟		鉄筋コンクリート造平屋建		32.96	〃
	カ ー ポ ー ト		アルミ造平屋建		18.85	〃
	自 転 車 置 場		鉄筋コンクリート造平屋建		6.34	〃
	広 畑 分 署	姫路市広畑区東新町 二丁目30番地	鉄筋コンクリート造2階建	1,015.53	584.25	昭和59年 3月 29日 (昭和61年10月増築)
倉 庫		鉄筋コンクリート造平屋建		36.00	昭和59年 3月 29日	
大 的 出 張 所	姫路市の形町 的形1804番地4	鉄筋コンクリート造2階建	561.02	399.43	平成25年 3月 15日	
家 島 出 張 所	姫路市家島町 真浦2137番地1	鉄筋コンクリート造4階建	1,967.93	190.69	平成24年12月 25日	
坊 勢 出 張 所	姫路市家島町 坊勢186番地	鉄筋コンクリート造3階建	1,167.02	247.36	昭和56年6月 1日	
網干消防署	本 署	姫路市網干区大江島 古川町74番地	鉄筋コンクリート造2階建	3,348.77	990.38	昭和53年 6月 12日
	倉 庫		コンクリートブロック造平屋建		112.11	〃
	自 転 車 置 場		軽量鉄骨造平屋建		21.00	〃
勝 原 出 張 所	姫路市勝原区 宮田494番地1	鉄筋コンクリート造平屋建	588.54	189.45	昭和57年 3月 31日	
中播消防署	本 署	神崎郡福崎町 福崎新404番地2	鉄筋コンクリート造3階建	2,160.50	1,618.21	昭和52年 3月 17日
	訓 練 塔		鉄筋コンクリート造5階建		80.00	昭和55年 12月 25日
	倉 庫		コンクリートブロック造平屋建		35.84	〃
	夢 前 出 張 所	姫路市夢前町 前之庄3719番地6	鉄筋コンクリート造2階建	1,061.24	382.73	昭和53年 2月 1日
	香 寺 出 張 所	姫路市香寺町 香呂204番地1	鉄筋コンクリート造平屋建	801.21	349.97	平成19年 3月 16日
北 部 出 張 所	神崎郡市川町 澤98番地	鉄筋コンクリート造2階建	761.33	379.69	昭和53年 2月 1日	
消防局訓練施設		姫路市西今宿 三丁目643番地8	鉄骨造2階建	2,677.60	A塔: 83.0㎡ B塔: 166.5㎡ C塔: 130.2㎡	平成22年 3月 15日

7 組織及び事務分掌

消防本部 5課・26担当



消防署所 5署・2分署・13出張所

姫路東消防署

庶務担当

予防担当

指揮第一担当

警防第一担当

救急第一担当

指揮第二担当

警防第二担当

救急第二担当

御国野出張所

豊富出張所

飾東出張所

増位出張所

姫路西消防署

庶務担当

予防担当

指揮第一担当

警防第一担当

救急第一担当

指揮第二担当

警防第二担当

救急第二担当

飾西出張所

林田出張所

飾磨消防署

庶務担当

予防担当

指揮第一担当

警防第一担当

救急第一担当

指揮第二担当

警防第二担当

救急第二担当

白浜分署

広畑分署

大的出張所

家島出張所

坊勢出張所

網干消防署

庶務担当

予防担当

警防第一担当

救急第一担当

警防第二担当

救急第二担当

勝原出張所

中播消防署

庶務担当

予防担当

警防第一担当

救急第一担当

警防第二担当

救急第二担当

夢前出張所

香寺出張所

北部出張所

庶務担当

署の庶務 公印 人事、教養、服務 福利厚生
事務事業の計画及び総合調整 消防情報及び統計
庁舎及び附属施設の管理 消防団事務 消防職員の安全衛生管理
消防職団員等の公務災害補償事務 他の担当の主管に属さない事務

予防担当

防火思想の普及啓発 火災予防対策の樹立及び推進
防火対象物、危険物施設の立入検査及び指導 民間防火組織等の育成指導
消防用設備等の設置検査及び点検の指導 防火対象物定期点検報告制度
自主点検報告制度 防火対象物の使用開始検査 防火対象物、危険物施設の実態調査及び違反処理 風俗営業関係建築物の防火安全確保における関係機関の連携 旅館、ホテル等の営業許可等に係る消防法令適合通知等
直接通報等事務処理 防火管理の指導 特定事業所の災害予防 危険物製造所等の許可及び検査 危険物及び指定可燃物の規制 危険物取扱者免状の返納命令に係る調査事務 消防法、姫路市火災予防条例に基づく各種届出 液化石油ガス設備工事届の受理及び液化石油ガス販売事業者等への立入検査等 火薬類貯蔵者に対する立入検査等 高压ガス消費者に対する立入検査等

指揮第一担当

指揮第二担当

災害現場における指揮及び広報 指揮業務の計画
災害現場での活動に係る安全管理及び評価

警防第一担当

警防第二担当

水火災等の災害防ぎょ及び防除 消防警備 消防地水利
消防通信の運用 消防機械器具の管理及び改善 気象情報等の広報
通信等諸勤務の実施 火災及び救助の統計 救助業務の実施及び訓練
災害証明 姫路市火災予防条例第54条に基づく届出の受理

救急第一担当

救急第二担当

救急業務の実施及び訓練 救急技術の研究及び指導 応急手当の普及啓発
民間患者等搬送従事者の再講習 救急統計及び救急報告 救急広報

8 階級と職名

階 級	職 名	計
消 防 正 監		人
消 防 監	消防局次長、消防署長	7 人
消 防 司 令 長	消防局の課長 消防署の副署長、指揮隊長	16 人
消 防 司 令	消防局の課長補佐、係長 消防署の課長補佐、警防司令、指揮司令、分署長 出張所長、係長	110 人
消 防 司 令 補	消防局及び消防署の主任	195 人
消 防 士 長	消防局及び消防署の係員	143 人
消 防 副 士 長	消防局及び消防署の係員	45 人
消 防 士	消防局及び消防署の係員	51 人
事 務 吏 員	消防局長	1 人
計		568 人

8 階級と職名

階 級	職 名	計
消 防 正 監		人
消 防 監	消防局次長、消防署長	7 人
消 防 司 令 長	消防局の課長 消防署の副署長、指揮隊長	16 人
消 防 司 令	消防局の課長補佐、係長 消防署の課長補佐、警防司令、指揮司令、分署長 出張所長、係長	110 人
消 防 司 令 補	消防局及び消防署の主任	195 人
消 防 士 長	消防局及び消防署の係員	143 人
消 防 副 士 長	消防局及び消防署の係員	45 人
消 防 士	消防局及び消防署の係員	51 人
事 務 吏 員	消防局長	1 人
計		568 人

(※フルタイム再任用職員10人を除く)

9 消防団の活動

・消防団の組織

姫路市の消防団は、明治17年3月発足の船場本徳寺の私設消防組が、消防団規則（明治27年2月勅令第15号）公布により私設寺消防をそのまま移管、公設消防組として発足しました。

その後、周辺町村との合併等による市勢の変遷に伴い組織体制を改編し、現在、8団72分団、定員3,226人の体制となっています。

〔消防団の組織〕

区分 団	分団数	定 員	実 員
姫路東消防団	20	720	659
姫路西消防団	16	557	517
飾 磨 消 防 団	14	560	539
網 干 消 防 団	6	259	256
家島町消防団	4	170	145
夢前町消防団	7	560	456
香寺町消防団	3	240	233
安富町消防団	2	160	85
計	72 分団	3,226 人	2,890 人

・消防団の施設・装備

消防団には、地域の防災活動拠点となる分団車庫と災害時に機動力を発揮する消防ポンプ自動車を配備しています。

現在、施設整備事業として、市費による車庫建設、消防ポンプ自動車（C D - I 型）の更新を推進し、消防団活動の更なる充実強化を図っています。

〔消防ポンプ自動車等の配備状況〕

区分 団	消 防 ポンプ 自動車	普 通 積載車	軽 積載車	小 型 動 力 ポンプ
姫路東消防団	20	10	—	—
姫路西消防団	16	3	—	2
飾 磨 消 防 団	14	2	—	—
網 干 消 防 団	6	1	—	—
家島町消防団	3	—	17	—
夢前町消防団	7	—	1	—
香寺町消防団	3	—	1	—
安富町消防団	2	—	3	—
計	71台	16台	22台	2台

・消防団の業務・活動

非常勤の消防団員は、地域を愛するボランティア精神に基づき各自が職業に就きながら、消火活動のほか、地震や風水害などの大規模災害時等には、救出救助、避難誘導、災害防ぎょ活動を行っています。

平常時は、地域防災のリーダーとして、地域住民への防火・防災意識の啓発や訓練指導、火災予防や警備警戒活動にあたるなど地域の安全確保に努めています。

また、多様な災害に対応するため、訓練・研修を実施し、専門的技術や知識等の習得を図っています。

〔年間の主な活動・行事予定〕

予定月	活動・行事内容
	各団・各分団出初式
1月	姫路市消防出初式 文化財防火デー総合訓練
3月	春季火災予防運動
4月	新入団員教養訓練
5月～6月	水防訓練
5月～翌3月	応急手当指導員養成講習(隔年)
5月～翌3月	消防団幹部視察研修
7月	中播磨地区消防操法大会(隔年)
9月～11月	姫路市総合防災訓練
10月	新入団員教養訓練
11月～3月	県消防学校幹部教育入校
11月	秋季火災予防運動
	消防団幹部教育訓練
12月	消防団年末火災特別警戒

〔火災等活動(人員)状況〕 (令和3年中)

区分 団	火災	水防	訓練	年末警戒・ 予防運動等
姫路東消防団	394	—	573	2,231
姫路西消防団	428	—	541	2,355
飾 磨 消 防 団	427	—	339	2,086
網 干 消 防 団	195	—	131	1,191
家島町消防団	121	—	116	447
夢前町消防団	49	—	102	907
香寺町消防団	39	—	455	761
安富町消防団	57	55	8	189
計	1,710	55	2,265	10,167

・消防団協力事業所表示制度

姫路市消防団協力事業所表示制度は、複数の消防団員を従業員として雇用している事業所や消防団の訓練場所や災害発生時に資機材等を提供するなど、姫路市の消防団へ積極的に協力している事業所に対して、消防団協力事業所表示証を交付し、地域における当該事業所等の社会貢献を広報するとともに、地域防災力の充実強化を図るために実施する制度です。

《協力事業所の認定基準》

事業所等に消防関係法令上の違反がなく、以下のいずれかに適合しているときに申請若しくは推薦することができます。

- ① 10名以上又は従業員の10%以上の従業員が消防団に入団していること。
- ② 従業員等の消防団活動について、積極的に配慮していること。
 - ア 勤務時間中の消防団員としての出動や訓練等に関する配慮をしている事業所等
 - イ 消防団活動を行う際に、賃金・手当等をカットしない等の配慮をしている事業所等
 - ウ 消防団活動を行うことに対して、昇進や昇給等で不利に扱わないように内部規定などで定めている事業所等
 - エ 消防団員から推薦があり、団員の任務遂行に特に積極的に協力していると消防団長が認める事業所等
- ③ 災害の発生時等に資機材等を消防団に提供するなど消防団活動に協力をしていること。

※ 「災害時等に事業所の資機材等を消防団に提供するなど協力をしている事業所等」とは、災害時等における協定や覚書等を市と締結し、資機材を提供することが可能であり、消防団活動に係る協力体制を整備している事業所等
- ④ その他消防団活動に協力することにより、地域の消防防災体制の充実強化に寄与していること。

(令和4年4月現在)

表 示 証 交 付 事 業 所	72事業所
-----------------	-------



・実体験型講座「スマート消防団にズームイン！」

消防団は、地域防災力の中核として欠かすことのできない組織であり、消防団員は地域の防火防災のために昼夜を分かたず活動し、住民の安全安心を守っています。

しかし、消防団員数は微減傾向にあり、消防団員の確保は最重要課題となっています。消防団に入り活動していただくためには、まず消防団の理解促進が必要であることから、市民の方が放水や普通救命講習など消防団活動を体験できる取組として平成27年から始めました。

老若男女を問わず多くの方に参加していただいております。本イベントに参加し消防団へ入団された方もいらっしゃいます。



令和3年度に策定された姫路市総合計画において、人口減少や少子高齢化の進行など、本市が直面する課題に的確に対応するため、新たな時代の潮流や行政需要を捉え、目指す都市の姿と基本的なまちづくりの方向性が示されているなか、消防局においても、大規模自然災害への備え、さらに新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すとともに、防災・安全安心分野における「**災害に強く、安全で安心な都市**」の実現に向け、次の5つを令和4年度の重点施策に掲げ、各事業を推進する。

日常に潜む災害に対する市民意識等の向上

- ◇防火対策の推進
- ◇防災啓発の推進
- ◇応急手当の普及啓発

地域防災体制の強化

- ◇消防団体制の充実
- ◇消防団活動の活性化

迅速かつ的確な救急搬送の実現

- ◇救急需要対策の推進
- ◇医療機関との連携強化

消防救急救助体制の充実

- ◇消防・救急・救助拠点施設の充実
- ◇救助隊の充実強化
- ◇消防・救急救助車両・資機材の充実
- ◇消防指揮体制の充実強化
- ◇救急体制の充実強化
- ◇消防指令体制の充実強化

安全・保安体制の強化

- ◇危険物施設等の安全・保安体制の充実
- ◇火災原因調査体制の充実

11 令和4年度消防局所管事業及び事業内容

【主】・・・令和4年度主要事業

ア 日常に潜む災害に対する市民意識等の向上

- ① 防火対策の推進
 - ・ 防火意識の普及啓発
 - ・ 住宅防火対策の推進
 - ・ 放火火災予防対策の推進
 - ・ 防火管理体制の充実
- ② 防災啓発の推進
 - ・ まもりんピック姫路の開催
 - ▶ 消防署単位で実施
 - ・ 防災プラザの活用
- ③ 応急手当の普及啓発
 - ・ 救命・救急講習の実施
 - ・ 応急手当普及員・指導員の育成

イ 地域防災体制の強化

- ① 消防団体制の充実
 - ・ 施設の改修
 - ▶ (分団車庫) 的形・広峰
 - ・ 車両の更新
 - ▶ (CD-1) 御国野・別所・高浜・八木・坊勢
 - ▶ (軽積載車) 坊勢
 - ・ 消防団装備の充実
- ② 消防団活動の活性化
 - ・ 若手、女性消防団員等の加入促進
 - ・ 消防団員の活動しやすい環境づくり【主】
 - ▶ 報酬額及び支給方法の見直し
 - ▶ 出動基準等の見直し

ウ 迅速かつ的確な救急搬送の実現

- ① 需要対策の推進
 - ・ 救急搬送支援システムの活用【主】
 - ・ 救急車適正利用に向けた市民への啓発
 - ・ 救急需要増に向けた体制強化
 - ・ 指令業務A I 支援システムの活用
- ② 医療機関との連携強化
 - ・ 救急ワークステーションの拡充【主】
 - ・ 地域メディカルコントロール体制下での事後検証体制の充実

エ 消防救急救助活動体制の充実

- ① 消防・救急・救助拠点施設の充実
 - ▶ 家島出張所部分改修工事
- ② 消防救急救助車両・資機材等の充実
 - ・ 車両の更新
 - ▶ 救助工作車(西)
 - ▶ 小型水槽付消防ポンプ自動車(網干)
 - ▶ 高規格救急車(御国野・夢前)
 - ▶ 多目的車(家島・坊勢)
 - ・ 資機材の充実
 - ・ 耐震防火水槽の整備
 - ▶ 飾磨区宮 宮公園(密集市街地)
- ③ 救急体制の充実強化
 - ・ 救急救命士の病院実習等の実施
 - ・ 救急隊員への指示指導体制の整備
 - ・ 離島における救急搬送体制の確保
 - ・ 救急活動時の新型コロナウイルス感染症対策の強化【主】
- ④ 救助隊の充実強化
 - ・ 特別、高度、水難、山岳救助隊の充実
- ⑤ 消防指揮体制の充実強化
 - ・ 指揮隊の拡充
 - ・ 指揮者研修の開催
- ⑥ 消防指令体制の充実強化
 - ・ 現高機能消防指令システムの延命整備
 - ・ 高機能消防指令システムの更新
 - ・ 指令業務の充実強化【主】
 - ▶ 映像通報システムの導入

オ 安全・保安体制の強化

- ① 危険物施設等の安全・保安体制の充実
 - ・ 危険物施設、取扱者への検査、指導
 - ・ 危険物事故への啓発
 - ・ 火災・漏洩事故防止対策の充実強化
- ② 火災原因調査体制の充実
 - ・ 火災調査結果を活用した予防施策への反映・検証

第2章 災害を未然に防ぐために

住宅火災から大切な生命を守りましょう

～住宅用火災警報器の設置が義務付けられています～

つけて安心♪

大切な家族を守る

住宅用火災警報器

目頃から点検・維持管理を忘れずに

消防法の改正により、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています

知路市消防予防課 ☎079-223-9632 知路市知路東消防署 ☎079-284-0119 知路市知路西消防署 ☎079-294-0119
知路市舞島消防署 ☎079-233-0119 知路市黒干消防署 ☎079-273-0119 知路市中瀬消防署 ☎079-23-0119

このページは空白です。

1 予防広報

火災をはじめとする各種災害の発生を防止するとともに、その災害を最小限に止めるためには、市民一人ひとりが防災を自らの課題として考え、行動することが必要です。

そのため、新聞・テレビ・インターネット等の民間資力の活用をはじめとして、広報誌、パンフレット、ポスター等の製作・配布、ひめじ防災プラザでの学習・体験、広報車による巡回広報、消防教室等による広報活動を展開し、市民の防火防災意識の高揚を図っています。

・火災予防行事等の年間実施状況

春・秋季火災予防運動をはじめ、危険物安全週間、防災の日等のあらゆる機会を捉え、各種防火防災行事を幅広く展開し、市民、各種団体、事業所等に対し、火災予防思想の普及を図っています。

行 事 名	実 施 日
防災とボランティアの日(週間)	1月17日 (1月15日 ～ 1月21日)
文化財防火デー	1月26日
春季全国火災予防運動	3月 1日 ～ 3月 7日
危険物安全週間	6月第2週 (日曜日から土曜日までの1週間)
国民安全の日	7月 1日
防災の日(週間)	9月 1日 (8月30日 ～ 9月 5日)
119 番 の 日	11月 9日
秋季全国火災予防運動	11月 9日 ～ 11月15日
年末火災特別警戒	12月20日 ～ 12月31日



文化財防火デー総合訓練「姫路城」

・広報手段

(1) 姫路シティFM21 (FM GENKI) での放送

消防局は、姫路シティFM21を防災メディアとして活用し、災害時や災害発生の際のある時など緊急時には、適切な情報を迅速かつ一斉に伝達したり、災害の発生状況や被害の状況など、きめ細やかな情報をリアルタイムに提供しています。

また、平常時は、地震、風水害、火災等の災害に関する豆知識、日常生活でのケガ、病気等の応急手当の方法、消防団の活動紹介や消防防災関係の訓練やイベントのお知らせを消防・防災啓発番組「わが町・元気」の中で放送しています。

「わが町・元気」の放送時間(周波数: 79.3MHz)

	月～金曜日	土曜日	日曜日
1回目	8:45～8:50	9:35～9:40	9:05～9:10
2回目	11:15～11:20	11:15～11:20	10:20～10:25
3回目	13:05～13:10	13:05～13:10	13:30～13:35
4回目	17:30～17:35	17:30～17:35	15:30～15:35

(2) 姫路ケーブルテレビ(ウイंक)での放送

「消防局からのお知らせ」で、各種資格試験、行事予定など、市民の皆様にご覧いただきたい消防に関する情報を、

〔放送日時〕

日曜日 : 12時30分～12時35分



(3) 情報提供

市政記者クラブへの情報提供や、「広報ひめじ」、「姫路市ホームページ」への消防防災情報の掲載など、市民

・音楽隊

姫路市消防音楽隊は、昭和25年7月に火災予防広報及び消防職員の士気の高揚並びに情操の育成を目的として、「姫路市消防局音楽愛好者の集い」として発足し、その後、昭和31年5月に音楽隊に関する規程が制定され、「姫路市消防局音楽隊」として新たに誕生しました。

当時は、現在と比べて一般的に音楽に対する理解も少なく、音楽隊の命である楽器は、そのほとんどが個人の物という状況でしたが、先人や各関係者のたゆまぬ努力により、楽器や出演、練習体制などの活動環境が良くなり、それに比例するように、演奏技術も格段に進歩しています。

現在も、全隊員が消防業務などに従事しながら兼務体制で取り組んでいますが、今では、市民に親しまれる『赤い制服の音楽隊』として、市内を中心に、市主催のセレモニーや消防局の行事など、年間20回程度のイベントに出演しています。

〔音楽隊の組織〕

階級等 役職	合 計	総 務 課 長	消 防 司 令 長	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
総数	27	1	1	9	13	2	1
隊長	1	1	-	-	-	-	-
副隊長	1	-	1	-	-	-	-
演奏担当	25	-	-	9	13	2	1
演奏担当 楽長	1	-	-	1	-	-	-
演奏担当 副楽長	3	-	-	3	-	-	-
演奏担当 隊員	21	-	-	5	13	2	1

〔音楽隊の編成〕

総 数						25
ク	ラ	リ	ネ	ッ	ト	4
サ		ッ	ク		ス	4
フ		ル	ー		スト	1
ト	ラ	ン	ペ	ッ	ト	4
ホ			ル		ン	2
ト	ロ	ン	ボ	ー	ン	3
ユ	ー	フ	オ	ニ	ア	1
チ		ユ		ー	ム	1
パ	ー	カ	ッ	シ	ョ	4
指			揮		者	1



〔過去10年間の出演回数〕

年度	平成						令和		
	25	26	27	28	29	30	元	2	3
出演回数	27	27	25	21	22	19	14	2	11

2 防火指導

・立入検査

立入検査は、消防対象物の自主防火管理状況を消防職員による定期的な立入検査によって確認し、火災発生危険やこれに伴う人命危険を予防させることを目的とし、消防対象物を規模や用途により区分しています。

(令和3年度)				
区 分	立入検査実施数			内 容
	総計	姫路市	受託町	
特 種 査察対象物	373	300	73	①カラオケボックス、旅館・ホテル等、病院（避難困難施設）、有料老人ホーム関係、宿泊入居の伴う児童・社会福祉施設等 ②特定用途防火対象物で3階以上に特定用途部分が存し、かつ屋内階段が1系統しかないもの
第 1 種 査察対象物	312	279	33	①延面積700㎡以上のホテル・病院・百貨店等(特定用途防火対象物)で、自動火災報知設備・屋内消火栓設備等(固定消防用設備)の設置を必要とするもの ②重要な文化財として指定・認定された建造物
第 2 種 査察対象物	87	80	7	○延面積1,000㎡以上の工場・倉庫・学校等(非特定用途防火対象物)で固定消防用設備の設置を必要とするもの
第 3 種 査察対象物	321	277	44	○特・第1・2種以外の防火対象物で、固定消防用設備の設置を必要とするもの
第 4 種 査察対象物	493	446	47	①特・第1・2・3種以外で、消防用設備の設置を必要とするもの ②防火管理者の選任を要する対象物で、消防用設備の設置を必要としない防火対象物 ③火災予防条例に定める少量危険物又は指定可燃物の貯蔵・取扱いの届出を必要とするもの

・消防同意等

消防同意とは、消防機関が防火の専門家としての立場から、建築行政等に対して、建築物の新築等の段階で防火上のチェックを行い、予防行政の目的を達成しようとするものです。

公共施設の新築等の計画については、消防同意の対象とならないものもありますが、その場合についても、消防局がその計画（計画通知）に対して消防同意と同様のチェックを行います。

(令和3年度)			
区 分	件 数		
	総 数	姫 路 市	受 託 町
消 防 同 意	699	658	41
計 画 通 知	24	24	-

・防火対象物定期点検報告制度

一定の防火対象物の管理について権原を有する者は、防火対象物点検資格者に防火管理上必要な業務等について点検させ、その結果を消防機関に報告することが義務づけられています。点検を行った防火対象物が基準に適合している場合は、点検済の表示を付することができます。

また、消防機関に申請してその検査を受け、一定期間継続して消防法令を遵守していると認められた場合、3年間点検・報告が免除されるとともに、防火優良認定証を表示することができます。

(令和3年度)			
防火対象物定期点検制度対象物	総 数	姫路市	受託町
	611	562	49

・表示制度

ホテル・旅館等の宿泊施設からの申請に基づいて、消防機関が審査した結果、消防法令のほか、重要な建築構造等に関する基準に適合していると認められた建物に表示マーク（「適マーク」）を交付する制度です。

宿泊施設は、表示マーク（「適マーク」）を掲出して安全安心情報を利用者に提供することができます。外国人宿泊客の増加をふまえ、表示マーク（「適マーク」）には英語・中国語・韓国語を併記しています。

（令和4年4月1日現在）

姫路市消防局管内 表示マーク交付数	13（金） 3（銀）
----------------------	---------------



※「表示マーク（適マーク）」には金色と銀色の2種類があります。

3年間継続して「表示マーク（適マーク）（銀）」が交付され、表示基準に適合していると認められた場合は、「表示マーク（適マーク）（金）」が交付されます。

・防火管理

(1) 防火管理者の役割

消防法では、一定規模以上の建物に「防火管理者」を定め、防火管理上必要な業務を行うことが義務づけられています。

防火管理者制度とは、人の手による自主的な火災予防を目的としたものであり、日常における火気管理はもとより火災等の発生時の初期活動（人命の安全確保・火災の拡大防止・被害の軽減）を効果的に行うために重要な役割を果たしています。

（令和3年度末）

区 分	義務対象物数	選任対象物数	選 任 率
合 計	5,174	4,435	86%
姫 路 市	4,828	4,114	85%
受 託 町	346	321	93%

(2) 防火管理講習

消防法に規定する防火管理者の資格を取得するための講習を、年間7回（甲種7回・乙種1回）行っています。また、再講習の受講義務のある建物の防火管理者に選任されている方を対象として、再講習を年間2回行っています。

〔受講状況〕

（令和3年度）

区 分	受講人員
甲 種	379人
乙 種	7人
再 講 習	68人

・住宅防火対策

(1) 住宅用火災警報器等の普及促進

平成16年6月の消防法改正により、住宅の用途に供される防火対象物に住宅用火災警報器等の設置が義務づけられました。

これは、当時、住宅火災による死者数が増加傾向であり、特に逃げ遅れによる死者を減少させるためのものです。

住宅用火災警報器は、煙を自動的に感知し、ブザーや音声で住宅内の火災発生を知らせる機器で、寝室として使用する部屋と、寝室が2階以上にある場合は階段にも取り付けることが義務付けられています。この機器の設置及び維持に関する事項等については、姫路市 火災予防条例で定められています。（H17.10改正）

令和3年6月現在、設置率92%、条例適合率87%で推移しています。



(2) 高齢者対策

住宅火災における犠牲者で高齢者の比率が高いことから、この種の犠牲者を一人でも少なくするため、住宅用火災警報器・住宅用消火器の設置や防災製品などの使用を勧めたり、火気使用時の注意事項を、各種講演会・住宅訪問などの機会を通じて、市民指導を実施しています。

また、高齢者に見やすいチラシ・ポスターを作成したり、ケーブルテレビ、新聞、各種機関誌などを活用して啓発しています。

・民間防火組織の育成

(1) 民間防火クラブ交流委員会

今後の人口減少社会を踏まえ、各消防署（５署）単位で、婦人防火クラブや幼年消防クラブの活性化を図り、消防団とも連携した組織を結成し、地域ぐるみで災害に強いまちづくりを目指しています。

(2) 婦人防火クラブ

地域の安全や安心等の基盤づくりに女性の参画を促し、女性の視点や観点を活かした防災体制を確立するため結成された組織です。

女性が主体となった消防訓練や家庭防火に関する消防教室等を実施し、地域防災の要として活動しています。



〔結成状況〕		(令和4年4月1日現在)
40クラブ		3,388人
		(姫路市のみ)

(3) 幼年消防クラブ

幼年期から、防火の重要性や災害に対する知識を習得することで、成人してから、火災予防や防災に対する意識を持ち続け、災害時に適切に対応できる人材を育成するため活動を行っています。



〔結成状況〕			(令和4年4月1日現在)
区 分	クラブ数	クラブ員数	
幼年消防クラブ	65クラブ	2,990人	

・違反対象物公表制度

重大な消防法令違反のある建物について、その建物を利用する方自らが火災危険性に関する情報を入手し利用について判断ができるよう、消防法令違反を消防局ホームページに公表する制度です。

○公表の対象となる建物

- ・飲食店、百貨店、宿泊施設などの不特定多数の方が利用する建物
- ・病院、社会福祉施設などの１人で避難することが困難な方が利用する建物

○公表の対象となる違反

建物に設置が義務付けられている「屋内消火栓設備」、「スプリンクラー設備」又は「自動火災報知設備」のいずれかが消防法令に違反して設置されていないもの

○公表の内容

「建物の名称」「建物の所在地」「違反事項・場所」「公表日」「管轄消防署」

○公表ＨＰアドレス…<https://www.city.himeji.lg.jp/bousai/0000004868.html>



3 危険物規制

・危険物保安体制

近年の科学技術、産業経済の発展により、危険物の態様とそれを取り巻く環境には著しい変化がみられ、それに伴い危険物に起因する災害も多様化しています。

消防局においては、危険物災害の絶滅を期するため、立入検査や講習会等の機会を通じ、危険物の貯蔵・取り扱いの実態に即した保安体制の確立を図り、併せて地震時等における危険物保有事業所の自主防災体制のより一層の充実・強化を図っています。

また、危険物の取り扱いがますます多様化する傾向の中、危険物災害の未然防止を図り、市民生活の安全を更に高めていくため、厳正な法令等の執行とともに、危険物取扱者に対する適正な指導及び査察体制の充実強化に努めています。

・石油コンビナート等特別防災区域

石油コンビナート等災害防止法に基づき、姫路市の南部約18.99km²が姫路臨海地区特別防災区域に指定（昭和51年7月14日）されています。

同地区は、14事業所が特定事業所に指定され、各事業所では、防災資機材等を設置し、防災体制を確立しています。

更に、特別防災区域の防災対策を総合的・計画的に推進するため、「兵庫県石油コンビナート等防災計画」が定められています。

〔特定事業所数〕		令和3年度末	
区分	総数	第一種事業所	第二種事業所
		6	8

・保安教育

危険物施設事故の原因は、管理や確認が不十分であったなど人的要因によるものが大半を占めており、なかでも作業・設備点検マニュアルの不徹底等が見受けられます。

この種の事故を未然に防止するため、危険物取扱者等に対し防災意識の高揚及び通報体制の整備充実を指導し、自主保安体制の確立を図っています。

また、毎年6月の第2週の「危険物安全週間」には、危険物安全大会を開催し、防災講演会を実施するほか、危険物安全週間ポスターの作成配布、広報媒体を通じた危険物の安全管理意識の啓発を図るとともに、各種消防訓練の実施、危険物施設の立入検査、予防規程・防災規程、各種計画等の見直し指導を行っています。

〔保安教育等実施状況〕			(令和3年度末)
区 分	回 数	受講人員	
合 計	10	878	
保 安 講 習	6	691	
危険物取扱者教育	4	187	



第3章 市民の生命財産を守るために



119番通報をするときは、
次の点に注意してください！

- ・ 場所がわからない場合は、近くの目標物を教えてください。
- ・ 聴き取り中でも、消防車や救急車は出動させています。
あわてずに係員が尋ねる内容に答えてください。
- ・ 通報の後でも携帯電話の電源は切らないでください。
再度、係員が確認のためにかけ直す場合があります。
- ・ 火事など災害のお問い合わせは、
テレホンガイド(災害案内)0180-997-007へ
問い合わせ等、緊急性のない場合は、代表電話 (079) 223-0003へ
かけてください。
- ・ 自分で病院へ行くか、救急車を呼んだほうがよいか迷ったら、
「姫路市救急受診ガイド」を活用してください。

このページは空白です。

1 消防指揮体制

南海トラフ地震、大規模火災等に対し、隊員の安全を確保しつつ、迅速かつ効果的に活動するため、現場指揮を専門とする消防指揮隊を平成28年度から編成しています。

現在、姫路東指揮隊・姫路西指揮隊・飾磨指揮隊の3隊で受託町を含む全域の災害に対応しています。

消防指揮隊は、ドローンやタブレット端末等を活用した情報収集により、消防指令センターへ映像情報を送信し、緊密な連携を図りながら、消防活動を行っています。

2 火災活動体制

・火災出動体制

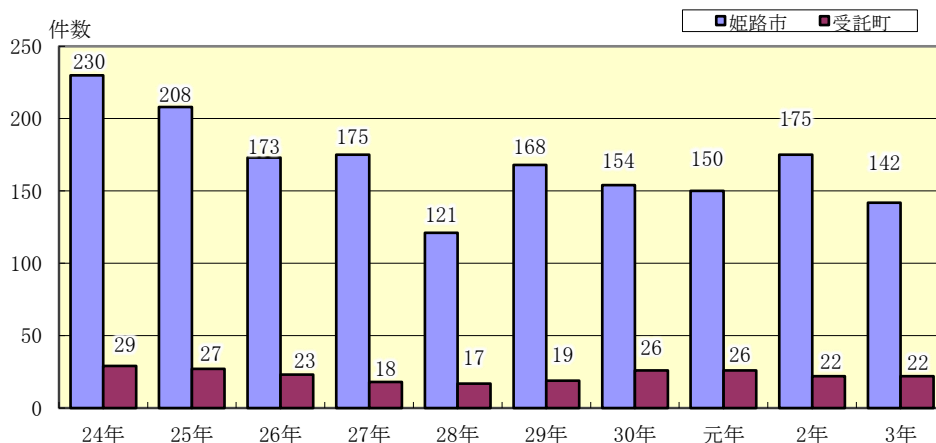
消防指令センターのコンピュータ（高機能消防指令システム）が火災種別に応じて出動車両を自動編成し、これにより出動指令を受けた各消防隊等は、保有する消防力を有効に活用して、人命救助、火災の鎮圧などの活動を行います。

常備消防としては、1本部・5消防署・2分署及び13出張所に指揮隊車3台、小型水槽付消防ポンプ自動車（ST車）16台、水槽付消防ポンプ自動車（タンク車）9台、はしご車・救助工作車・救急車等の緊急車両54台、消防艇及び救急艇各1隻を配置し、出動体制を確保しています。（消防団関係については別掲）

あらかじめ定められた出動基準に基づき、火災分類及び出動区分に応じて出動するほか、火災の状況によっては更に特命による出動に対応しています。



〔過去10年間の火災発生状況〕



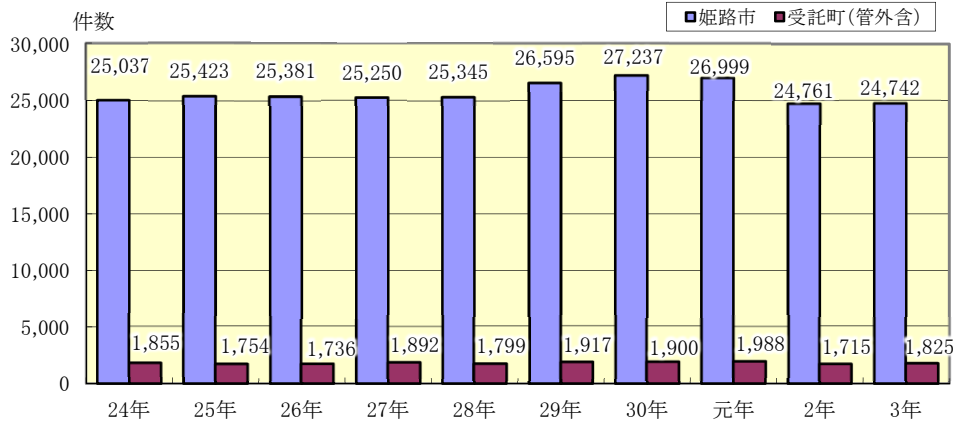
3 救急活動体制

・救急出場体制

消防指令センターは119番通報を受信し、原則、救急現場に最も早く駆けつけられる救急隊を出場させます。出場指令を受けた各救急隊は、救急資器材を迅速・的確に活用し、傷病者に応急処置を施しながら医療機関まで搬送します。

救急隊は、18隊で活動しており、救急要請に24時間体制で対応しています。

〔過去10年間の救急出場の推移〕



・救急業務の高度化

平成3年の救急救命士法等の制定による救急高度化に対応して、平成4年に初の救急救命士が誕生し、令和4年4月1日現在、135人となっています。

平成5年に高規格救急車と高度救急資器材を配備し、運用を開始しました。

・派遣型救急ワークステーション

平成28年4月から「派遣型救急ワークステーション」事業の運用を開始し、医療機関と救急隊との連携を充実・強化し、質の高い救急サービスの提供を目指しています。

現在は、はりま姫路総合医療センターと姫路聖マリア病院で実施しています。

・救急搬送支援システム

救急隊と病院が患者の受け入れ可能状況などをリアルタイムで共有できるシステムで、救急搬送時間の短縮に努めています。令和3年10月から本格運用を開始しています。

・応急手当の普及啓発

市民に対して応急手当普及員の養成、普及啓発用資器材の配備などを行い、自動体外式除細動器（AED）の使用方法を含めた「普通救命講習」等の講習会を行っています。

救急患者の身近にいる市民等が素早い応急手当を行い、救急隊員そして医師へと救命リレーすることが、救命率をより向上させることに繋がります。



(令和3年中)

〔講習会実施状況〕

区 分	回数	人数
普通救命講習	68	742
その他の救急講習	42	1,098

・PA出動

直近の消防車を出動させ、救急隊が到着するまでの間、応急処置と情報収集を実施し、救命効果の向上と初動対応の迅速化を図るものです。

現在、救急隊が現場到着までに時間を要する地域の3小学校区（大塩・的形・谷内）で、屋外で発生した救急事故及び屋内における重症以上の事故により、PA出動が必要と判断した事案を対象に運用しています。

〔PA出動状況〕 (令和3年中)

出動 校区	事故 種別	交通 事故	一般 負傷	労働 災害	急病	その他	合計 (件)
大 塩		7	14	1	26	4	52
的 形		4	6	1	26	3	40
谷 内		1	2	2	8	2	15
合計(件)		12	22	4	60	9	107

・「 Thanksカード」の配布

平成28年9月9日から応急手当をして頂いた市民の方に「Thanksカード」を配布しています。

感謝の気持を表すことはもちろん、応急手当に対する不安等にも対応するため、相談窓口も記載しています。

4 救助活動体制

・救助出動体制

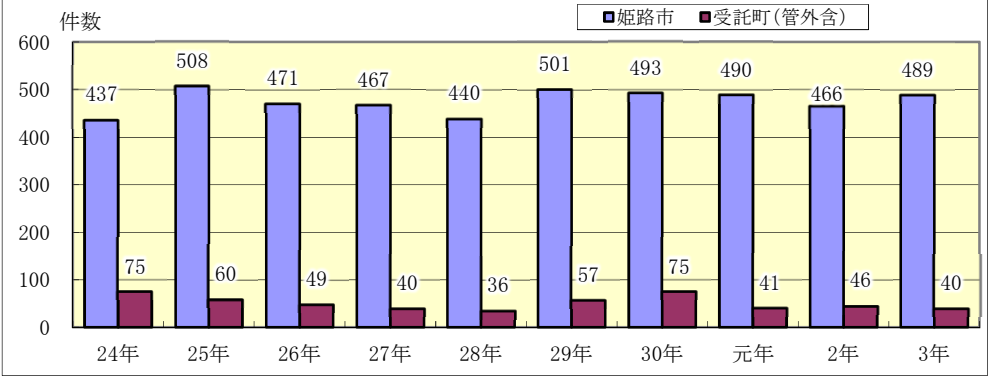
複雑多様化している社会情勢を反映するように災害も複雑大規模化の傾向があり、テロ災害等の人為的災害も含まれるようになりました。

これらの災害から、自力避難の困難な要救助者を確実に、迅速に安全な場所へ救出するとともに、救急隊に引き継ぐことを任務とする救助隊は、必要不可欠です。

昭和61年に救助隊を編成することが法制化され、平成18年の改正により本市においても、救助工作車を3台配備するとともに、高度救助隊1隊、特別救助隊2隊、署救助隊3隊を編成して救助事案に対応しています。

また、平成18年9月から日本DMAT研修（災害医療派遣チーム）に参加し、大規模災害時における現場でのレスキューと医療の連携要領を研修しています。

〔過去10年間の救助出動の推移〕



〔救助出動状況〕 (令和3年中)

区 分	救助 出動件数	救助 活動件数	救助人員
総 数	529 (489)	280 (257)	215 (196)
火 災	72 (64)	13 (11)	11 (10)
交 通 事 故	121 (108)	62 (54)	66 (58)
水 難 事 故	16 (16)	13 (13)	13 (13)
風水害 自然災害	0 (0)	0 (0)	0 (0)
機 械 事 故	3 (2)	1 (1)	1 (1)
建物等による 事故	142 (135)	133 (126)	75 (71)
ガス及び酸欠事故	2 (1)	2 (1)	1 (0)
そ の 他	173 (163)	56 (51)	49 (43)

() 内は姫路市の数値



・救助業務の高度化

(1) 国際消防救助隊(I R T)

姫路市は、平成13年4月1日に国際消防救助隊員を登録し、これまで県下4消防本部の合同訓練、国が行う連携訓練、J I C A (国際協力機構) が実施する資機材習熟訓練、セミナー等に参加し、国際緊急援助隊(J D R)の救助チームの一員として、海外の災害に隊員を派遣する体制を整えています。



【愛ある手】

※兵庫県下の登録市 神戸市・尼崎市・西宮市・姫路市

※全国の登録消防本部と隊員数 77消防本部 599人

(2) 水難救助隊

昭和47年9月に潜水救助活動中の救助隊員2人が濁流にのまれ殉職しました。以来、水難救助業務を民間ダイバークラブに委嘱していましたが、平成15年4月1日から潜水士の資格を持ち、過酷な訓練を重ねた消防職員で編成された「姫路市消防局水難救助隊」を発足させました。

管内で発生する水難事故に対していち早く現場に出動するため、平成17年度には水難救助車を導入し、陸上部隊と連携をとりながら、水難救助活動を展開しています。



(3) 山岳救助隊

平成18年3月、市町合併等広域化により、雪彦山等の急峻な山岳地帯を管轄することとなりました。

山岳救助に係る専門的な知識や技能及び技術を研修や訓練により修得し、平成20年10月に「姫路市消防局山岳救助隊」を発足、危険な山岳部での救助活動に対応しています。



5 緊急通報受信体制

消防活動の中核的役割を果たす消防指令センターでは、119番通報をはじめ、あらゆる手段による緊急通報の受付を行っています。

平成28年4月には、消防情報通信指令システムを更新し、大規模災害に備え、災害即応力の充実強化を図りました。

係員はこのシステムを活用し、緊急通報の受付から消防署所への出動指令、活動支援、情報収集や関係機関への連絡などの業務を行っています。

また、聴覚や言語などに障害のある方からの音声によらない119番通報を可能とするため、携帯電話などのインターネット機能を用いたN E T 119や、外国人からの通報に確実に対応できる同時通訳のサービスも行っています。



・119番通報

令和3年中の119番通報の受信件数は、39,828件でした。

その内「災害問い合わせ」、「医療機関問い合わせ」、「まちがい」及び「いたずら」等の緊急性のない通報が9,893件もあり、全体の24.8%を占めています。緊急性のない通報は、救いを求めている方からの一刻も早い通報の妨げとなるため、適切な119番通報を心がけて頂くようパンフレットやマスメディアを活用した啓発を行っています。

(1) I P 電話からの119番通報

平成16年9月から一部 I P 電話事業者からの119番通報の受信を開始し、現在では、5事業者からの119番通報を受信しています。

(2) 携帯電話からの119番通報

平成10年4月から、全ての携帯電話からの119番通報が可能となり、現在では、4事業者からの119番通報を受信しています。

平成19年4月からは、携帯電話発信位置表示システムを導入し、通報者の位置等を迅速に把握することが可能となりました。平成28年4月からは、統合型位置情報通知システムを導入し、携帯電話・I P 電話と固定電話からの通報位置を通知するシステムを統合しました。

令和3年中の受信件数は22,722件で、119番通報全体の57.1%を占めています。

・119番以外による通報

(1) F A X 119

聴覚や言語機能に障害のある方のために、ファックスで消防指令センターへ通報するシステムです。

平成19年4月からは、局番なしの119番でファックス送信ができるようになりました。

(2) N E T 119

聴覚や言語機能に障害のある方のために、携帯電話やスマートフォンのインターネット機能を利用して、消防指令センターに通報するシステムです。

平成19年4月から運用を開始したW e b 119から機能強化を図ったもので、利用するためには、事前に消防指令センターへの申込が必要です。

・外国語同時通訳機能

日本語によるコミュニケーションが困難な方からの119番通報に対応した同時通訳サービスです。平成28年4月から5カ国語対応でサービスを開始し、平成30年からは16カ国語、令和4年4月からは22カ国語に対応しています。119番通報時には通報者と係員とコールセンター(通訳者)で、災害現場では関係者と救急隊等とコールセンターの三者で同時通話します。

対応言語は、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、フランス語、ロシア語、モンゴル語、ヒンディー語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、タガログ語、ネパール語、ペルシャ語、ミャンマー語、アラビア語、ウルドゥー語、ラオス語、ベンガル語、広東語、台湾語です。

・119番による応急手当の指導

突然の事故や病気の際、早期に応急手当を行う必要があります。特に生命の危機的状況にある人を救命し、社会復帰に導くためには、傷病者のそばに居合わせた者(バイスタンダー)が適切な応急手当をすることが重要です。

119番通報を受信し救急車が現場に到着するまでの間に、通報内容から応急手当が必要であると消防指令センターの係員が判断した場合、通報者に対して心肺蘇生法や止血法等を口頭で指導し、救命率の向上を図っています。

6 相互応援体制

市町村は、当該市町村の区域における消防を十分に果たす責任を有しますが、本市では、大規模災害等発生時の消防力の確保のため、消防組織法第39条の規定に基づき、県下・隣接地域等における消防に関する相互応援を締結しています。

他の消防本部との協定等

緊急消防援助隊への登録	国内で発生した大規模災害時における消防庁長官の応援措置による人命救助活動等を、より効果的かつ充実したものとするため、緊急消防援助隊要綱が法制化され、当市からも指揮隊1隊、消火小隊9隊、救助小隊1隊、特殊災害小隊2隊、救急小隊4隊、後方支援小隊3隊、通信支援小隊1隊、特殊装備小隊2隊を登録しています。
大規模特殊災害時における広域航空消防応援	国内で発生した大規模特殊災害等において、全国の消防組織が保有する防災ヘリコプター等による広域航空消防応援が円滑かつ迅速に行われるよう、広域航空消防応援実施要綱が制定されています。 これにより、本市においても全国規模の航空消防応援を受けることが可能となっています。
兵庫県広域消防相互応援協定	全県的な広域相互応援及び航空応援体制の確立を目的としています。
消防業務の相互応援に関する協定	隣接の市（加古川市・高砂市）及び行政事務組合（南但広域行政事務組合、北はりま消防組合、西はりま消防組合）との協定で、境界付近の火災又は救急救助事故等に対処することを目的としています。
山陽自動車道消防相互応援協定	山陽自動車道上において災害が発生した場合、協定市等（姫路市・西宮市・三田市・神戸市・三木市・小野市・加古川市・西はりま消防組合・赤穂市・東備消防組合（岡山県））が相互に応援し、その応急対策活動に万全を期することを目的としています。
播但連絡有料道路における消防業務の相互応援に関する協定	播但連絡有料道路上において災害が発生した場合、兵庫県道路公社と姫路市、南但広域行政事務組合が相互に応援し、応急対策活動に万全を期することを目的としています。
中国自動車道のうち兵庫県の区域における消防相互応援協定	中国自動車道上において災害が発生した場合、協定市等（姫路市・川西市・伊丹市・宝塚市・西宮市・三田市・神戸市・三木市・北はりま消防組合・西はりま消防組合）が相互に応援し、その応急対策活動に万全を期することを目的としています。
消防活動資機材及び支援物資等相互応援協定	姫路市、和歌山市、堺市及び徳島市との協定で、大規模災害発生時に単独市等の消防活動資機材で対処できない場合に、これらの調達に関して相互に応援し、災害活動体制の補完を図ることを目的としています。

その他の協定等

船舶火災の消火等に関する業務協定	姫路市と姫路海上保安部が業務協定を締結、相互の協力体制を確立し、有事に備えています。
鉄道事故時の安全対策に関する覚書	消防機関（全国消防長会近畿支部の消防機関）と鉄道機関（西日本旅客鉄道㈱・近畿日本鉄道㈱・阪急電鉄㈱・京阪電気鉄道㈱・南海電気鉄道㈱・阪神電気鉄道㈱・山陽電気鉄道㈱・神戸電鉄㈱・大阪市高速電気軌道㈱）との覚書で、鉄道事故災害が発生した場合の相互連絡・協力体制を定めることにより、安全で迅速な災害防除活動及び公共交通機関の早期運転再開を実施することを目的としています。
消防業務に係る燃料調達に関する覚書	横田石油株式会社との覚書で、大規模災害時等の燃料を確保することを目的としています。

第4章 災害について楽しく学ぶために

防火防災について 見て・知って・体験しましょう



このページは空白です。

1 ひめじ防災プラザ

地震・風水害・火災・・・災害はいつどこで発生するか予測できません。

ひめじ防災プラザは、総合的な体験を通して市民一人ひとりが防災の重要性を理解し、日頃から万が一に備えることができるよう、防火防災に関する知識と技術を学習することを目的とした施設です。

日常に潜む災害の恐ろしさを忘れないために、そして、災害が起こったときの被害を最小限に抑えるために、防火防災について「見る」・「知る」・「体験する」ことで楽しみながら、大切な人や街を守る手段を学ぶ施設として平成26年2月に一部リニューアルし、より充実したものとなりました。

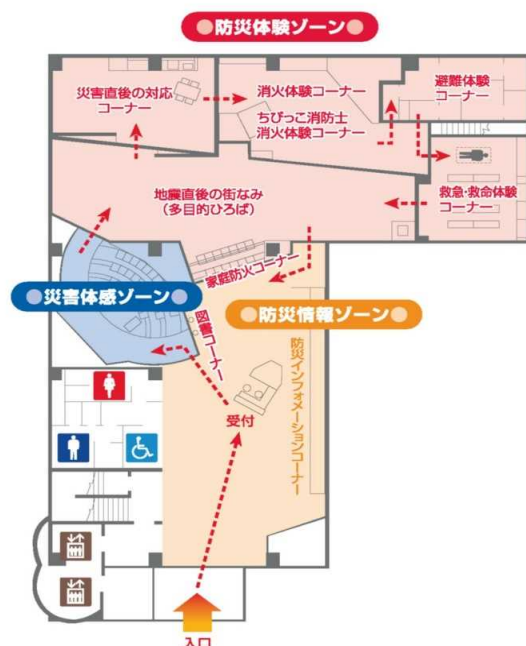
・施設の利用

開館時間	午前9時30分～午後5時00分まで
休館日	月曜日（祝・休日の場合を除く。） 祝・休日の翌日（土・日曜日の場合は除く。） 毎月第3火曜日 年末年始（12月28日～1月4日）
入館料	無料
場所	兵庫県姫路市三左衛門堀西の町3番地 姫路市防災センター1階
交通(アクセス)	・ J R 山陽新幹線・山陽本線「姫路駅」下車、南口から南へ徒歩約20分 ・ 姫路駅南口発の神姫バス16・91・97・98・99番系統「姫路市役所前」下車すぐ ・ 山陽電鉄「手柄駅」下車、東南へ徒歩約8分
申し込み	10名以上の団体でのご利用の場合は事前予約が必要です。 （電話で予約された後、所定の用紙でFAXもしくは郵送にて申し込む。） 電話 (079) 223-9977 Fax (079) 223-9978

・施設の紹介

ひめじ防災プラザは、「防災情報ゾーン」・「災害体感ゾーン」・「防災体験ゾーン」の3つのゾーンで構成されています。

とくに「災害体感ゾーン」は、日常では体感できない数々の災害現象を再現し、「災害のメカニズムと怖さ」が体験できます。



(1) 防災情報ゾーン



開放的なエントランススペースで、気軽に役立つ防災情報や関連グッズを紹介しています。

(2) 災害体感ゾーン



地震、風水害、火災などを科学的にとらえ、災害のメカニズムを知るとともに、地震や気象など災害の要因となるさまざまな現象を迫力ある3D映像、音響、ボディソニックなど特殊演出装置により体感できます。

(3) 防災体験ゾーン（災害直後の対応コーナー）



地震により、崩壊した部屋（居間や台所）で地震直後に何をしなければならないのか？を学ぶコーナーです。

(4) 防災体験ゾーン（消火体験コーナー）



火災発生時の初期消火の対応方法を学びます。
大声で知らせる、模擬消火器による消火活動などの体験を行います。

(5) ちびっこ消防士消火体験コーナー



こどもたちが防火衣を着て「ミニ消防車」を操作し、大型スクリーンに映し出された炎上する建物に放水・消火するという臨場感のある消火体験ができるコーナーです。

(6) 防災体験ゾーン（避難体験コーナー）



視界をさえぎる煙の中を避難する方法を学びます。
暗視カメラ装置で姿勢のチェックができます。

(7) 防災体験ゾーン（地震直後の街なみ）
〔多目的ひろば〕



災害時の街並みを再現した臨場感ある空間の中で、復習映像を見たり、危険箇所を発見したり、ワークショップに参加したりと「何かが隠れている、発見と学習の空間」です。

(8) 防災体験ゾーン（救急・救命体験）



心臓や呼吸が止まった人の命を救う心肺蘇生法や自動体外式除細動器（AED）の講習を行います。

・イメージキャラクター「Bee」

ひめじ防災プラザのイメージキャラクター「Bee」は、勇敢なハチの消防隊員をイメージしたものです。

平成27年12月、ひめじ防災プラザでのイベントや市内の消防行事に出向き、防火・防災の大切さを伝えるために、着ぐるみを制作しました。イベントなどに登場した際は、子供たちに囲まれ、抱きつかれたり、一緒に記念撮影を行ったりして大変親しまれています。



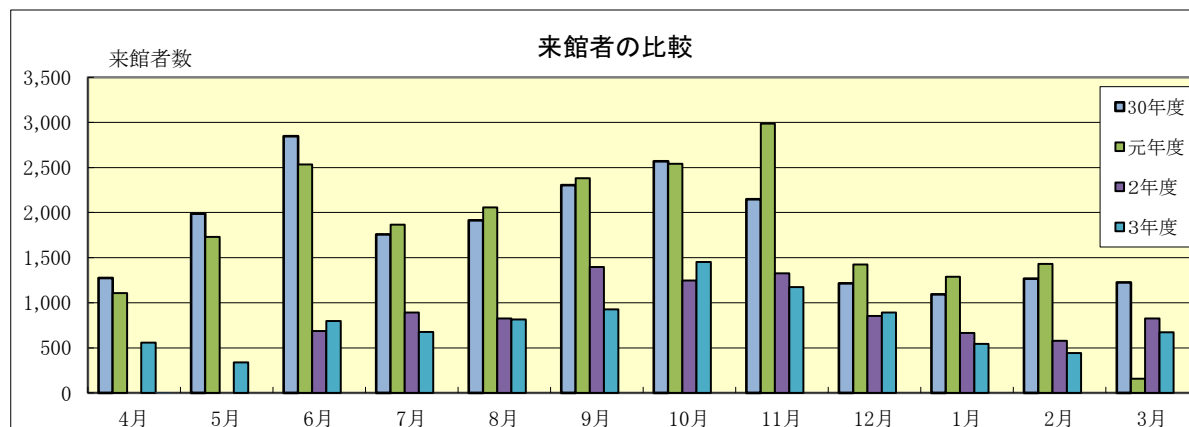
・来館状況

(1) 過去5年間の年度別来館者数

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
合 計	21,455	21,604	21,505	9,291	9,293

(2) 過去5年間の月別来館者数

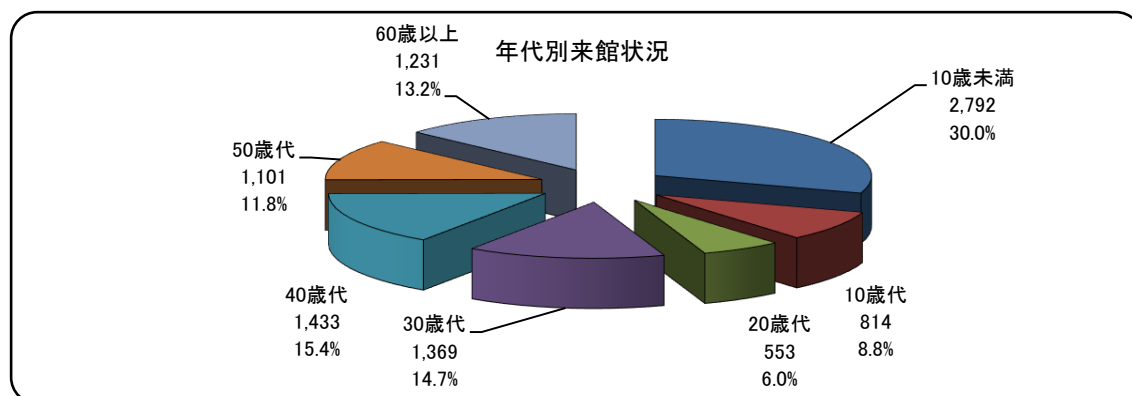
合 計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成29年度	1,273	2,146	2,473	1,554	1,830	2,686	2,494	2,343	1,133	1,141	1,085	1,297
平成30年度	1,274	1,987	2,848	1,758	1,913	2,304	2,568	2,149	1,216	1,092	1,269	1,226
令和元年度	1,108	1,730	2,535	1,867	2,056	2,382	2,540	2,985	1,425	1,289	1,430	158
令和2年度	0	0	686	891	825	1,396	1,245	1,327	853	665	579	824
令和3年度	559	338	799	676	815	926	1,452	1,172	893	545	444	674



(3) 年代別・居住地別来館者数

(令和3年度中)

区 分	年 代	合 計	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
合 計		9,293	2,792	814	553	1,369	1,433	1,101	1,231
団 体	市 内	8,560	2,469	716	536	1,300	1,368	1,066	1,105
	市 外	733	323	98	17	69	65	35	126
	小 計	3,402	1,913	666	175	181	149	132	186
	市 内	2,902	1,696	578	161	173	115	99	80
	市 外	500	217	88	14	8	34	33	106
個 人	小 計	5,891	879	148	378	1,188	1,284	969	1,045
	市 内	5,658	773	138	375	1,127	1,253	967	1,025
	市 外	233	106	10	3	61	31	2	20



・各種イベント等（令和4年度）

行 事 名	実 施 日
ゴールデンウィーク企画「こども防災フェア」	5月3日～5月5日
トライやるウィーク受け入れ	11月7日～11月11日
親子で体験！「チャレンジ消防教室」	8月7日
「防災の日」企画展示	8月30日～9月5日
令和4年度防火ポスター展	11月1日～11月15日
「津波防災の日」企画展示	11月2日～11月13日
1. 17「ひょうご安全の日」企画展示	1月15日～1月21日
3. 11「東日本大震災」企画展示	3月9日～3月14日

2 施設見学

姫路市防災センターや各消防署では、消防・防災業務を深く理解していただくために各種団体からの申し込みを受け付けています。庁舎や資機材、車両等を見学していただき、併せて消防・防災業務への協力等も呼びかけています。



3 トライやる・ウィークの受け入れ

兵庫県では、中学2年生が地域や自然の中で「生きる力」の育成を図るため「トライやる・ウィーク」を実施しています。

姫路市消防局も中学生の受け入れに協力し、生徒の豊かな感性や創造性を高めたり、自分なりの生き方を見つけることができるように支援しています。

将来、この体験が、火災予防や人命救助に役立つことを期待しています。



〔受入状況〕		(令和3年度は中止)	
0	校	0	人

4 市政出前講座

市政のことや市民生活の身近な問題などをテーマとした講座で、講座メニューの中からご希望に応じて市の職員が講師として、皆さんの地域に出向いてお話しするものです。

・対 象 者

市内に在住、通勤、通学している人で構成され、10人以上の参加が見込まれる団体、グループ

・ 講座開催の時間帯及び費用

原則として平日の午前9時から午後5時までの間
講師料＝無料



・ 令和4年度の講座名（消防局分）

講 座 名	内 容	対 象
「普通救命講習」	AEDを使った心肺蘇生法など、応急手当の方法を実技中心に3時間で実施。修了者には修了証を授与	中学生～一般
「消防ゲスト・ティーチャー」	社会科で学ぶ「消防のしごと」の体験版。火事を防ぎ、火事を消すしくみについて体験を通して学ぶ	小 学 3年生
「消防教室」	消防車の説明・見学から家庭や地域における火災予防まで、対象者に応じて火事や防火等について説明	幼児～一般
「ダイジョウブ？あなたの家の住宅防火対策」	高齢者をはじめとした大切な家族を火災から守るために住宅用火災警報器の設置・維持管理の方法や防災品の安全性などを学ぶ	一 般

《「消防ゲスト・ティーチャー」の実施状況》

平成14年度から管内の小学3・4年生に対して、従来の避難訓練などの防火防災指導に加え、ゲスト・ティーチャーとして消防職員が社会科「消防のしごと」を担当しています。

〔開催状況〕（令和3年度）	
実施校数	受講者数
12校	1,308人

5 まもりんピック

各種災害を想定した消防防災ゲームや競技等を通じて、楽しみながら「防災の知識・技術」と「共助の力」を育成しています。全市的に一堂に会して隔年で開催していた「イベント型」から、消防署単位で毎年開催している幼年消防クラブのつどいの内容を充実させた「育成型」に変更し、より地域に密着した、いざという時に役に立つ内容として開催します。



第二部 統計・資料編

このページは空白です。

人 事 ・ 予 算

1 職員の配置状況

(各年度4月1日現在)(単位:人)

区分 年度 所属				合 計	勤 務 区 分	消 防 吏 員										消防吏員以外 の消防職員	再任用 職員	
						小 計	局長 消防正 監	次長 等 (注1) 消防 監	課長 等 (注2) 消防 司令	課長 補佐等 (注3) 消防 司令	係長 等 (注4) 消防 司令	主任 消防 補 司令	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士		再任用 フル タイム	再任用 短 時間
平成28年度	554		553	1	6	14	37	67	194	121	56	57	1		51			
平成29年度	561		561	1	6	16	35	72	192	120	60	59			58			
平成30年度	563		563	1	6	16	39	71	188	121	63	58			58			
令和元年度	561		560	1	6	16	38	70	189	128	66	46	1		54			
令和2年度	569		563	1	7	15	38	70	190	125	70	47	1	5	62			
令和3年度	576		569	1	6	16	40	68	198	140	49	51	1	6	54			
令和 4 年4月1日現在				578		567		7	16	40	70	195	143	45	51	1	10	50
					日勤	129		7	10	18	18	31	15	5	25	1	8	24
					隔勤	438			6	22	52	164	128	40	26		2	26
本部	消防局長 消防課 救急課 予防課 情報指令課	137	日勤											1				
			日勤	2		2												
日勤			39			1	2	4	6		1	25		5	4			
日勤			8			1	3	1	2	1								
隔勤			22					2	8	11	1							
日勤			7			1	1	3	2					1	3			
隔勤			11					2	4	4	1							
日勤			11			1	1	5	3	1				2	1			
消防署	姫路東署	101	日勤	12		1	1	1	2	4	1	2				2		
			隔勤	43			2	4	2	16	9	4	6					
			隔勤	16					2	6	4	4						
			隔勤	14					2	4	7	1				4		
			隔勤	8					2	3	2		1					
			隔勤	8					2	3	2		1					
	姫路西署	92	日勤	11		1	1	2	1	2	2	2				7		
			隔勤	49			2	4	4	14	16	5	4					
			隔勤	16					2	8	5		1			2		
			隔勤	16					2	6	3	3	2			2		
	飾磨署	114	日勤	13		1	1	2	1	4	4					2		
			隔勤	38			2	4	4	10	13	4	1					
			隔勤	18				2		8	3	3	2					
			隔勤	16				2		7	4	1	2			4		
			隔勤	7					2	3	1	1				2		
			日勤	1				1										
			隔勤	12					2	7	3							
			隔勤	1				1										
網干中播磨署	46	日勤	10		1	1	2		4	2					3			
		隔勤	28				2	4	10	6	3	3			4			
		隔勤	8					2	3	2	1							
		日勤	10		1	1	1	1	3	3					1			
	88	隔勤	36				2	4	13	11	4	2			6			
		隔勤	16					2	7	5	2							
		隔勤	16					2	7	7								
		隔勤	10					2	5	3								

(注1) 次長等⇒次長、署長

(注2) 課長等⇒課長、副署長、指揮隊長

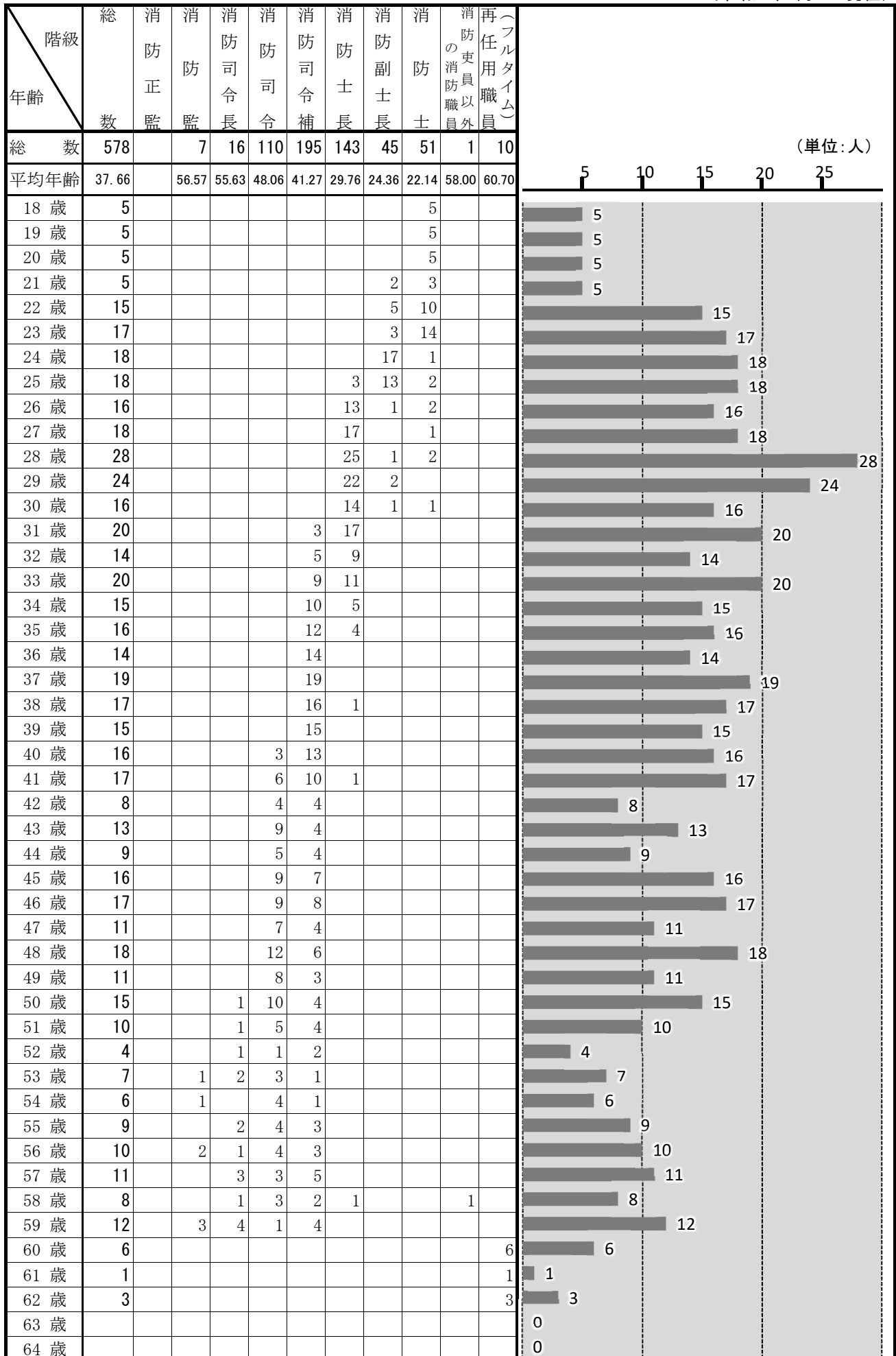
(注3) 課長補佐等⇒課長補佐、警防司令、指揮司令、分署長、家島出張所長、坊勢出張所長

(注4) 係長等⇒係長、家島出張所長・坊勢出張所長以外の出張所長

(注5) 合計は、再任用フルタイムを含む。

2 年齢別職員数

(令和4年4月1日現在)



3 年度別職員数

(各年度4月1日現在)(単位:人)

年度	区分	人 口 ※ (住民基本台帳)	定 数	実 員	職員1人当たり の人口	人口1万人当り の消防職員数
H25 年 度		589,133	561	553	1,065	9.39
H26 年 度		587,496	561	559	1,051	9.51
H27 年 度		586,010	561	553	1,060	9.44
H28 年 度		584,572	561	551	1,061	9.43
H29 年 度		582,830	565	554	1,052	9.51
H30 年 度		580,686	565	561	1,035	9.66
R 元 年 度		578,994	565	563	1,028	9.72
R2 年 度		576,815	604	569	1,013	9.86
R3 年 度		568,255	604	576	986	10.14
R4 年 度		570,281	604	578	986	10.14

※ 人口は各年3月末現在

4 公務災害等の発生状況

区分		年次		H24		H25		H26		H27		H28		H29		H30		R元		R2		R3	
		件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
総 数		7	33	3	4	8	8	7	9	4	4	8	8	5	5	4	4	10	10	8	8		
公 務 災 害	消 火 活 動 中	2	28	—	—	1	1	1	1	—	—	—	—	3	3	3	3	1	1	—	—		
	救急救助活動中	1	1	1	1	3	3	1	1	—	—	3	3	—	—	—	—	1	1	1	1		
	訓 練 中	3	3	—	—	1	1	3	5	—	—	4	4	1	1	1	1	4	4	4	4		
	交 通 事 故	—	—	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	作 業 中	—	—	—	—	—	—	1	1	2	2	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—		
	レクレーション参加 そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2
通勤 災害	出 勤 途 上	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	—	—	—	—	4	4	—	—		
	退 勤 途 上	1	1	—	—	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1		

5 職員の技能資格

(令和4年4月1日現在)

区分	総数(人)
大 型 自 動 車 免 許	278
玉 掛 け 作 業 者	124
小 型 移 動 式 クレーン 資 格	108
1 級 小 型 船 舶 操 縦 士	29
2 級 小 型 船 舶 操 縦 士	20
5 級 海 技 士 (機 関)	12
6 級 海 技 士 (航 海)	12
潜 水 技 術 資 格 士	84
予 防 技 術 資 格 者	44
甲 種 危 険 物 取 扱 者	14
乙 種 危 険 物 取 扱 者	241
甲 種 消 防 設 備 士	19
乙 種 消 防 設 備 士	99
救 急 救 命 士	135
挿 管 認 定 救 急 救 命 士	61
薬 剤 認 定 救 急 救 命 士	114
拡 大 二 行 為 認 定 救 命 士	111
指 導 救 命 士	9

6 職員表彰

(単位:人)

階 級 区 分	総数	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	消防吏員以外の消防職員	元消防職員
総 数	102	0	2	3	32	46	13	0	1	—	5
叙 勲											
瑞宝章	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
瑞宝章	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
叙位・死亡叙勲章	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
端宝小綬章	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
消防庁長官表彰											
功 労	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
永年勤続功 労	4	—	1	3	—	—	—	—	—	—	—
救急功 労	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
消防防災科学技術賞	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
知 事 表 彰											
兵庫 県 功 労	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
功 労	7	—	—	—	7	—	—	—	—	—	—
永年勤続功 労	9	—	—	—	—	9	—	—	—	—	—
救急業務功 労	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
感謝 状	10	—	—	—	5	5	—	—	—	—	—
市 長 表 彰											
功 績	3	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—
救急業務	3	—	—	—	1	2	—	—	—	—	—
永年勤続 (25年)	14	—	—	—	10	4	—	—	—	—	—
消防局長表彰											
優 秀	3	—	1	—	—	2	—	—	—	—	—
勤 功	6	—	—	—	—	5	—	—	1	—	—
優 良	4	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—
救急業務	4	—	—	—	2	2	—	—	—	—	—
全国消防長会表彰											
消防特別功 労	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
永年勤続功 労	8	—	—	—	4	4	—	—	—	—	—
署 長 表 彰	17	—	—	—	—	8	9	—	—	—	—
全国消防協会表彰	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
消防機器開発等会長賞	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
兵庫県医師会会長表彰	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
姫路市救急医療協会会長表彰	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
姫路東ロータリークラブ表彰	3	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—
近畿地方非常通信協議会長表彰	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非常通信功績者表彰	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

7 市民表彰等

年 度 区 分	平成							令和		
	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3
表 彰										
市長表彰 (しらさぎ賞)	44	12	25	12	13	13	11	10	13	30
消防局長表彰 (優良事業所)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
感 謝 状										
市長感謝状	—	—	—	—	1	—	1	1	1	1
消防局長感謝状 (寄贈)	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
署長感謝状 (初期消火等)	1	3	1	22	10	6	6	6	4	2

8 年度別一般会計及び消防費決算額（令和3年・令和4年度は当初予算額）

（単位：円）

区分 年度	一般会計決算額	消防費決算額	一般会計に 対する割合	一世帯 当たり消防費	住民一人 当たり消防費
平成24	202,069,868,215	6,105,025,785 (6,605,250,574)	3.02 (3.27)	27,894 (-)	11,436 (-)
平成25	207,313,931,435	6,573,584,753 (7,195,714,001)	3.17 (3.47)	30,103 (-)	12,303 (-)
平成26	202,837,717,990	6,680,334,245 (7,323,409,726)	3.29 (3.61)	29,038 (-)	12,312 (-)
平成27	208,985,118,012	6,602,843,198 (7,145,932,112)	3.16 (3.42)	28,464 (-)	12,196 (-)
平成28	207,833,865,000	6,265,457,650 (6,797,236,177)	2.98 (3.01)	27,000 (-)	11,595 (-)
平成29	207,481,706,000	6,657,540,210 (7,174,026,668)	3.21 (3.46)	30,960 (-)	12,470 (-)
平成30	198,592,950,000	6,426,487,249 (6,946,057,121)	3.2 (3.45)	27,300 (-)	11,939 (-)
令和元	211,392,022,000	6,726,144,119 (7,363,088,407)	3.18 (3.48)	28,293 (-)	12,524 (-)
令和2	286,043,996,000	8,383,992,856 (8,991,458,660)	2.93 (3.14)	34,935 (-)	15,642 (-)
令和3	218,200,000,000	6,503,856,000 (7,131,006,000)	2.98 (3.27)	26,837 (-)	12,177 (-)
令和4	217,800,000,000	6,777,713,000 (7,333,127,000)	3.11 (3.37)	27,853 (-)	12,767 (-)

※（ ）内は、受託町の常備消防に係る経費（水利事務を除く）を含んだ経費です。

9 令和4年度消防局予算概要

※ 消防費から危機管理室所管（災害対策費）予算を除いたものです。

（単位：千円）

款・項・目・事業名	予算額	款・項・目・事業名	予算額
50 消 防 費	7,166,998	15 消 防 施 設 費	540,868
10 消 防 費	7,166,998	庁 舎 整 備 事 業 費	36,200
10 常 備 消 防 費	6,117,779	車 両 等 整 備 事 業 費	329,700
報 酬 給 与 費	5,386,826	消 防 資 器 材 整 備 事 業 費	33,168
職 員 研 修 費	20,581	消 防 水 利 整 備 事 業 費	141,800
管 理 事 務 費	33,541	情 報 通 信 施 設 整 備 事 業 費	—
庁 舎 維 持 管 理 経 費	150,453	25 災 害 対 策 費	15,533
車 両 等 管 理 経 費	80,595	防 災 プ ラ ザ 管 理 運 営 費	15,533
消 防 活 動 経 費	15,985	防 災 プ ラ ザ 整 備 事 業 費	—
情 報 通 信 施 設 管 理 経 費	335,643	30 非 常 備 消 防 費	492,818
救 急 活 動 経 費	70,857	団 員 報 酬	116,745
予 防 活 動 経 費	4,039	団 員 等 公 務 災 害 補 償 費	6,420
危 険 物 保 安 経 費	4,787	団 員 退 職 報 償 金	49,180
出 初 式 経 費	1,850	団 本 部 運 営 費	18,774
音 楽 隊 経 費	1,468	分 団 運 営 費	78,228
民 間 防 火 組 織 育 成 経 費	1,686	分 団 施 設 等 整 備 事 業 費	152,100
負 担 金	9,468	負 担 金	71,371

10 年度別主要事業実施状況

(単位:千円)

令和元年度	令和2年度	令和3年度
庁舎整備事業 218, 088 飾磨消防署広畑分署大規模改修工事 飾磨消防署広畑分署大規模改修工事監理委託 飾磨消防署広畑分署仮設庁舎借上げ 網干消防署勝原出張所大規模改修工事設計委託 姫路東消防署御国野出張所電話設備更新工事 姫路西消防署高圧受電柱上気中開閉器等更新工事	庁舎整備事業 116, 149 網干消防署勝原出張所大規模改修工事 網干消防署勝原出張所大規模改修工事引越業務等委託 網干消防署勝原出張所仮設庁舎借上げ 防災センター消防設備改修工事等 オゾン発生装置 31台	庁舎整備事業 12,503 中央監視盤更新 家島事務所間仕切り整備工事設計委託
車両等整備事業 378, 339 梯子車 1台 水槽付消防ポンプ自動車 1台 小型水槽付消防ポンプ自動車 1台 高規格救急車 2台 広報連絡車 4台 高度救命資器材一式	車両等整備事業 528, 298 梯子車 1台 救助工作車 1台 指揮車 2台 高規格救急車 3台 連絡車 1台 査察車 1台 搬送用アイソレーター 1台 高度救命資器材一式	車両等整備事業 230,313 消防艇建造設計業務委託 水難救助車 1台 小型水槽付消防ポンプ自動車 1台 高規格救急車 2台 軽救急車 2台 査察車 1台
消防資器材整備事業 19, 517 消防ホース 65本 消防活動資器材 一式 山岳救助資器材 一式 水難救助資器材 一式 呼吸器用高圧空気圧縮機 1基 ビデオ硬性喉頭鏡 5基 空気呼吸器等	消防資器材整備事業 28, 061 消防ホース 59本 消防活動資器材 一式 山岳救助資器材 一式 水難救助資器材 一式 呼吸器用高圧空気圧縮機 1基 ビデオ硬性喉頭鏡 7基 陽圧式化学防護服 5着 空気呼吸器等	消防資器材整備事業 37,158 消防ホース 68本 消防活動資器材 一式 山岳救助資器材 一式 水難救助資器材 一式 呼吸器用高圧空気圧縮機 1基 空気呼吸器等 泡消火薬剤更新
消防水利整備事業 147, 597 防火水槽 2基 消火栓新設 106ヶ所	消防水利整備事業 133, 764 防火水槽 1基 消火栓新設 107ヶ所	消防水利整備事業 134,858 防火水槽 1基 消火栓新設 100ヶ所
情報通信施設整備事業 8, 396 飾磨消防署広畑分署通信指令機器移設	情報通信施設整備事業 7, 964 網干消防署勝原出張所通信指令機器移設	情報通信施設整備事業 17,325 播磨姫路救急搬送システム構築業務委託
分団施設整備事業 123, 512 新基準夏用活動服 3, 086着 飾磨消防団大塩分団詰所移転新築工事 分団詰所解体撤去工事実施設計 1箇所 分団詰所解体撤去工事 2箇所 (大塩・八木) 消防ポンプ自動車 3台	分団施設整備事業 54, 250 姫路西消防団荒川分団詰所新築工事 姫路西消防団荒川分団旧詰所解体撤去工事設計委託 姫路西消防団荒川分団詰所解体撤去工事 消防ポンプ自動車 2台	分団施設整備事業 55,800 姫路東消防団広峰分団詰所建替工事設計委託 消防ポンプ自動車 4台

このページは空白です。

警

防

1 消防車両等の配置状況

(令和4年4月1日現在)

配置 署所 車種	総 計 *1	消防局						姫路東 消防署						姫路西 消防署				飾 磨 消防署							網 干 消防署			中 播 消防署					
		小 計	総 務	警 防	救 急	情 報 指 令	予 防	小 計	本 署	御 国 野	豊 富	飾 東	増 位	小 計	本 署	飾 西	林 田	小 計	本 署	白 浜	広 畑	大 的	家 島	坊 勢	小 計	本 署	勝 原	小 計	本 署	香 寺	夢 前	北 部	
合 計	121 (11)	22 (5)	7 (1)	8 (5)	6 (5)	1 (5)	1 (5)	20 (1)	13 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (1)	2 (1)	17 (1)	12 (1)	2 (1)	3 (1)	30 (1)	12 (1)	4 (1)	4 (1)	1 (1)	5 (1)	4 (1)	12 (1)	11 (1)	1 (1)	20 (1)	12 (1)	2 (1)	3 (1)	3 (1)	
指 揮 隊 車	3	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
指 揮 車	4	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-	
タンク車 *2	9 (1)	1 (1)	-	1 (1)	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	3	1	1	1	-	-	-	2	1	1	1	1	-	-	-	
S T 車 *3	16 (5)	1 (5)	-	1 (5)	-	-	-	5 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	3 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (1)	1 (1)	-	-	1 (1)	-	-	1 (1)	1 (1)	-	4 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	
梯 子 車	4	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-	
屈折梯子車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大 型 化 学 高 所 放 水 車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	
水 槽 車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
化 学 車	3	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	
救 急 車	21 (5)	6 (5)	-	-	6 (5)	-	-	4	1	1	1	-	1	3	1	1	1	3	1	1	1	-	-	-	1	1	-	4	1	1	1	1	
軽 救 急 車	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
多 目 的 車	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
泡 原 液 搬 送 車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
救助工作車	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	
水難救助車 (兼資器材搬送車)	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
消 防 艇	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
救 急 艇	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
資材搬送車	6	1	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-	
無線中継車	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
人員搬送車	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
連 絡 車 (緊 急)	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	-	-	
マイクロバス	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
連 絡 車	12	4	3	1	-	-	-	2	2	-	-	-	-	1	1	-	-	2	2	-	-	-	-	-	1	1	-	2	1	-	-	-	1
査 察 車	13	3	3	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	2	2	-	-	2	2	-	-	-	-	-	2	2	-	2	2	-	-	-	-
広報連絡車	7	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	2	1	-	1	3	1	1	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
原付自転車	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	

*1 ()内の数字は、非常用消防車・非常用救急車を示します。(内数)

*2 タンク車は水槽容量1,500リットル又は2,000リットルの水槽付消防ポンプ自動車です。

*3 S T車は水槽容量800リットル～1,300リットルの小型水槽(スモールタンク)付消防ポンプ自動車です。

2 消防緊急車両等の一覧

(令和4年4月1日現在)																				
配置署所		区分	車 種		呼称名	車両表示	年式	主 要 装 備			配置署所	区分	車 種	呼称名	車両表示	年式	主 要 装 備			
								ポンプ	水槽	特 殊 装 備							ポンプ	水槽	特 殊 装 備	
消防局	警 防 課	"	指 揮 車	指揮タンク	直C	直T	H. 31	A2	2,000ℓ	4WD (非常用)	本 署	署	指揮タンク	飾C	H. 28	飾C	H. 28	A2	2,000ℓ	4WD・ヘリテレ画像装置等情報収集装置
	タ S 救		直轄タンク	直S T	直T	H. 28	A2	1,300ℓ	小型動力ポンプCー1積載 (非常用)	タ S 救			飾T	H. 22	飾T	H. 22	A2	800ℓ	小型動力ポンプCー1積載 (非常用)	
	作 車		直轄救助	直R	直搬	H. 30			4WD・救助用資機材・クレーン・ウィンチ	作 車			飾S T	H. 26	飾S T	H. 26	A1		梯子高 25m	
	搬 車		直轄搬送	直搬	直搬	H. 29			4WD・3トン積載・アルミバン・パワーゲート	搬 車			飾梯	R. 2	飾梯	R. 2			4WD・3トントラック・クレーン	
	送 車		直轄搬送	直WR	直WR	H. 25			水難用資機材・パワーゲート・シャワー設備	送 車			飾搬	H. 19	飾搬	H. 19	10,000ℓ/分×2		37トン・定員20人	
	助 車		直轄水難			R. 3				助 車			飾艇	H. 15	飾艇	H. 15	4WD			
	救 急 課	"	救 車	直轄救急	直A	直A	H. 31			4WD	飾 磨 消 防 署	救 車	飾A	R. 4	飾A	R. 4			4WD	
			急 車	直轄救急2	直A 2	直A 2	H. 27			4WD (非常用)		急 車	白T	H. 25	白T	H. 25	A2	2,000ℓ		
			急 車	直轄救急3	直A 3	直A 3	H. 29			4WD (非常用)		急 車	白原	H. 29	白原	H. 29			泡原液 5,000ℓ	
			救 車	直轄救急4	直A 4	直A 4	H. 25			4WD (非常用)		救 車	白A	H. 25	白A	H. 25			4WD	
予 防 課	"	救 車	直轄救急5	直A 5	直A 5	H. 25			4WD (非常用)	大 的 出 張 所	救 車	広T	H. 25	広T	H. 25	A2	2,000ℓ			
		救 車	直轄救急AW	直AW	直AW	H. 28			4WD (県立はりま姫路総合医療センター・クアケンション用)		救 車	広槽	H. 25	広槽	H. 25			4WD・小型動力ポンプBー2積載		
姫路東消防署	情 報 指 令 課	"	無 線 中 継 車 *1	指令無線中継	無線	無線	H. 25			4WD・VSAT搭載型消防無線中継装置	家 島 出 張 所	大 的 出 張 所	大的S T	大S T	H. 31	大S T	H. 31	A2	900ℓ	
	指 揮 車		東指揮	東C	東T	H. 28			4WD・ヘリテレ画像装置等情報収集装置	指 揮 車			網C	R. 3	網C	R. 3			2WD	
	タ S 救		東タンク	東T	東T	H. 21	A2	2,000ℓ	4WD	タ S 救			網T	H. 25	網T	H. 25	A2	2,000ℓ		
	梯 子		東S T	東S T	東S T	H. 28	A2	800ℓ	小型動力ポンプCー1積載 (非常用)	梯 子			網S T	H. 19	網S T	H. 19	A2	900ℓ	小型動力ポンプCー1積載 (非常用)	
	学 校		東梯子	東梯	東梯	H. 23	A2		梯子高 40m・伸縮水路付	学 校			網梯	H. 21	網梯	H. 21	A1		4WS・梯子高 30m・先端屈折式・伸縮水路付	
	搬 送 車		東化学	東化	東化	H. 17			泡原液 500ℓ	搬 送 車			網化高	H. 25	網化高	H. 25			塔高 27m・泡原液1,800ℓ	
	御 国 野 出 張 所	"	人 員 救	東搬送	東搬	東搬	H. 18			4WD・3トントラック・クレーン	網 干 消 防 署	人 員 救	網搬	H. 19	網搬	H. 19			4WD・3トントラック・クレーン	
			救 車	東人搬	東人	東人	H. 18			4WD・マイクログバス・定員29人		救 車	網A	R. 3	網A	R. 3			4WD	
			救 車	東救急	東A	東A	R. 2			4WD		救 車	勝T	H. 24	勝T	H. 24	A2	1,500ℓ		
			S 救	御国野S T	御S T	御A	R. 2	A2	850	4WD		S 救	網C	R. 3	網C	R. 3			2WD	
豊 富 出 張 所	"	T 急	御国野救急	御A	御A	H. 28				T 急	網T	H. 25	網T	H. 25	A2	900ℓ	小型動力ポンプCー1積載 (非常用)			
		救 車	豊富S T	豊富S T	豊富S T	H. 28	A2	900ℓ		救 車	網梯	H. 21	網梯	H. 21	A1		4WS・梯子高 30m・先端屈折式・伸縮水路付			
飾 東 出 張 所	"	S 車	飾東S T	飾東S T	飾東S T	H. 25	A2	900ℓ		S 車	網A	R. 3	網A	R. 3			4WD・3トントラック・クレーン			
		T 急	増位S T	増S T	増S T	H. 30	A2	1,300ℓ	4WD	T 急	勝T	H. 24	勝T	H. 24	A2	1,500ℓ				
姫路西消防署	本 署	"	指 揮 車	西指揮	西C	西T	H. 28			4WD・ヘリテレ画像装置等情報収集装置	本 署	署	指揮タンク	中C	R. 3	中C	R. 3			4WD
	タ S 救		西タンク	西T	西T	H. 26	A2	2,000ℓ	4WD	タ S 救			中S T	R. 2	中S T	R. 2	A2	2,000ℓ		
	梯 子		西S T	西S T	西S T	H. 26	A2	800ℓ	小型動力ポンプCー1積載 (非常用)	梯 子			中S T	H. 26	中S T	H. 26	A2	800ℓ	小型動力ポンプCー1積載 (非常用)	
	学 校		西梯子	西梯	西梯	R. 1			梯子高 50m	学 校			中梯	H. 27	中梯	H. 27	A2	1,500ℓ	梯子高 25m・伸縮水路付	
	搬 送 車		西化学	西化	西化	H. 23	A1	1,300ℓ	泡原液 1,200ℓ	搬 送 車			中化	H. 18	中化	H. 18			泡原液 500ℓ	
	救 車		西救助	西R	西R	H. 19			4WD・救助用資機材・クレーン・ウィンチ	救 車			中R	R. 2	中R	R. 2			4WD・救助用資機材・クレーン・ウィンチ	
	飾 西 出 張 所	"	救 車	西搬送	西搬	西搬	H. 18			4WD・3トントラック・クレーン	救 車	中搬	H. 25	中搬	H. 25			4WD・3トントラック・パワーゲート		
			急 車	西救急	西A	西A	H. 27			4WD	急 車	中A	R. 4	中A	R. 4			4WD		
			S 救	飾西S T	飾西S T	飾西S T	H. 31	A2	900ℓ		S 救	香S T	R. 4	香S T	R. 4	A2	850ℓ			
			T 急	飾西救急	飾西A	飾西A	H. 31			4WD	T 急	香A	R. 3	香A	R. 3			4WD		
林 田 出 張 所	"	S 救	林田S T	林S T	林S T	H. 27	A2	800ℓ	小型動力ポンプCー1積載	夢 前 出 張 所	S 救	夢S T	H. 29	夢S T	H. 29	A2	900ℓ	小型動力ポンプCー1積載		
		救 車	林田救急	林A	林A	H. 25					救 車	夢A	H. 29	夢A	H. 29			4WD		
北 部 出 張 所	"	S 救	北部S T	北S T	北S T	H. 28				北 部 出 張 所	S 救	北S T	H. 28	北S T	H. 28	A2	800ℓ	小型動力ポンプCー1積載		
		救 車	北部救急	北A	北A	H. 28					救 車	北A	H. 28	北A	H. 28			4WD		

*1 資材搬送車と無線中継車は、消防組織法第50条に規定の無償使用制度について許可を受けた国 (総務省消防庁) 有車両です。

3 部隊別主要資機材配備基準

※ 救急隊、救助隊等一部の部隊を除く。 (令和4年4月1日現在)

所 属	署 所	部 隊	G ノズル (注 1)	D ノズル (注 2)	泡 ノズル	ホ ー スカ ー	分 岐 金 具	動 力 ポ ン プ	か ぎ 付 き	三 連 (二 連) は し	エ ン ジ ン カ ッ タ ー	レ ン プ ロ ソ ー	チ ェ ン ソ ー	ス プ レ ッ ダ ー	カ ッ タ ー	コ ン ビ ッ ル	油 圧 ジャ ッ キ	可 搬 ウ イ ン チ	マ ル チ ス リ ン グ	鉄 線 カ ッ タ ー	万 能 斧	ハ ン マ ー	複 合 ガ ス 検 知 器	防 塵 マ ス ク	発 動 発 電 機	投 光 器	強 力 ラ イ ト	携 帯 用 ラ イ ト	拡 声 器	担 架	吹 き 流 し	要 救 助 者 用 安 全 帯	簡 易 縛 帯	救 命 胴 衣	浮 環	ハ ー ネ ス	応 急 処 置 セ ッ ト	高 圧 耐 電 衣	低 圧 耐 電 手 袋	耐 熱 服	夜 行 ベ ス ト	伸 縮 コ ー シ ン		
姫 路 東	本 署	東 T	4	2	1	0	2	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	5	1	1	2	3	2	1	1	1	1	5	1	2	1	0	2	0	5	2	
		東 S T	4	2	1	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	5	1	1	2	3	2	0	1	1	0	5	1	0	2	0	5	2			
		東 梯	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	2	3	1	1	0	2	0	0	2	0	0	4	0	4			
		東 化	0	2	2	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	3	1	0	0	1	0	0	0	2	0	2	0	2		
		御 国 野	2	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	3	1	1	2	1	1	0	1	1	0	3	1	0	2	0	3	2			
	飾 西	豊 富	2	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	3	1	1	2	1	1	0	1	1	0	3	1	0	2	0	3	2			
		飾 東 S T	2	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	3	1	1	2	1	1	0	1	1	0	3	1	0	2	0	3	2			
		増 位	2	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	3	1	1	2	1	1	0	1	1	0	3	1	0	2	0	3	2			
		姫 路 東 小 計		17	15	8	5	16	1	2	7	5	1	1	1	1	0	5	1	1	6	7	6	5	22	8	8	16	16	10	2	5	9	1	22	6	2	12	2	22	18			
		姫 路 西	本 署	西 T	4	2	1	1	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	5	1	1	2	3	2	1	1	1	0	5	1	0	2	0	5	2	
西 S T	4			2	1	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	5	1	1	2	3	2	0	0	1	0	2	0	5	2						
西 梯	1			1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	2	3	1	1	0	2	0	0	2	0	0	4	0	4			
西 化	0			2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	3	1	0	0	1	0	0	2	0	2	0	2			
飾 西 S T	2			2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	3	1	1	2	1	1	0	1	1	0	3	1	0	2	0	3	2			
飾 西	林 田		2	2	1	1	2	1	0	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	2	1	1	1	1	1	1	3	1	2	1	0	2	0	3	2	
	姫 路 西 小 計		13	11	6	4	12	2	2	4	3	1	0	0	0	1	3	1	1	1	4	5	4	3	16	6	12	14	8	3	3	7	1	16	4	2	4	2	8	2	16	14		
	飾 磨		本 署	飾 T	4	2	1	0	2	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	5	1	1	2	3	2	1	1	1	1	5	1	2	1	0	2	0	5	2
				飾 S T	4	2	1	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	5	1	1	2	3	2	0	0	1	0	5	1	0	2	0	5	2	
				飾 梯	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	2	3	1	1	0	2	0	0	2	0	0	4	0	4	
白 T		4		2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	5	1	1	2	1	1	1	1	1	0	5	1	0	2	0	3	2			
白 原		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2			
広 畑		広 T	4	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	5	1	1	2	1	1	1	1	1	1	0	5	1	0	2	0	3	2		
		広 槽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	1	0	2	0	0	0	2	0	2			
		大 S T	2	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	3	1	1	2	1	1	0	1	1	0	3	1	0	2	0	3	2			
		家 多	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	4	1	1	2	1	1	0	1	1	0	4	1	0	2	0	0	2			
		坊 勢	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4	0	1	2	1	1	0	1	1	0	4	1	0	2	0	0	2		
飾 磨 小 計		19	13	5	4	12	2	4	5	4	1	1	1	2	2	0	6	1	1	5	6	5	6	31	9	10	18	12	12	4	6	11	1	31	7	2	5	6	10	0	19	22		
網 干	本 署	網 T	4	2	1	0	2	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	5	1	1	2	3	2	1	1	1	1	5	1	2	1	0	2	0	5	2		
		網 S T	4	2	1	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	5	1	1	2	3	2	0	0	1	0	5	1	0	2	0	5	2			
		網 梯	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	2	3	1	1	0	2	0	0	2	0	0	4	0	4			
		網 化 高	0	2	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	4	0	2	0	2		
		勝 T	2	2	0	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	3	1	1	2	1	1	0	1	1	0	3	1	0	2	0	3	2			
	網 干 小 計		11	9	4	3	10	1	2	3	2	1	1	1	1	0	2	1	1	1	3	4																						

注1 ガンタイプノズル 注2 ダブルジェットロールノズル
※ このほか、無人泡放水銃（大）を飾磨消防署・網干消防署に各1台、無人泡放水銃（小）を5消防署に各1台配備しています。

4 消防水利の現況

消防水利は、人員及び機械とともに消防力の三要素の一つであり、その基幹をなすものです。姫路市消防局管内における消防水利の状況は、総数23,153（内受託町3,439）で、その内容は、消火栓94.9%、防火水槽及び防火井戸4.0%、その他の水利が1.1%の割合になっています。

（令和4年3月末現在）

区分 署別	合計	消 火 栓			防火水槽及び防火井戸						その他	
		小計	公設	私設	小 計		公 設		私 設		プール	その他
					水槽	井戸	水槽	井戸	水槽	井戸		
姫 路 東	4,783	4,505	4,380	125	193	47	159	47	34	—	37	1
姫 路 西	5,014	4,826	4,706	120	128	32	103	32	25	—	25	3
飾 磨	5,269	5,003	4,433	570	159	83	142	83	17	—	21	3
網 干	2,747	2,603	2,127	476	85	46	72	46	13	—	12	1
中 小 計	5,339	5,041	5,010	31	152	—	131	—	21	—	36	110
中 姫路市	1,900	1,868	1,860	8	14	—	6	—	8	—	16	2
播 受託町	3,439	3,173	3,150	23	138	—	125	—	13	—	20	108
総 数	23,152	21,978	20,656	1,322	717	208	607	208	110	—	131	118
姫 路 市	19,713	18,805	17,506	1,299	579	208	482	208	97	—	111	10
受 託 町	3,439	3,173	3,150	23	138	—	125	—	13	—	20	108

5 消防水利の整備状況

消防水利の整備は、主に消火栓を国から示された「消防水利の基準」（昭和39年12月10日消防庁告示第7号）に基づき整備しています。（消防水利から建物までの距離は、市街地、準市街地については100m又は120m以内、その他の地域は140m以内）消火栓は、水道法により上下水道事業管理者が設置し、年々充実されています。

しかし、消火栓は容易に使用できる反面、地震等には使用不可能となる場合もありますので、本市の公園を中心に40㎡の耐震性防火水槽も計画的に整備しています。

年度	区分	消 火 栓		防 火 水 槽	
		水利整備事業	その他の事業	水利整備事業	その他の事業
平成24年		90	107	2	—
平成25年		90	132	1	—
平成26年		90	41	1	—
平成27年		90	135	1	—
平成28年		120	117	1	—
平成29年		105	85	2	—
平成30年		120	95	2	—
令和元年		106	119	2	—
令和2年		107	101	1	—
令和3年		100	110	1	—

6 開発行為による設置状況

都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、「姫路市開発指導要綱」及び「消防水利の基準」に基づき消防水利の指導を行っています。

年度	区分	消 火 栓		防 火 水 槽	
		帰 属	私 設	帰 属	私 設
平成24年		19	—	1	—
平成25年		34	—	2	4
平成26年		21	—	4	5
平成27年		32	—	1	1
平成28年		23	—	4	1
平成29年		18	—	3	2
平成30年		18	—	3	—
令和元年		24	—	1	1
令和2年		15	—	1	3
令和3年		22	—	—	4

7 泡消火薬剤の備蓄状況

(令和4年3月末現在)

区分 保管場所 (消防署)	泡消火薬剤 合計 (kℓ)	石 油 類 用 (kℓ)			水 溶 性 液 体 用 (kℓ)	
		蛋白質加水 分解系	界 面 活 性 剤 系		界 面 活 性 剤 系	
		フッ素 蛋白泡系	フッ素界面 活性剤泡系	炭化水素系界 面活性剤泡系	フッ素界面 活性剤泡系	炭化水素系界 面活性剤泡系
		水成膜を形成 しないもの	水成膜を形成 するもの		高分子ゲルを 形成するもの	
		フッ素蛋白泡 F P	フッ素界面活 性剤水成膜泡 A F F F	炭化水素系界 面活性剤泡 S	高分子ゲル生成 フッ素界面活性剤 耐アルコール泡 AGFF 〔石油類にも使用可〕	フッ素界面活 性剤を添加し たもの
合 計	102.44	2.60	0.49	11.13	77.58	10.64
姫 路 市	48.18	—	0.49	7.33	37.88	2.48
兵 庫 県	20.96	2.60	—	—	11.80	6.56
共同備蓄	33.30	—	—	3.80	27.90	1.60
警 防 課	0.10	—	—	—	0.10	—
姫 路 市	—	—	—	—	—	—
兵 庫 県	—	—	—	—	—	—
共同備蓄	—	—	—	—	—	—
姫 路 市	5.24	—	—	3.40	1.38	0.46
兵 庫 県	4.00	—	—	—	2.80	1.20
共同備蓄	2.60	—	—	1.60	1.00	—
姫 路 市	5.18	—	—	1.00	4.18	—
兵 庫 県	2.46	—	—	—	—	2.46
共同備蓄	3.00	—	—	2.20	0.80	—
姫 路 市	29.07	—	0.49	—	28.58	—
兵 庫 県	6.80	0.60	—	—	5.00	1.20
共同備蓄	22.10	—	—	—	21.10	1.00
姫 路 市	6.40	—	—	1.46	3.14	1.80
兵 庫 県	7.70	2.00	—	—	4.00	1.70
共同備蓄	5.60	—	—	—	5.00	0.60
姫 路 市	2.19	—	—	1.47	0.50	0.22
兵 庫 県	—	—	—	—	—	—
共同備蓄	—	—	—	—	—	—

※ 共同備蓄は、危険物を保有する市内25の関係事業所が共同して泡消火薬剤を備蓄しています。

8 出動基準表

災害種別	災害分類	支援情報	該当対象物基準			選別車両																				
						第1出動								第2出動					第3出動							
			用途	階層	面積	C	T・S T	梯子	化学	R	WR	A	消防艇	搬送	C	T・S T	梯子	化学	R	A	C	T・S T	梯子	化学	R	A
火災	一般建物火災		下記のいずれにも該当しない建物			1	4			1		1			1	2						2				
	中高層建物火災	○	非特定用途	4階以上	1000㎡以上	1	5	1		1		1			1	2						2				
	特定大規模中高層建物火災	○	特定用途	4階以上		1000㎡以上	2	5	1		2		2			1	2					2				
	特定中高層建物火災	○		4階以上	1000㎡以下	1	5	1		1		2			1	2					2					
	特定大規模建物火災	○		3階以下	1000㎡以上	1	5			1		2			1	2					2					
	病院・福祉施設火災	○	6項イロハ	4階以上	1000㎡以上	2	5	1		2		2			1	2					2					
		○		3階以下		1	5			1		2			1	2					2					
	危険物施設火災	○	特定事業所を除く			1	5		1	1		1			1	2						2				
	一般道車両火災						2					1				2						2				
	高速道車両火災		高速道路・自動車専用道路(側道、パーキングエリア、サービスエリアを除く)			1	3		1	1		1			1	2						2				
	林野火災					1	5								1	4						2				
	船舶火災					1	3			1		1	1		1	2						2				
	その他火災						2									2						2				
	警防計画火災	○				警防計画出動(部署別、車両・車種別指定)																				
救急	救急											1														
	高速道救急						1					1														
	救急支援・PA						1					1														
	集団災害救急					1	2					5														
救助	限定救助						1			1		1														
	一般救助					1	1			1		1														
	交通救助					1	1			1		1														
	高所救助		4階以上			1	1	1		1		1														
	山岳救助					1	2			1		1														
	水難救助					1	2			1	1	1														
	鉄道災害救助					1	3			1		1														
	特殊災害救助					1	3			2		1		1												
石油コンビナート災害		○	特定事業所			石油コンビナート警防計画出動(車種別指定)																				
警戒							1																			
水防							1																			

(注1) 消防艇が接岸不可の場合、待機車両がない場合等、状況によって情報指令課長の判断により出動を調整する。

(注2) 特定事業所とは、石油コンビナート等災害防止法に定めるものをいう。

(注3) 車両火災のうち、発生場所が「トンネル内」の場合は「R1台を」、「鉄道」の場合は「C1台・R1台を」、即時、追加出動させるものとする。

(注4) 限定救助とは、建物内の閉込事案をいう。

(注5) 網掛けのT・STの欄のうち1台は、災害地点を管轄する消防署(本署)の車両から優先的に選別する。

(注6) 地震等により、広域的に大規模災害が発生し、消防対応能力を超える被害が予想される場合に、本基準に関わらず、情報指令課長判断により出動車両の選別を制限する場合がある。

【Rの車両選別運用】

救助工作車又は本署タンク車(準救助工作車)から直近車両を選別する場合は、次のとおりとする。

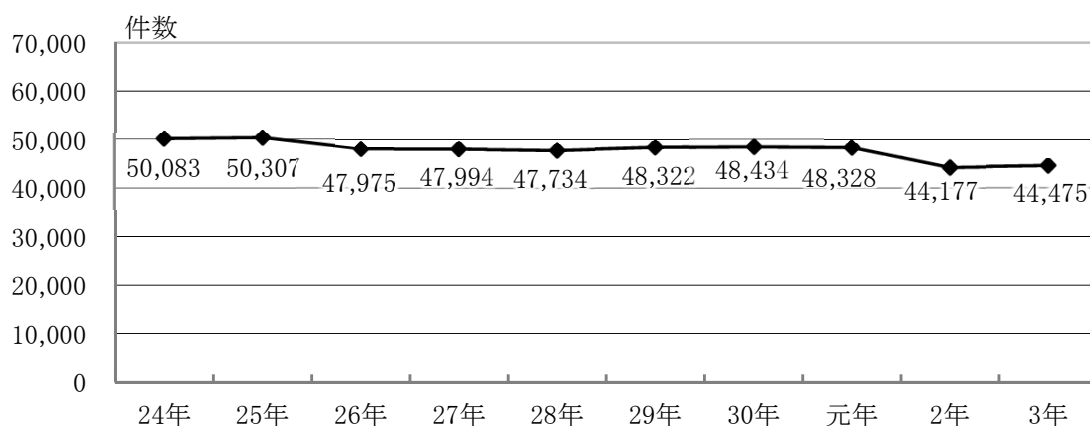
- ① 「限定救助」の事案
- ② 救助工作車2台出動中に発生した事案で、情報指令課長が必要と認める場合
- ③ 救助工作車3台出動中に発生した事案

このページは空白です。

消 防 指 令

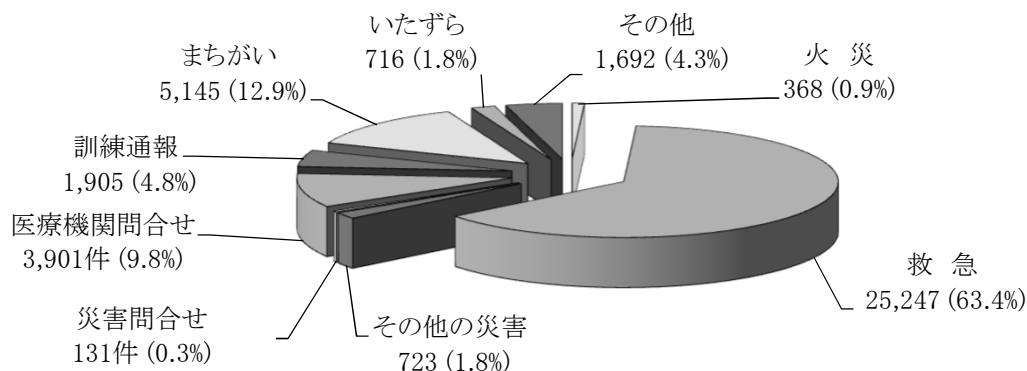
1 総受信状況の推移

年次 区分	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
119番	43,055	43,609	41,658	41,801	41,807	42,679	42,737	43,274	39,600	39,828
警察電話	670	775	640	487	395	410	423	312	269	40
加入電話	709	626	660	637	502	536	555	574	595	1,037
駆け付け	264	248	224	217	222	231	209	239	186	178
自己覚知	109	93	81	172	149	163	152	147	65	62
ホットライン	3,691	3,652	3,375	3,307	3,302	3,246	3,179	3,181	3,198	3,115
緊急通報サービス	1,536	1,243	1,280	1,247	1,207	934	1,064	518	192	141
FAX119	30	38	35	94	115	80	70	57	63	38
NET119	19	23	22	32	35	43	45	26	9	36
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	50,083	50,307	47,975	47,994	47,734	48,322	48,434	48,328	44,177	44,475
1日あたりの受付件数	136.8	137.8	131.4	131.5	130.4	132.4	132.7	132.4	120.7	121.8
1時間あたりの受付件数	5.7	5.7	5.5	5.5	5.4	5.5	5.5	5.5	5.0	5.1



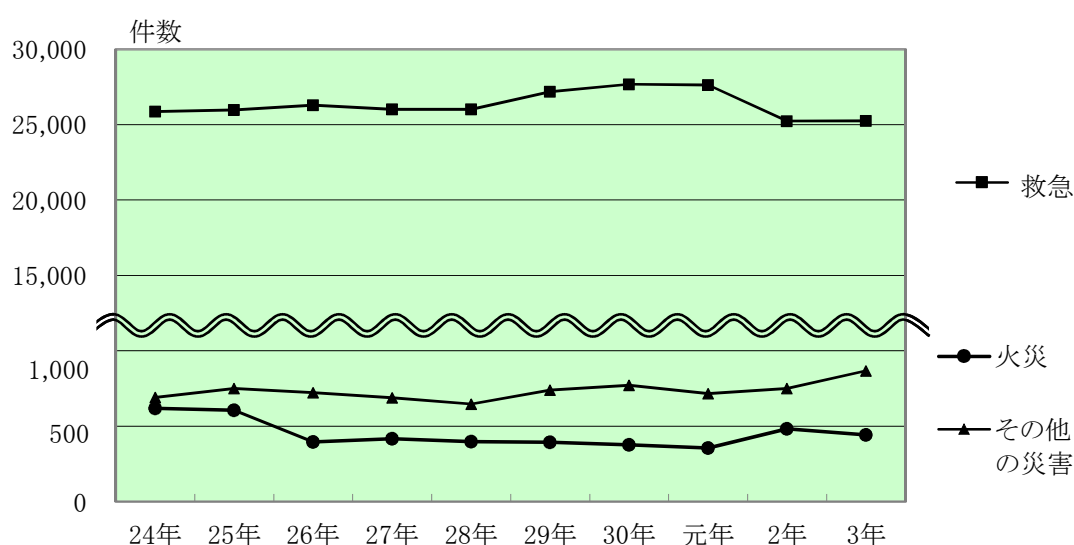
2 119番受信状況

年次 区分	令和3年 (件)	構成比 (%)	令和2年 (件)	構成比 (%)	対前年比	
					増減数(件)	増減率(%)
火災	368	0.9	403	1.0	▲ 35	▲ 8.7
救急	25,247	63.4	25,242	63.7	5	0.0
その他の災害	723	1.8	625	1.6	98	15.7
災害問合せ	131	0.3	190	0.5	▲ 59	▲ 31.1
医療機関問合せ	3,901	9.8	4,206	10.6	▲ 305	▲ 7.3
訓練通報	1,905	4.8	1,708	4.3	197	11.5
まちがい	5,145	12.9	4,848	12.2	297	6.1
いたずら	716	1.8	739	1.9	▲ 23	▲ 3.1
その他(回線点検等)	1,692	4.3	1,639	4.2	53	3.2
合計	39,828	100.0	39,600	100.0	228	0.6



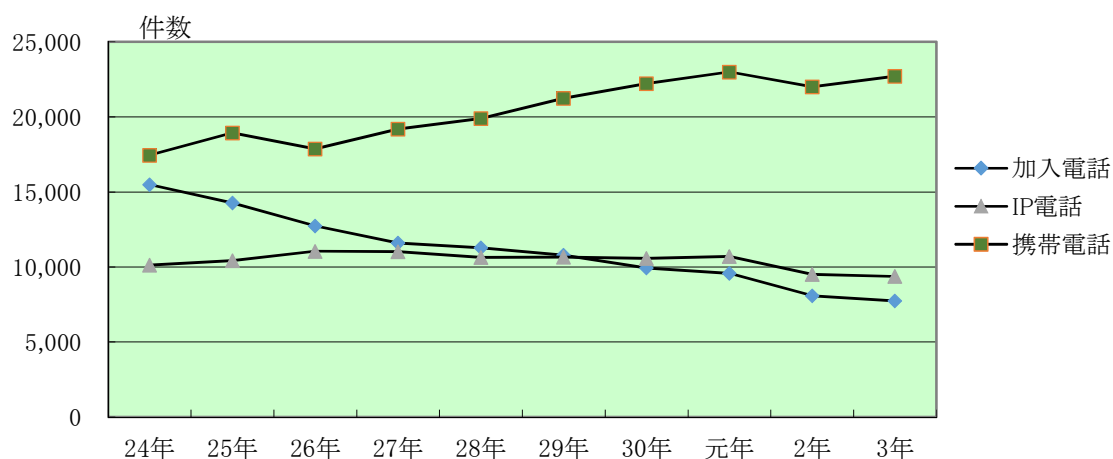
3 119番受信状況の推移

年次 区分	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
火災	515	505	329	348	331	328	314	296	403	368
救急	25,863	25,987	26,292	26,026	26,029	27,191	27,681	27,623	25,242	25,247
その他の災害	575	626	603	574	539	617	643	596	625	723
災害問合せ	397	318	332	370	477	675	387	192	190	131
医療機関問合せ	7,158	6,826	6,451	6,459	5,992	5,731	5,486	5,435	4,206	3,901
訓練通報	1,434	1,539	1,579	1,580	1,712	1,769	1,699	1,977	1,708	1,905
まちがい	3,900	4,437	3,946	4,033	4,120	4,018	3,958	4,768	4,848	5,145
いたずら	952	1,274	621	736	572	578	740	691	739	716
その他(回線点検等)	2,261	2,097	1,505	1,675	2,035	1,772	1,829	1,696	1,639	1,692
合計	43,055	43,609	41,658	41,801	41,807	42,679	42,737	43,274	39,600	39,828
1日あたりの受付件数	117.6	119.5	114.1	114.5	114.2	116.9	117.1	118.6	108.2	109.1
1時間あたりの受付件数	4.9	5.0	4.8	4.8	4.8	4.9	4.9	4.9	4.5	4.5



4 119番通報形態(通報手段)の推移

年次 区分	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
加入電話	15,488	14,258	12,736	11,593	11,281	10,782	9,936	9,573	8,085	7,733
I P 電話	10,119	10,422	11,048	11,014	10,640	10,667	10,576	10,705	9,508	9,373
携帯電話	17,448	18,929	17,874	19,194	19,886	21,230	22,225	22,996	22,007	22,722
合計	43,055	43,609	41,658	41,801	41,807	42,679	42,737	43,274	39,600	39,828



5 FAX119受信状況の推移

区分\年次	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
緊急受信	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-
テスト等	30	38	34	94	115	80	69	56	63	38
合計	30	38	35	94	115	80	70	57	63	38

6 NET119受信状況の推移

区分\年次	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
緊急受信	-	-	-	-	-	3	1	1	9	9
テスト等	19	23	22	32	35	40	44	25	45	27
合計	19	23	22	32	35	43	45	26	54	36

※平成28年4月からWeb119に代わり、NET119の受信を開始しました。

7 外国語同時通訳機能利用状況の推移

区分\年次	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
緊急受信	4	2	3	2	5	1
テスト等	4	4	3	2	-	-
合計	8	6	6	4	5	1

※平成28年4月から外国語同時通訳サービスを開始しました。

8 テレホンガイド(災害案内)受信状況の推移

区分\年次	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
受信件数	138,019	144,982	129,960	115,663	95,104	99,627	92,302	85,161	99,051	91,443

※平成28年4月から電話番号が0180-997-007に変わりました。

9 医療機関問合せ状況の推移

区分\年次	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
119番	7,160	6,826	6,451	6,459	5,992	5,731	5,486	5,435	4,206	3,901
119番以外	7,132	8,898	7,047	6,190	4,307	3,650	2,496	2,970	2,103	2,003
合計	14,292	15,724	13,498	12,649	10,299	9,381	7,982	8,405	6,309	5,904

10 姫路市救急受診ガイド利用状況の推移

アクセス数	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
	7,021	11,949	16,189	18,670	9,795	12,675

※平成28年5月から姫路市救急受診ガイドを開設しました。

※令和2年6月からAIチャットボットにおけるサービスを開始しました。

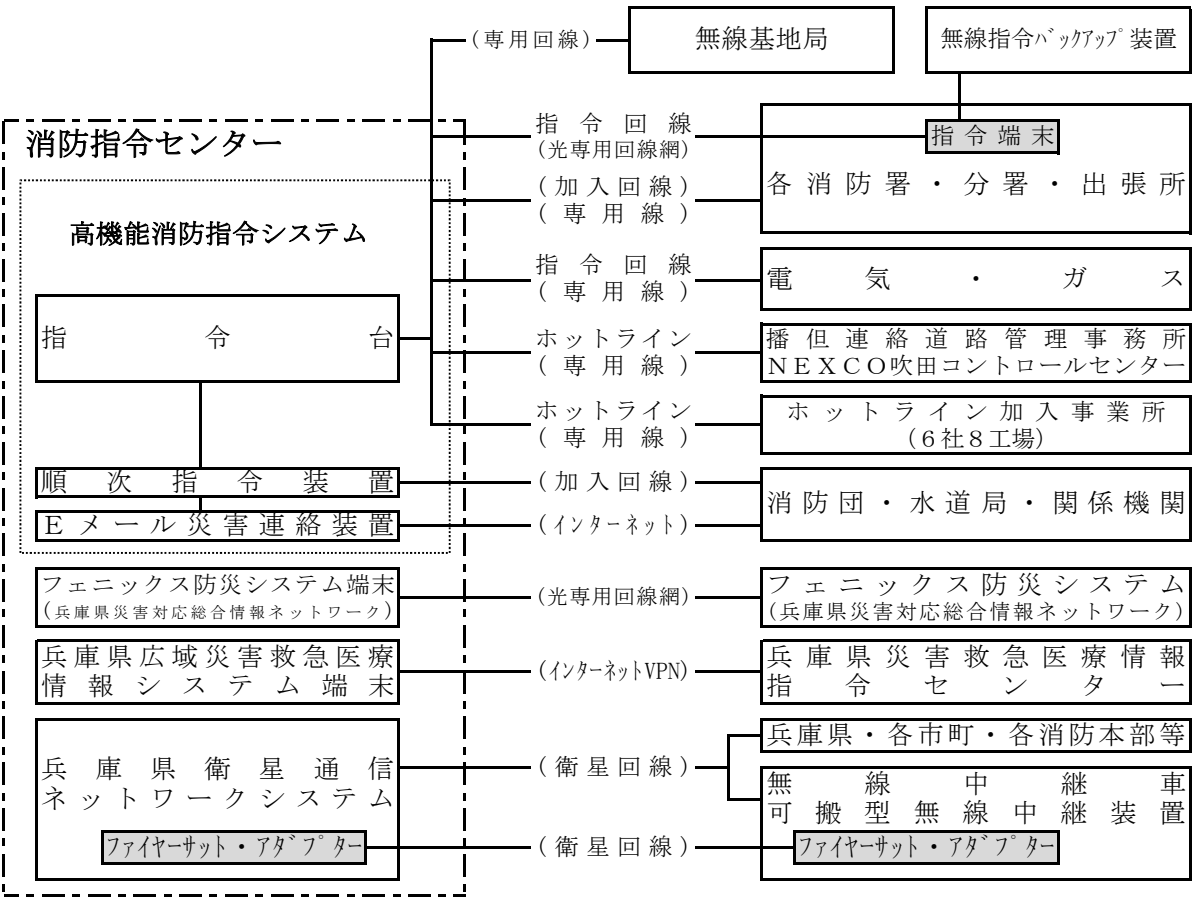
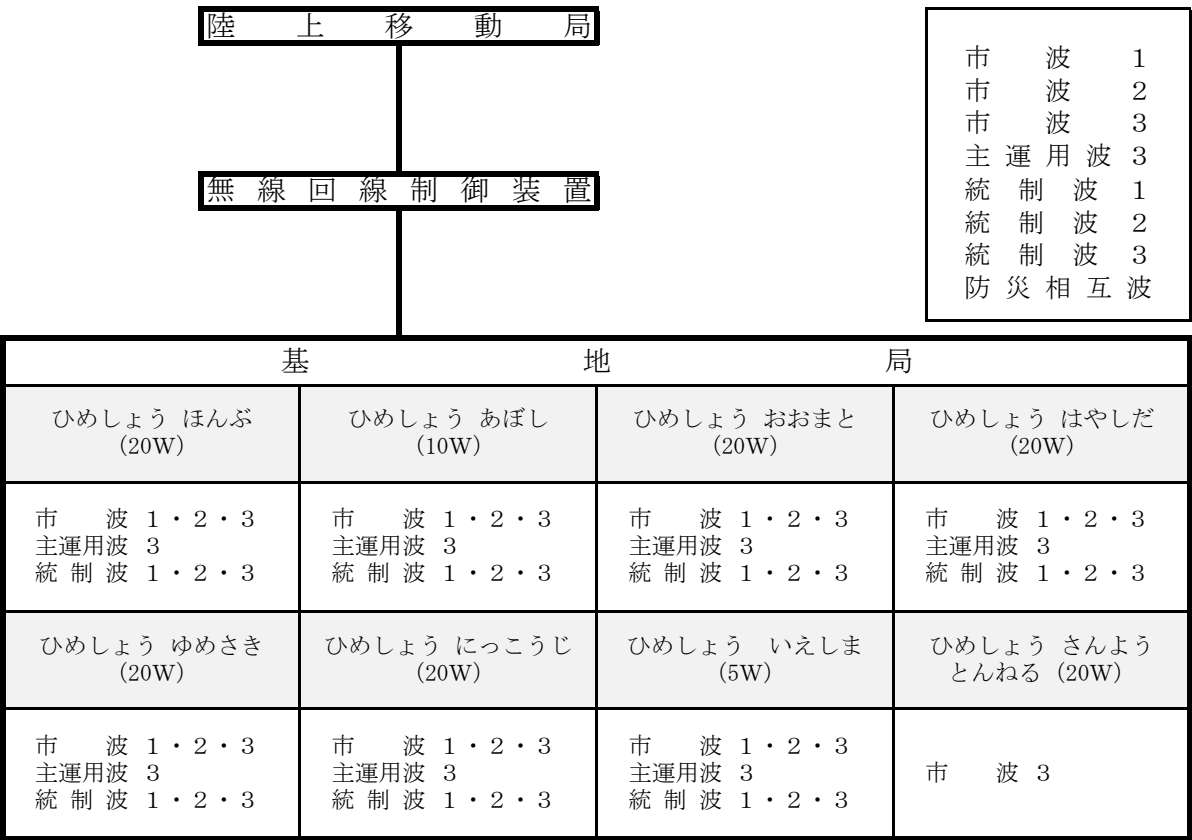
11 119番による応急手当の口頭指導状況

(令和3年中)

市民処置内容	口頭指導件数(A)	(A)のうち市民実施件数	実施率 (%)
気道確保	109	16	14.7
人工呼吸	9	3	33.3
胸骨圧迫	556	208	37.4
心肺蘇生法	102	13	12.7
除細動(AED)	19	5	26.3
止血	175	48	27.4
被覆	53	13	24.5
固定	5	2	40.0
移動	31	9	29.0
体位	225	32	14.2
創傷処置	10	2	20.0
保温	1	1	100.0
その他	67	23	34.3
合計	1,362	375	27.5

12 消防通信系統図

消 防 通 信 系 統 図



このページは空白です。

予 防 ・ 防 災

1 火災予防に関する届出及び申請状況

消防法や火災予防条例では、火災予防に関する管理、設備、少量危険物等の届出を義務づけています。これによって消防機関は、事前にこれらの状況を把握し、効果的な指導を行って適正な予防行政の執行を図っています。

(令和3年度)

署 別			合 計	姫路東	姫路西	飾 磨	網 干	中播消防署
区 分			(うち受託町)	消防署	消防署	消防署	消防署	(うち受託町)
消 防 法 に よ る 届 出	防火管理者	選 任	850 (72)	214	262	191	70	113 (72)
		解 任	670 (65)	132	216	161	58	103 (65)
	消防計画	作 成	800 (69)	178	254	188	68	112 (69)
		変 更	214 (8)	69	66	44	24	11 (8)
	工事整備対象設備等着工届		375 (29)	105	105	86	39	40 (29)
	消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届		1,372 (119)	351	428	316	116	161 (119)
	消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果報告		8,451 (869)	2,006	2,539	1,880	724	1,302 (869)
	防火対象物点検結果報告		547 (38)	217	120	99	43	68 (38)
	圧縮アセチレンガス等の貯蔵(廃止)届		141 (3)	33	26	50	25	7 (3)
火 災 予 防 条 例 に よ る 届 出	消防用設備等工事計画書		603 (50)	177	192	128	57	49 (50)
	防火対象物使用開始届		634 (47)	160	195	139	65	75 (47)
	火を使用する設備等の設置届		137 (6)	22	19	67	20	9 (6)
	変電設備、発電設備、蓄電池設備設置届		235 (18)	43	37	70	49	36 (18)
	ネオン管灯設備設置届		- (-)	-	-	-	-	- (-)
	水素ガスを充てんする気球の設置届		- (-)	-	-	-	-	- (-)
	火災と紛らわしい煙等を発するおそれのある行為の届出		1,786 (276)	291	678	187	141	489 (276)
	煙火打上げ等の届出		8 (1)	3	1	-	2	2 (1)
	演劇等の催物開催届		8 (-)	6	2	-	-	- (-)
	水道断減水届		91 (-)	10	32	22	11	16 (-)
	火気等使用する露店等開設届、道路占用届		123 (21)	83	15	3	-	22 (21)
	道路工事届		617 (115)	100	183	108	67	159 (115)
	文化財等催物開催届		7 (-)	6	1	-	-	- (-)
	指定洞道等届出		- (-)	-	-	-	-	- (-)
	少量危険物貯蔵(変更・廃止)届		99 (7)	18	18	34	22	7 (7)
	指定可燃物(変更・廃止)届		50 (7)	7	6	10	22	5 (7)
	放射性同位元素等貯蔵(変更・廃止)届		16 (-)	5	-	7	4	- (-)

2 防火対象物定期点検報告制度等に係る届出状況

(令和3年度)

区 分		点検を要する 防火対象物数				点検報告済 防火対象物数			
		収容人員 300人以上のもの		特定 1 階段 のもの		収容人員 300人以上のもの		特定 1階段 のもの	
1	イ	14	(－)	－	(－)	10	(－)	－	(－)
	ロ	186	(30)	1	(－)	145	(17)	－	(－)
2	イ	－	(－)	－	(－)	－	(－)	－	(－)
	ロ	19	(2)	－	(－)	14	(1)	－	(－)
	ハ	－	(－)	－	(－)	－	(－)	－	(－)
	ニ	－	(－)	1	(－)	－	(－)	1	(－)
3	イ	－	(－)	1	(－)	－	(－)	－	(－)
	ロ	8	(－)	21	(－)	7	(－)	7	(－)
4		101	(10)	19	(－)	77	(5)	10	(－)
5	イ	10	(1)	20	(1)	9	(1)	13	(1)
6	イ	21	(2)	11	(－)	15	(2)	8	(－)
	ロ	2	(－)	9	(－)	2	(－)	5	(－)
	ハ	3	(－)	4	(－)	3	(－)	3	(－)
	ニ	2	(－)	－	(－)	2	(－)	－	(－)
9	イ	－	(－)	1	(－)	－	(－)	1	(－)
16	イ	114	(3)	42	(－)	88	(3)	18	(－)
16の2		1	(－)	－	(－)	1	(－)	－	(－)
合 計		481	(48)	130	(1)	373	(29)	66	(1)
		611		(49)		439		(30)	

※ ()内は受託町 (内数)

3 液化石油ガス施設等の推移

消防活動が著しく困難な液化石油ガス等を貯蔵し又は取り扱うものには、消防法及び火災予防条例等に基づき消防署長に届出を義務づけています。

(各年度末現在)

年度 区分	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3
液化石油ガス	1,700 (128)	1,747 (131)	1,791 (133)	1,860 (132)	1,931 (139)	1,975 (141)	2,044 (139)	2,101 (149)	2,171 (178)	2,227 (152)
高圧ガス	86 (－)	87 (－)	92 (－)	97 (－)	97 (－)	98 (－)	98 (－)	98 (－)	98 (－)	109 (－)
毒物・劇物等	279 (14)	298 (18)	311 (19)	320 (19)	325 (19)	331 (19)	337 (19)	340 (22)	341 (22)	333 (18)
合 計	2,065 (142)	2,132 (149)	2,194 (152)	2,277 (151)	2,353 (158)	2,404 (160)	2,479 (158)	2,539 (171)	2,610 (200)	2,669 (170)

※ ()内は受託町(内数)

(注) 液化石油ガス(供給設備)の一部については、県からの事務移譲分を含む。

4 指定査察対象物の推移

(各年度末現在)

年度 署別	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3
姫路東消防署	5,179	5,210	5,249	5,270	5,173	5,223	5,244	5,419	5,739	5,614
姫路西消防署	4,893	4,919	4,902	4,845	4,821	4,822	4,868	4,940	5,412	5,332
飾磨消防署	5,029	5,073	5,093	5,093	5,165	5,129	5,129	5,254	5,888	5,817
網干消防署	2,219	2,255	2,266	2,233	2,146	2,258	2,261	2,279	2,475	2,450
中播消防署	1,786 (1,144)	1,752 (1,120)	1,787 (1,139)	1,822 (1,165)	1,802 (1,164)	1,833 (1,169)	1,908 (1,209)	1,956 (1,247)	2,155 (1,388)	2,135 (1,382)
合 計	19,106 (1,144)	19,209 (1,120)	19,297 (1,139)	19,263 (1,165)	19,107 (1,164)	19,265 (1,169)	19,410 (1,209)	19,848 (1,247)	21,669 (1,388)	21,348 (1,382)

※ ()内は受託町(内数)

5 消防法等違反の実態と措置状況

(令和3年度)

区分	違反対象物数	指示件数
警告件数	3	4
命令件数	2	2

6 指定査察対象物の立入検査等実施状況

消防法第4条の規定により、あらゆる仕事場、工場若しくは公衆の出入りする場所その他関係のある場所に立ち入って、防火対象物の位置、構造、設備及び管理の状況を検査し、火災予防上の法令違反及びその他の不備欠陥事項について、関係者に対して是正指導等を行っています。

用 途 別			査 察 区 分		合 計		特種査察対象物				第1種査察対象物				第2種査察対象物				第3種査察対象物				第4種査察対象物				第5種査察対象物		(令和3年度中)	
							対象数	立入検査等数	違反対象数	指示件数	対象数	立入検査数	立入違反対象数	指示件数	対象数	立入検査数	立入違反対象数	指示件数	対象数	立入検査数	立入違反対象数	指示件数	対象数	立入検査数	立入違反対象数	指示件数	対象数	立入検査数		立入違反対象数
1	イ	劇場・映画館・演芸場 観覧場 公会堂・集会場	21,348	1,643	922	3,079	811	373	225	582	1,131	312	144	342	2,568	87	44	223	4,909	321	189	586	8,147	493	320	1,346	3,782	57		
			5	-	-	-						4								1										
			18	3	1	5						13	3	1	4					1				4			1			
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ 遊技場・ダンスホール 性風俗関連特殊営業を営む店舗 ニカラオケボックス等	290	42	15	41	2	2	1	2	67	10	7	24					155	21	5	11	66	9	2	4				
			8	2	1	5													3	2	1	3	5			2				
			59	1	1	10						30			2					12	1	1	3	17			5			
3	イ	飲食店 百貨店・メーカー 店舗・展示場	-	-	-	-													1				4	1	1	1				
			12	2	1	3	12	2	3	2	6	2								142	22	16	51	694	53	47	133	5		
			9	4	3	7	23	26	12	22										175	28	21	46	526	58	39	77	7		
4	イ	旅館・ホテル・宿泊所 寄宿舎・下宿 公共住宅 病院	1,046	195	124	283	19	20	10	25	319	89	54	135																
			218	127	77	174	218	127	77	174										108	5	4	11	10			2		97	2
			216	7	4	13														1,572	46	37	113	205	3	3	22	2,881	37	
5	イ	診療所 特別養護老人ホーム等 老人デイサービスセンター等	4,659	86	40	135	42	12	11	34	8								2				1							
			53	12	11	34	30	22	8	29	35	6	6	17					74	7	4	8	195	8	6	21	1			
			335	43	24	75	232	59	47	133	2									169	25	9	16	255	28	17	30	1		
6	イ	老人デイサービスセンター等 幼稚園 特別支援学校	234	59	47	133	81	25	16	36	105	15	8	14					50	2			21							
			612	93	50	96														2	1			1						
			86	5	2	2						14	3	2	2					169	25	9	16	255	28	17	30	1		
7	イ	小学校 中学校 高等学校 大学 各種学校 図書館・博物館・美術館 イ	13	4	-	-					10	3							2	1			1							
			274	1	1	1														50				44					11	
			184	-	-	-						91								49				37					7	
8	イ	蒸気浴場・熱気浴場 イ以外 の浴場 車両の停車場等 神社 寺院・教会の類 工場・作業場	120	-	-	-													23				27							
			82	2	-	-														23				14					1	
			75	-	-	-						47								16				12					2	
9	イ	図書館・博物館・美術館 イ	19	6	2	1													4	1			1							
			1	1	-	-														1				8	2	2	4	2		
			13	3	3	8						2	1	1	4					5				5					3	
10	イ	車両の停車場等 神社 寺院・教会の類 工場・作業場	15	-	-	-													2				12	1						
			21	2	-	1														2	1			12	1		1	6		
			179	25	15	43						21	3	2	5					27	5	2	3	125	14	11	35	6		
11	イ	映画スタジオ・テレビスタジオ イ	3,002	169	95	494													619	51	27	109	1,350	71	45	261	51	2		
			1	-	-	-													1											
			473	32	18	48														174	10	5	11	223	20	13	37	59	2	
12	イ	自動車庫・駐車場 飛行機又は回転翼航空機の格納庫 倉庫	-	-	-	-																								
			2,384	128	74	323														477	30	17	52	1,301	81	51	228	160	1	
			1,178	42	23	127						1								126	8	3	12	721	29	18	100	122	1	
13	イ	銀行・信用金庫等 発電所・変電所 官公署 その他 特定複合用途防火対象物 イ以外の複合用途防火対象物	139	10	1	2													47	7	1	2	57	2						
			66	3	2	3														22	1	1	2	24	2	1	1	16		
			132	3	1	5														10				61	3	1	4	6		
14	イ	倉庫 事務所 銀行・信用金庫等 発電所・変電所 官公署 その他 特定複合用途防火対象物 イ以外の複合用途防火対象物	1,680	80	31	103													186	12	4	12	965	54	24	84	305	9		
			1,650	182	123	513														444	29	25	99	723	40	31	195	3		
			720	24	17	134						3								135	6	6	22	420	14	8	98	26		
15	イ	地 下 街	1	-	-	-																								
			16の2	1	-	-	-																							
			16の3	-	-	-	-																							
16	イ	準 文 化 財	147	136	35	40																								
			17	136	35	40																								
			18	12	-	-	-																							

7 指定査察対象物の状況

(令和3年度末現在)

[illegible]

(注) 総計数値は受託町を含む。

(注) 中播消防署管内の数値は受託町を含む。

8 中高層建築物・地下を有する建築物の状況

(令和3年度末現在)

階 別 用 途 別		地 上 階															
		合計	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	16階		
総 計		3,016	1,191	739	350	180	166	108	130	65	22	22	19	24	-		
1	イ 劇場・映画館・演芸場	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	イ 観 覧 場	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ 公 会 堂 ・ 集 会 場	11	6	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
2	イ キャバレー・カフェ・ナイトクラブ	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ 遊 技 場 ・ ダ ンス ホール	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ニ カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
3	イ 待 合 ・ 料 理 店	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ 飲 食 店	49	25	9	11	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-		
4	百貨店・マーケット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	店 舗 ・ 展 示 場	44	25	13	4	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-		
5	イ 旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	49	14	9	6	4	3	4	1	3	2	-	2	1	-		
	ロ 寄 宿 舎 ・ 下 宿	53	27	21	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-		
	ロ 共 同 住 宅	1,316	320	340	162	93	98	72	108	54	12	21	14	22	-		
6	イ 病 院	39	12	10	12	3	-	1	-	-	1	-	-	-	-		
	イ 診 療 所	26	17	5	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ 特 別 養 護 老 人 ホーム等	37	22	8	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ハ 老人デイサービスセンター等	7	3	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
	ニ 幼 稚 園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ニ 特 別 支 援 学 校	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
7	小 学 校	62	60	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	中 学 校	23	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	高 等 学 校	26	20	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	大 学	19	10	3	2	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-		
	各 種 学 校	31	16	5	4	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-		
8	図書館・博物館・美術館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
9	イ 蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ イ 以 外 の 浴 場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
10	車 両 の 停 車 場 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
11	神 社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	寺 院 ・ 教 会 の 類	6	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
12	イ 工 場 ・ 作 業 場	116	74	20	11	7	2	2	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
13	イ 自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	15	9	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
14	倉 庫	46	37	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
15	事 務 所	218	115	47	22	12	14	5	2	1	-	-	-	-	-		
	銀 行 ・ 信 用 金 庫 等	20	7	3	2	-	4	2	-	-	2	-	-	-	-		
	発 電 所 ・ 変 電 所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	官 公 署	21	11	5	2	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
	そ の 他	63	34	16	8	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-		
16	イ 特 定 複 合 用 途 防 火 対 象 物	474	186	136	60	34	30	12	6	5	1	1	2	1	-		
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	227	103	58	26	11	8	6	9	2	3	-	1	-	-		
16の2	地 下 街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
16の3	準 地 下 街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
17	文 化 財	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
18	延長50m以上のアーケード	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

地階を有する建築物			
合計	地下1階	地下2階	地下3階
297	284	11	2
1	1	-	-
2	1	1	-
1	1	-	-
-	-	-	-
2	2	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
2	2	-	-
9	9	-	-
-	-	-	-
12	11	-	1
16	16	-	-
-	-	-	-
42	42	-	-
10	9	1	-
3	3	-	-
2	2	-	-
1	1	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
2	2	-	-
1	1	-	-
9	9	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
7	7	-	-
-	-	-	-
1	1	-	-
-	-	-	-
2	2	-	-
27	27	-	-
8	7	1	-
-	-	-	-
3	3	-	-
7	6	1	-
104	96	7	1
19	19	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
1	1	-	-
-	-	-	-

9 防火対象物使用開始検査の状況

新たに防火対象物を使用しようとする者から届出があった場合には、使用開始検査を実施し、火災予防上の法令違反及びその他の不備欠陥事項について、関係者に対して是正指導等を行っています。

[illegible]

(注) 総計数値は受託町を含む。

(注) 中播消防署管内の数値は受託町を含む。

10 防火管理者・消防計画を必要とする防火対象物の届出状況

(令和3年度末現在)

区 分 用 途 別			防火管理義務 対象物数	防火管理者選任対象物数		消防計画届出対象物数	
					選任率		届出率
総 計			5,174	4,435	86%	4,377	85%
1	イ	劇 場・映 画 館・演 芸 場	3	3	100%	3	100%
	イ	観 覧 場	12	12	100%	12	100%
	ロ	公 会 堂・集 会 場	256	241	94%	240	94%
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ	7	5	71%	5	71%
	ロ	遊 技 場・ダ ン ス ホ ー ル	35	33	94%	34	97%
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗	-	-	-	-	-
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	11	11	100%	11	100%
3	イ	待 合・料 理 店	5	4	80%	4	80%
	ロ	飲 食 店	498	397	80%	383	77%
4	百 貨 店・マ ー ケ ッ ト		11	11	100%	11	100%
	店 舗・展 示 場		682	594	87%	584	86%
5	イ	旅 館・ホ テ ル・宿 泊 所	100	96	96%	96	96%
	ロ	寄 宿 舎・下 宿	15	14	93%	15	100%
	ロ	共 同 住 宅	828	627	76%	625	75%
6	イ	病 院	33	33	100%	33	100%
	イ	診 療 所	64	58	91%	58	91%
	ロ	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム 等	173	164	95%	164	95%
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	235	226	96%	226	96%
	ニ	幼 稚 園	39	39	100%	39	100%
	ニ	特 別 支 援 学 校	4	4	100%	4	100%
7	小 学 校		79	79	100%	79	100%
	中 学 校		39	39	100%	39	100%
	高 等 学 校		22	21	95%	21	95%
	大 学		6	6	100%	6	100%
	各 種 学 校		40	37	93%	36	90%
8	図 書 館・博 物 館・美 術 館		12	12	100%	12	100%
9	イ	蒸 気 浴 場・熱 気 浴 場	1	1	100%	1	100%
	ロ	イ 以 外 の 浴 場	6	4	67%	4	67%
10	車 両 の 停 車 場 等		-	-	-	-	-
11	神 社		7	6	86%	6	86%
	寺 院・教 会 の 類		84	63	75%	62	74%
12	イ	工 場・作 業 場	210	196	93%	195	93%
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	-	-	-	-	-
13	イ	自 動 車 車 庫・駐 車 場	5	4	80%	4	80%
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	-	-	-	-	-
14	倉 庫		37	35	95%	35	95%
15	事 務 所		162	137	85%	135	83%
	銀 行・信 用 金 庫 等		67	66	99%	66	99%
	発 電 所・変 電 所		3	3	100%	3	100%
	官 公 署		42	41	98%	41	98%
	そ の 他		236	205	87%	202	86%
16	イ	特定複合用途防火対象物	964	803	83%	781	81%
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	126	90	71%	87	69%
16の2	地 下 街		1	1	100%	1	100%
16の3	準 地 下 街		-	-	-	-	-
17	文 化 財		14	14	100%	14	100%
18	延長50m以上のアーケード		-	-	-	-	-

11 消防同意等の推移

区分 \ 年度	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
消 防 同 意	817 (49)	901 (58)	900 (47)	903 (48)	896 (41)	895 (4)	871 (45)	770 (50)	719 (44)	699 (41)
計 画 通 知	41 (-)	34 (-)	36 (-)	39 (1)	37 (-)	24 (-)	33 (-)	32 (-)	36 (1)	24 (-)

※ ()内は受託町 (内数)

12 民間防火組織等の指導育成状況

(令和3年度)

業態別	訓 練 内 容	実 施 対象数	実 施 人員	区 分	訓 練				研 修			その他
					消 火	避 難 通 報	器 具 取 扱	救 急	講 習 会	映 画	施 設 見 学	
婦人防火クラブ		0	0	対象数	0	0	0	0	0	0	0	0
				人 員	0	0	0	0	0	0	0	0
保育園・幼稚園 (幼年消防クラブを含む)		92	6,311	対象数	36	35	1	0	3	0	40	20
				人 員	2,985	3,177	135	0	431	0	1,794	1,707
学 校 (PTA・市政出前講座を含む)		75	5,539	対象数	7	6	0	2	6	0	63	4
				人 員	851	1,101	0	35	854	0	4,259	402
事 業 所		83	2,564	対象数	74	88	9	23	2	0	1	14
				人 員	2,081	2,164	117	277	60	0	173	614
そ の 他		28	417	対象数	3	3	0	0	0	0	25	0
				人 員	57	57	0	0	0	0	360	0
合 計		278	14,831	対象数	120	132	10	25	11	0	129	38
				人 員	5,974	6,499	252	312	1,345	0	6,586	2,723

13 自主防災組織の結成状況

自主防災組織は、水害、地震等の災害から地域を守るため、自治会が主体となり自主的に結成された組織です。平常時は防火防災知識の習得や訓練を実施し、災害時には地域が一体となって、人命や財産等の被害の軽減にあたります。

令和4年4月1日現在、782組織が結成されています。

なお、全自治会数は925で、複数の自治会が合同で結成している地域もあり、結成率は100%です。

				(令和4年4月1日現在)			
署別	地区	結成組織数	結成自治会数	署別	地区	結成組織数	結成自治会数
合計	72	782	925	小計	16	132	240
小計	20	276	292	飾磨	高 浜	14	14
姫路東消防署	城 東	23	23	飾磨橋東	飾磨橋東	10	10
	城 東	26	26		飾磨橋西	10	10
	城 巽	23	31	津 田	津 田	4	4
	城 南	18	18		英賀保	20	20
	野 里	26	29	磨 広 畑	広 畑	11	11
	城 北	17	17		広畑第二	13	13
	城 乾	8	8	消 八 幡	八 幡	24	24
	広 峰	12	12		妻 鹿	1	17
	水 上	12	12	防 白 浜	白 浜	3	38
	増 位	12	12		八 木	1	10
	花 田	9	9	署 糸 引	糸 引	1	6
	別 所	9	9		的 形	12	12
	御国野	7	7	大 塩	大 塩	4	4
	四 郷	11	11		家 島	3	31
	谷 内	9	9	坊 勢	坊 勢	1	16
	谷 外	11	11	小計	8	55	72
	砥 堀	5	5	網 大 津	大 津	6	6
	豊 富	22	27	干 南大津	南大津	5	5
	山 田	7	7		大津茂	11	13
	船 津	9	9	消 網 干	網 干	5	17
小計	18	236	238		網干西	4	7
姫路西消防署	船 場	38	38	防 旭 陽	旭 陽	10	10
	城 西	32	32		勝 原	10	10
	安 室	5	5	署 余 部	余 部	4	4
	安室東	7	7	小計	10	83	83
	高 岡	17	17	中 置 塩	置 塩	10	10
	高岡西	14	14		古 知	6	6
	荒 川	15	15	播 前之庄	前之庄	9	9
	手 柄	9	9		山之内	8	8
	城 陽	15	15	消 菅 生	菅 生	15	15
	曾 左	18	18		上 菅	6	6
	白 鳥	10	10	防 苅 野	苅 野	4	4
	青 山	10	10		中 寺	11	11
	峰 相	6	6	署 香 呂	香 呂	10	10
	太 市	8	8		香呂南	4	4
	林 田	14	14	全自治会数 925 (結成率 100%)			
	伊 勢	1	3				
	安富南	13	13				
	安富北	4	4				

《自主防災組織の訓練数の推移》

(令和4年3月末)

地域で行う防災訓練は、自主防災組織における活用を中心のひとつです。自主防災組織が適正に活動できるよう消火、避難通報、器具取扱、応急手当訓練指導をはじめ、講習会、映画会、施設見学会の研修を積極的に進めています。

年度	対象数	参加人員	訓 練										研 修		その他
			消火 訓練	消火栓 取扱 訓練	避難 訓練	救出 訓練	応急 処置 訓練	情報 連絡 訓練	心肺 蘇生法	炊事 訓練	避難所 運営 訓練	災害 図上 訓練	防災 ビデオ 映画会	防災 講習	
平成 24 年	885	15,603	210	110	127	54	136		107	165	56	14	114	174	218
			8,988	6,487	5,716	1,674	2,850		4,846	6,383	530	1,012	1,806	3,202	3,589
平成 25 年	572	21,922	370	118	284	113	226		242	206	70	24	94	143	133
			14,952	9,288	8,964	3,684	5,947		6,938	8,138	1,257	457	2,379	6,397	4,197
平成 26 年	503	21,953	292	134	263	24	115		195	183	70	1	36	159	112
			14,256	9,039	12,088	2,387	4,682		6,910	7,366	1,255	70	1,167	6,093	4,138
平成 27 年	458	19,926	244	125	181	59	128		215	213	1	3	32	126	71
			12,826	9,046	10,233	1,916	4,452		6,575	9,841	98	222	1,147	4,349	2,993
平成 28 年	645	27,143	338	145	315	106	104		233	331	15	1	51	176	138
			17,041	9,522	13,992	5,009	7,198		9,564	13,584	1,003	20	1,611	5,698	5,770
平成 29 年	510	25,564	352	138	259	96	127		200	200	28	2	54	119	119
			18,412	10,195	13,225	4,645	6,510		9,439	8,843	799	92	2,088	6,533	7,611
平成 30 年	554	24,904	273	173	303	101	150		271	219	92	0	35	130	179
			16,111	10,399	13,329	4,797	6,903		10,669	9,534	3,583	0	2,465	7,120	7,208
令和 元年	525	23,636	354	175	268	119	139	228	27	198	31	0	38	115	151
			16,080	9,099	11,737	4,347	5,782	9,076	1,127	7,769	987	0	1,651	4,909	6,998
令和 2 年	277	5,740	83	41	108	1	44	1	32	102	114	6	14	92	62
			2,737	2,224	2,049	18	628	100	588	1,695	1,248	123	158	859	1,211
令和 3 年	524	8,294	161	49	112	1	68	14	85	80	111	80	42	56	135
			4,270	2,486	2,448	11	1,478	230	1,649	1,401	972	346	563	725	813

※訓練、研修及びその他欄について、年度毎の上段は延べ実施回数、下段は延べ参加人数。

《避難所運営訓練実施状況推移》

令和4年3月末

円滑な避難所運営と、自主防災組織を中心とした住民の連携強化、それぞれの役割分担を明らかにすることを目的に、避難所運営訓練を実施しています。

年度	訓練日	地区	参加者	
平成29年	11月3日(金)	御国野	300人	2,406人
	11月5日(日)	野里、高浜、的形	1,100人	
	11月23日(木)	広畑	500人	
	3月4日(日)	置塩	506人	
平成30年	5月20日(日)	津田	196人	3,583人
	9月2日(日)	妻鹿	200人	
	11月11日(日)	御国野、野里	640人	
	11月23日(金)	広畑	500人	
	3月3日(日)	置塩	480人	
	各地区実施	単位自主防災会	1,567人	
令和元年	9月1日(日)	妻鹿	220人	987人
	11月10日(日)	網干、網干西、安富南、安富北	204人	
	各地区実施	単位自主防災会	563人	
令和2年	9月20日(日)	安室	15人	1,248人
	11月1日(日)	高浜	200人	
	11月8日(日)	御国野	50人	
	11月23日(月)	広畑	140人	
	11月28日(土)	城巽	10人	
	12月13日(日)	上余部	100人	
	3月7日(日)	高岡	250人	
	3月21日(日)	城東	100人	
	各地区実施	単位自主防災会	383人	
令和3年	7月4日(日)	城西	100人	1,897人
	10月2日(土)	大津茂	250人	
	10月24日(日)	城乾、中寺	90人	
	10月31日(日)	高浜	268人	
	11月21日(日)	広峰、広畑、香呂	332人	
	11月27日(土)	御国野	150人	
	11月28日(日)	安室東、手柄	310人	
	2月19日(土)	城北	30人	
	3月6日(日)	高岡、置塩	325人	
	各地区実施	単位自主防災会	42人	



このページは空白です。

危 險 物

1 危険物事務の処理状況

(令和3年度)

区 分			製 造 所 等			
			合 計	製 造 所	貯 蔵 所	取 扱 所
合 計			2,319	382	819	1,118
許 可	設 置		46	—	33	13
	変 更		427	108	111	208
検 査	設 置 完 成		44	—	33	11
	変 更 完 成		431	106	118	207
	保 安		1	—	1	—
届 出	保 安 監 督 者		239	6	123	110
	品 名 数 量		58	4	38	16
	廃 止		62	2	41	19
	そ の 他		609	54	239	316
認 可	予 防 規 程	制 定	2	—	2	—
		変 更	38	5	4	29
仮 使 用 承 認			362	97	76	189

2 完成検査前検査の状況

(令和3年度)

水 圧 検 査	12	基 礎 ・ 地 盤	—
水 張 検 査	46	溶 接 部	—

3 仮貯蔵・仮取扱承認件数の状況

(令和3年度)

仮 貯 蔵	278	仮 取 扱	49
-------	-----	-------	----

4 危険物施設の状況

(令和3年度末現在)

署 別 施設区分	合 計	姫路東 消防署	姫路西 消防署	飾 磨 消防署	網 干 消防署	中 播 消防署
合 計	2,143	284	257	748	504	350 (297)
製 造 所	46	1	3	5	29	8 (8)
屋 内 貯 蔵 所	344	73	54	98	56	63 (54)
屋外タンク貯蔵所	456	12	23	167	193	61 (57)
屋内タンク貯蔵所	23	3	4	9	6	1 (1)
地下タンク貯蔵所	228	48	42	52	17	69 (55)
移動タンク貯蔵所	303	41	32	138	65	27 (25)
簡易タンク貯蔵所	3	—	—	1	—	2 (—)
屋 外 貯 蔵 所	63	5	15	15	12	16 (16)
給 油 取 扱 所	293	65	41	102	31	54 (38)
販 売 取 扱 所	17	5	11	1	—	— (—)
移 送 取 扱 所	9	—	—	5	4	— (—)
一 般 取 扱 所	358	31	32	155	91	49 (43)

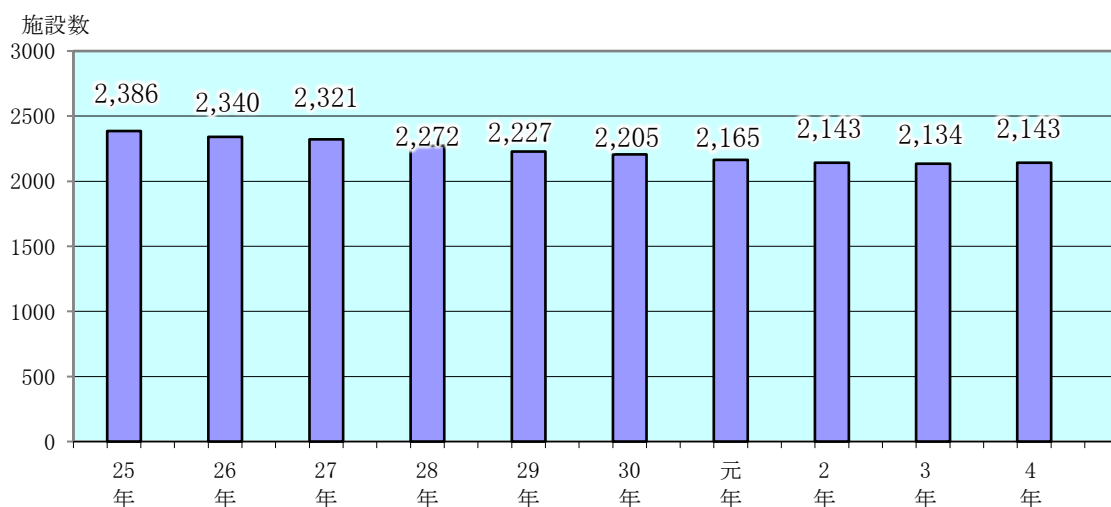
※ ()内は受託町(内数)

5 危険物施設の推移

(令和3年度末現在)

年度 署別	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
姫路東消防署	328	305	296	280	292	289	289	281	280	284
姫路西消防署	296	276	277	271	262	250	243	243	248	257
飾磨消防署	850	854	843	831	797	793	779	765	757	748
網干消防署	514	518	513	508	508	510	498	504	504	504
中播消防署	398 (320)	387 (315)	392 (325)	382 (325)	368 (314)	363 (307)	356 (305)	350 (299)	345 (296)	350 (297)
合 計	2,386 (320)	2,340 (315)	2,321 (325)	2,272 (325)	2,227 (314)	2,205 (307)	2,165 (305)	2,143 (299)	2,134 (296)	2,143 (297)

※ ()内は受託町(内数)



6 危険物施設立入検査実施状況

(令和3年度)

区 分	立入検査計画数	立入検査施設数
合 計	1,032	1,018
製 造 所	30	30
屋 内 貯 蔵 所	118	119
屋外タンク貯蔵所	190	296
屋内タンク貯蔵所	12	11
地下タンク貯蔵所	90	73
移動タンク貯蔵所	87	107
簡易タンク貯蔵所	1	1
屋 外 貯 蔵 所	30	47
給 油 取 扱 所	138	112
販 売 取 扱 所	7	0
移 送 取 扱 所	9	10
一 般 取 扱 所	320	212

実施率

98.6%

7 特定・準特定屋外タンクの容量別・品名別状況

(令和3年度末現在)

容 量	品 名	合計	原油	ナフサ	ガソリン	灯油	軽油	重油	アルコール類	その他
合 計		96	－	－	3	2	4	6	9	72
準特定屋外タンク	計	50	－	－	1	1	－	4	3	41
500kL以上	1,000kL未満	50	－	－	1	1	－	4	3	41
特定屋外タンク	計	46	－	－	2	1	4	2	6	31
1,000kL以上	5,000kL未満	38	－	－	2	1	4	2	3	26
5,000kL以上	10,000kL未満	6	－	－	－	－	－	－	1	5
10,000kL以上	50,000kL未満	2	－	－	－	－	－	－	2	－
50,000kL以上	70,000kL未満	－	－	－	－	－	－	－	－	－

8 特定事業所の危険物等貯蔵取扱量の状況

(令和3年度末現在)

区 分	石 油 の 貯蔵取扱量 (kℓ)	高圧ガスの 処 理 量 (Nm ³)	第4類危険物 (石油以外) 貯蔵取扱量 (kℓ)	第4類以外 危 険 物 貯蔵取扱量 (t・kℓ)
合 計	260,987	88,358,785	115,286	5,192
第1種事業所	233,241	87,637,908	25,784	5,180
第2種事業所	27,746	720,877	89,502	12

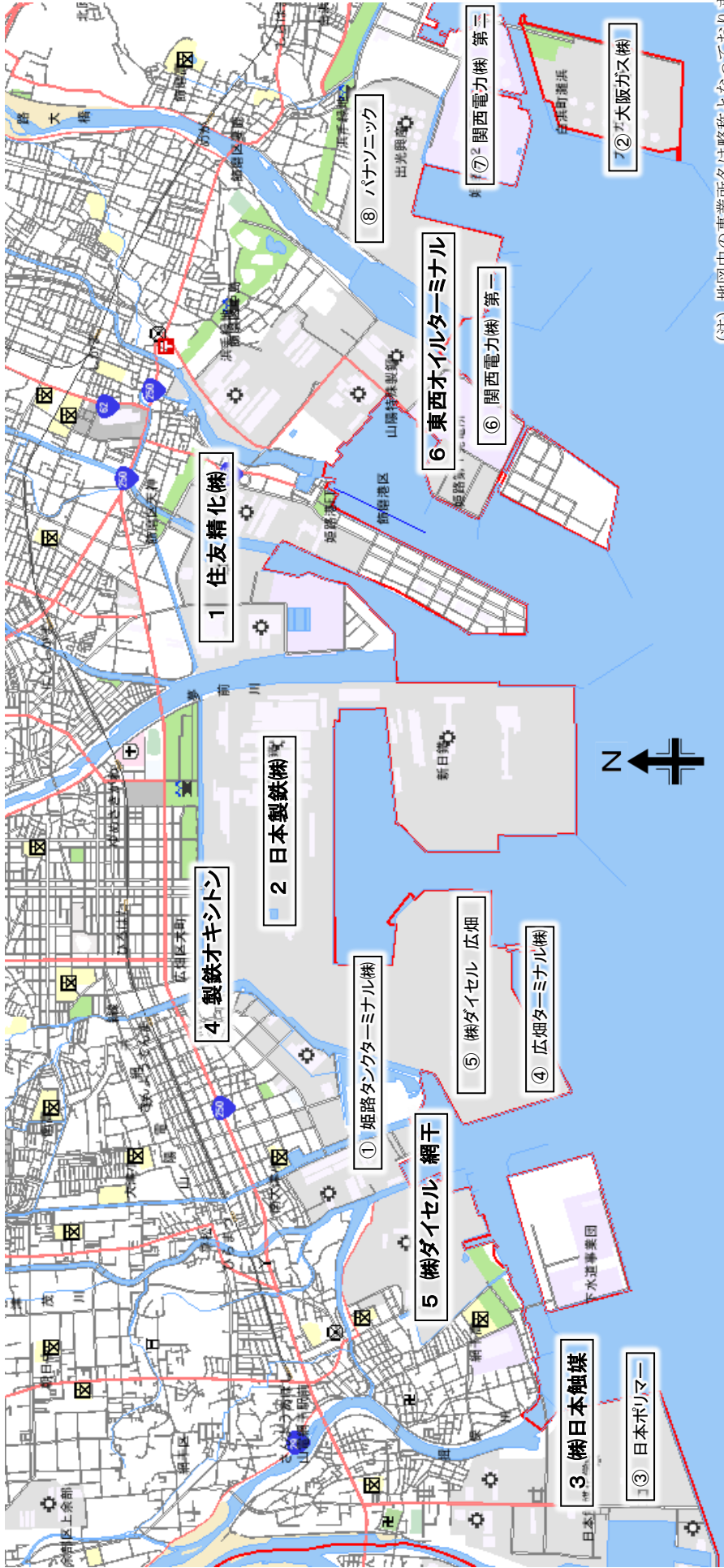
区 分	可燃性固体等		高圧ガス以外 の可燃性ガス (Nm ³)	毒 物		劇 物	
	固 体 (t)	液 体 (m ³)		石災法 (t)	毒劇法 (t)	石災法 (t)	毒劇法 (t)
合 計	52,113	611	64,109,377	30	287	2,912	107,290
第1種事業所	23,571	511	2,304,137	30	286	53	34,647
第2種事業所	28,522	100	61,805,240	－	1	2,859	72,643

9 特定事業所の危険物施設の状況

(令和2年度末現在)

区 分	合 計	第1種事業所	第2種事業所
合 計	532	424	108
製 造 所	34	31	3
屋 内 貯 蔵 所	60	44	16
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	259	211	48
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	5	1	4
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	3	2	1
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	0	0	0
屋 外 貯 蔵 所	6	3	3
自 家 用 給 油 所	9	9	0
移 送 取 扱 所	9	3	6
一 般 取 扱 所	147	120	27

10 姫路臨海地区特別防災区域の現況(令和4年4月1日現在)



(注) 地図中の事業所名は略称となっております

特定事業所名

第1種事業所	
1	住友精化(株) 姫路工場
2	日本製鉄(株) 瀬戸内製鉄所 広畑地区
3	(株) 日本触媒 姫路製造所
4	製鉄オキシトン(株) 広畑工場
5	(株) ダイセル チェーンプロダクションカンパニー 姫路製造所 網干工場
6	東西オイルターミナル(株) 姫路油槽所
その他	

第2種事業所	
①	姫路タンクターミナル(株)
②	大阪ガス(株) 姫路製造所
③	日本触媒(株) 姫路工場
④	製鉄オキシトン(株) 姫路工場
⑤	(株) ダイセル マルチプロダクションカンパニー 姫路製造所 広畑工場
⑥	関西電力(株) 姫路第一発電所
⑦	関西電力(株) 姫路第二発電所
⑧	パナソニック(株) 液晶・ディスプレイ

11 危険物防災体制の推進状況

名 称	設置年月日	推 進 事 項 等
姫路化学消火薬剤 共同備蓄事業会	昭和43年 4月 9日	油火災等特殊災害に備え、多量の消火薬剤が迅速に集中できるよう、関係25事業所が共同して薬剤を備蓄し、有事に対処できる体制を確保しています。
災 害 防 止 協 定	昭和50年10月 6日	事業所の防災体制の整備促進、大規模災害の予防及び拡大防止、地域住民の安全確保を目的として、姫路市と関係事業所とが個別に協定を締結、防災体制の確立を期しています。 ・関西電力㈱〔姫路第一・姫路第二〕 ・住友精化㈱姫路工場 ・日本製鉄㈱瀬戸内製鉄所 広畑地区 ・㈱ﾀﾞｲﾍﾞﾙﾁｬﾝﾌﾟ ﾛﾀﾞｸｼｮﾝｶﾝﾊﾟﾆｰ 姫路製造所網干工場 ・㈱ﾀﾞｲﾍﾞﾙﾁｬﾝﾌﾟ ﾛﾀﾞｸｼｮﾝｶﾝﾊﾟﾆｰ 姫路製造所広畑工場 ・㈱日本触媒姫路製造所
L N G 基地建設に 伴う災害防止協定	昭和51年10月 4日 昭和55年12月17日	姫路液化天然ガス基地の建設及び操業するにあたり、災害の発生及び拡大を防止するため、姫路市と基地事業所が災害防止協定を締結しています。 ・関西電力㈱ ・大阪ガス㈱
姫 路 臨 海 地 区 防 災 協 議 会	昭和52年 4月 1日	姫路臨海地区特別防災区域に係る保安、防災に関し協議、連絡、研究等を行い、災害の発生及び拡大の防止を図るため、14特定事業所が加入、有事に対処しています。
特 定 事 業 所 間 の 相 互 応 援 協 定	昭和52年 4月 1日	特定防災区域内に所在する14事業所で、消防業務等相互応援に関し協定を締結、消防連絡会議等によって協力体制を確立しています。
大 阪 湾 ・ 播 磨 灘 排出油等防除協議会	平成16年 4月 1日	大阪湾・播磨灘において大量の油が排出した場合の防除活動に必要な事項を協議し、かつ、その実施を推進することを目的として設立され加入しています。

消 防 団

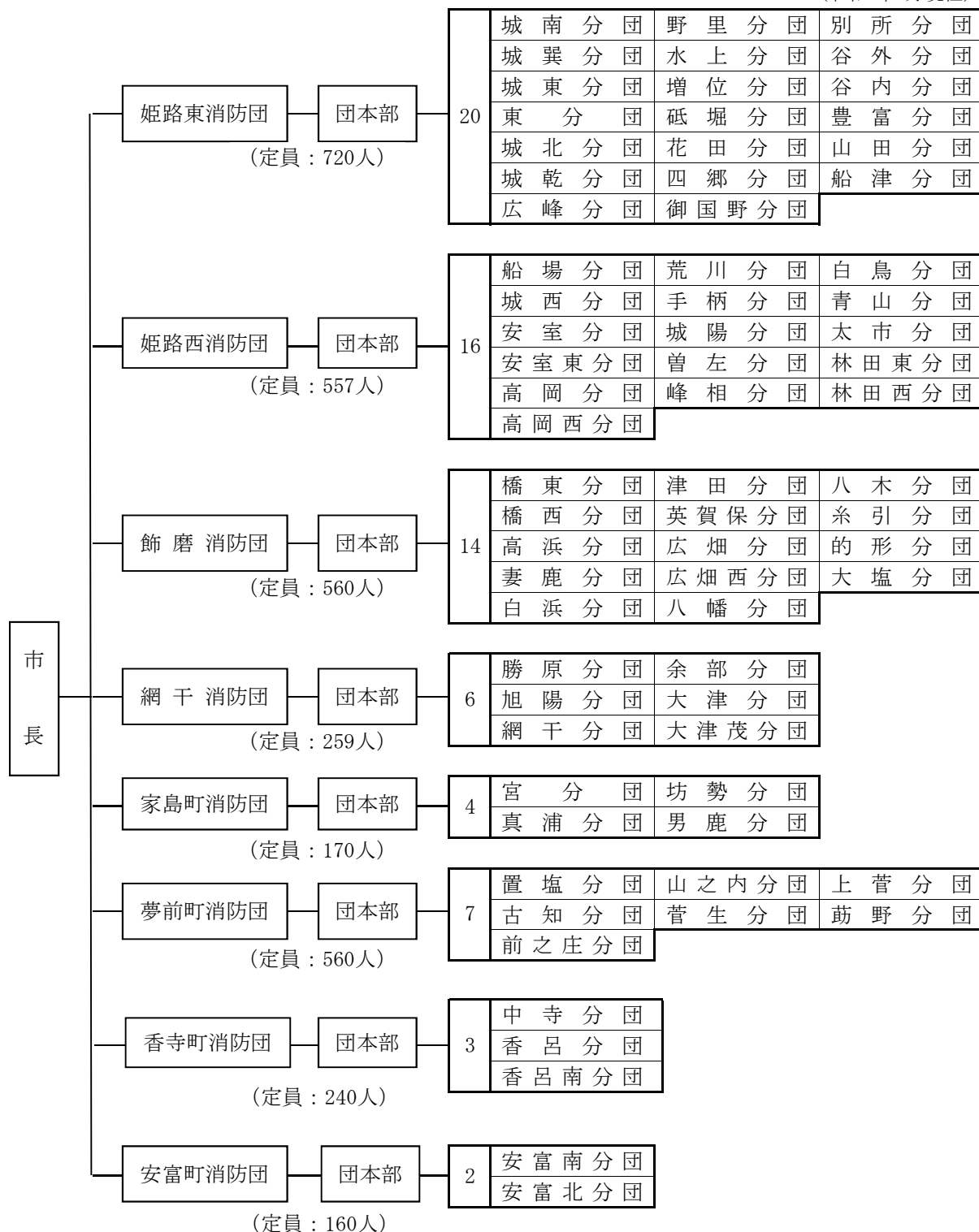
1 消防団の沿革

- | | |
|---------|---|
| 明治17年3月 | ・船場本徳寺に私設寺消防組が発足した。人員80人 |
| 28年1月 | ・消防組規則【明治27年2月勅令第15号】公布により、私設寺消防をそのまま移管、公設姫路消防組として発足した。 |
| 45年4月 | ・飾磨郡国衛村（京口付近）及び市殿村（京口付近）の各一部が編入、5部制とした。 |
| 大正14年4月 | ・飾磨郡城北村の合併により、7部制とした。 |
| 昭和8年1月 | ・姫路消防組常備部を設置した。 |
| 8年4月 | ・飾磨郡水上村、神崎郡砥堀村の合併により、それぞれ組制とした。 |
| 10年10月 | ・飾磨郡城南村、同高岡村の合併により、それぞれ組制とした。 |
| 11年4月 | ・飾磨郡安室村、同荒川村、同手柄村の合併により、それぞれ消防組を設け9組とした。 |
| 14年4月 | ・警防団令【昭和14年1月勅令第20号】公布に伴い、消防組と自治防護団が合併、警防団と改称、組制を廃止して分団制とし、13分団を設け、姫路市本町85番地、姫路警察署内に警防団本部を設置した。 |
| 21年3月 | ・飾磨市、飾磨郡白浜町、同広畑町、揖保郡網干町、同大津町、同勝原町、同余部村が合併、警防団を7団制とした。 |
| 22年10月 | ・消防団令【昭和22年5月勅令第185号】公布に伴い、旧市内警防団と上記1市5町1村の合併地域の消防団を改編改組した。1市1団制とし、姫路市消防団と改め、旧市に15分団、旧飾磨市に7分団、旧網干町に3分団、旧白浜町、旧勝原町、旧余部村に各1分団を設け、計29分団、団員3,345人の県下最大の消防団とした。 |
| 23年3月 | ・消防団令により警察署長の管轄から、消防長又は消防署長の所轄の下に行動することとなり、団本部を消防本部内に移転した。 |
| 23年7月 | ・消防組織法の一部改正（昭和23年法令第187号）により、消防団は同法に根拠をおき、消防団令は廃止された。 |
| 25年7月 | ・消防委員会で審議の結果、3,345人の団員を2,000人に減員した。 |
| 25年9月 | ・水防法の公布により、洪水、高潮等の水害から住民を守るため、消防団をもって当たることとし、第1回水防訓練を実施、以後毎年水防訓練を実施することにした。 |
| 26年4月 | ・広畑分団から八幡分団が分離、30分団、団員数2,000人とした。 |
| 29年7月 | ・飾磨郡八木村、同糸引村、同余部村、同曾左村、揖保郡太市村の合併に伴い、5分団480人を加え、35分団、団員数2,480人とした。 |
| 32年10月 | ・飾磨郡四郷村、同花田村、同御国野村、印南郡別所村の合併に伴い、4分団355人を加え、39分団、団員数2,835人とした。 |
| 33年1月 | ・飾磨郡飾東村、印南郡的形村、神崎郡神南村の合併に伴い、飾東、豊富、山田、船津、的形の5分団435人を加え、44分団、団員数3,270人とした。 |
| 34年4月 | ・印南郡大塩村の合併に伴い、1分団100人を加え、45分団、団員数3,370人とした。 |
| 40年4月 | ・消防団事務を消防局に移管し、姫路東、姫路西、飾磨、網干の支部制を設けた。 |
| 42年3月 | ・揖保郡林田町の合併に伴い、林田東120人、林田西120人の2分団を加え、47分団、団員数3,610人とした。 |
| 44年4月 | ・従来の1市1団制を1市4団【姫路東消防団、姫路西消防団、飾磨消防団、網干消防団】制とし、広畑分団から広畑西分団を分離して、48分団、団員数3,610人とした。 |
| 45年6月 | ・飾東分団を谷内分団、谷外分団に分割、49分団、団員数3,610人とした。
・団本部の定員【団長1・副団長2・分団長1・部長2】を定めた。 |
| 48年9月 | ・城北分団から広峰分団を分離して、50分団、団員数3,610人とした。 |
| 49年4月 | ・港分団を橋西分団に吸収して、49分団、団員数3,610人とした。 |
| 50年4月 | ・飾西分団を名称変更、白鳥分団に改めた。 |
| 昭和51年4月 | ・姫路市消防審議会条例を制定し、消防審議会を設置した。 |

昭和51年5月	・「姫路市非常備消防の適正規模、適正配置は如何にあるべきか」について諮問した。
52年2月	・「姫路市非常備消防の適正規模、適正配置」に関して、姫路市消防審議会から答申された。
53年4月	・姫路市消防審議会から答申に基づく姫路市消防団適正化実施計画により、消防団条例及び同規則を改正し、組織、団員報酬等及び施設整備を整備することにした。
54年4月	・上記に基づき消防団定員3,610人を3,251人とした。
55年4月	・安室分団から安室東分団を分離して、50分団、団員数3,251人とした。
56年6月	・姫路西消防署の新設に伴い、姫路西消防団本部を同署内に移転した。
56年12月	・兵庫県消防学校教育特別指導員科へ4名が入校、以後毎年入校することにした。
57年7月	・姫路市消防団消防操法大会（参加11隊）を実施、以後毎年実施することにした。
57年11月	・姫路市消防団員教養訓練（新任班長120人）を対象に実施、以後毎年実施することにした。
60年6月	・姫路市消防審議会から答申に基づき姫路市消防団条例及び同規則を改正し、消防団定員3,251人から2,096人を目標に3年間で減員することにした。
60年9月	・消防団員教育の指針を示すため、姫路市消防団員教育訓練実施要綱を定めた。
60年10月	・姫路市消防団条例及び同規則を改正し、消防団定員3,251人から2,870人とした。
61年10月	・姫路市消防団条例及び同規則を改正し、消防団定員2,870人から2,486人とした。
62年10月	・姫路市消防団条例及び同規則を改正し、消防団定員2,486人から2,096人とした。
63年11月	・兵庫県消防学校教育警防科へ4名が入校、以後毎年入校することにした。
平成5年4月	・姫路市消防団適正化実施計画を一部改正し、定数、施設、装備等の見直しをすることにした。
7年4月	・網干消防団に大津茂分団を新設して、51分団、団員数2,096人とした。
8年4月	・姫路西消防団に高岡西分団を新設して、52分団、団員数2,096人とした。
9年7月	・消防団員福祉共済制度に加入した。（消防団員全員）
10年4月	・姫路西消防団に峰相分団、青山分団を新設して、54分団、団員数2,096人とした。
11年6月	・姫路市消防団活性化研究会要綱を制定し、消防団活性化研究会を設置した。
12年12月	・姫路市消防団活性化推進研究会要綱を制定し、消防団活性化推進研究会を設置した。
13年4月	・姫路東消防団に増位分団を新設して、55分団、団員数2,096人とした。
14年4月	・姫路市消防団条例を改正し、消防団員の定年を定めた。
16年4月	・姫路東消防団に城乾分団を新設して、56分団、団員数2,096人とした。
18年3月	・家島町、夢前町、香寺町、安富町の合併に伴い、4団80分団1,742人を加え、8団136分団3,838人とした。
19年9月	・姫路市消防団協力事業所表示制度交付要綱を制定した。
20年4月	・夢前町消防団の分団再編に伴い、姫路市消防団条例及び同規則を改正し8団104分団、団員数3,598人とした。
22年4月	・安富町消防団の分団再編に伴い、姫路市消防団条例及び同規則を改正し8団91分団、団員数3,506人とした。
23年4月	・香寺町消防団の分団再編に伴い、姫路市消防団条例及び同規則を改正し8団72分団、団員3,226人とした。
24年2月	・姫路市消防団規則を改正し、姫路東消防団、姫路西消防団、飾磨消防団の団本部及び分団の一部の階級別定員を改めた。
24年3月	・姫路市の消防団制度の中で、初めて女性消防団員を採用した。（姫路東消防団5人、姫路西消防団5人、飾磨消防団5人）
28年3月	・姫路市消防団条例を改正し、消防団員の入団年齢と定年年齢を引き上げた。
29年3月	・姫路市消防団条例を改正し、市内在勤者の入団制度、休団制度等を設けた。
令和4年4月	・姫路市消防団条例を改正し、年額の報酬を見直し、新たに災害出動報酬を支給することとした。

2 消防団の組織

(令和4年4月現在)



3 階級別の定員（8団72分団）

階級 分団名		合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
合 計		3,226	8	16	88	72	146	697	2,199
姫路東消防団	小 計	720	1	2	22	20	40	172	463
	団 本 部	10	1	2	2	—	—	—	5
	城 南	12	—	—	1	1	2	3	5
	城 巽	13	—	—	1	1	2	3	6
	城 東	26	—	—	1	1	2	7	15
	東	30	—	—	1	1	2	7	19
	城 北	18	—	—	1	1	2	4	10
	城 乾	19	—	—	1	1	2	4	11
	広 峰	20	—	—	1	1	2	5	11
	野 里	23	—	—	1	1	2	7	12
	水 上	26	—	—	1	1	2	6	16
	増 位	17	—	—	1	1	2	4	9
	砥 堀	42	—	—	1	1	2	10	28
	花 田	64	—	—	1	1	2	15	45
	四 郷	76	—	—	1	1	2	18	54
	御 国 野	40	—	—	1	1	2	10	26
	別 所	46	—	—	1	1	2	11	31
	谷 内	31	—	—	1	1	2	8	19
	谷 外	37	—	—	1	1	2	9	24
	豊 富	66	—	—	1	1	2	16	46
	山 田	46	—	—	1	1	2	11	31
	船 津	58	—	—	1	1	2	14	40
姫路西消防団	小 計	557	1	2	18	16	32	139	349
	団 本 部	10	1	2	2	—	—	—	5
	船 場	26	—	—	1	1	2	6	16
	城 西	27	—	—	1	1	2	7	16
	安 室	27	—	—	1	1	2	7	16
	安 室 東	27	—	—	1	1	2	7	16
	高 岡	27	—	—	1	1	2	7	16
	高 岡 西	26	—	—	1	1	2	7	15
	荒 川	38	—	—	1	1	2	10	24
	手 柄	39	—	—	1	1	2	10	25
	城 陽	39	—	—	1	1	2	10	25
	曾 左	44	—	—	1	1	2	11	29
	峰 相	32	—	—	1	1	2	8	20
	白 鳥	27	—	—	1	1	2	7	16
	青 山	27	—	—	1	1	2	7	16
	太 市	45	—	—	1	1	2	11	30
	林 田 東	49	—	—	1	1	2	12	33
	林 田 西	47	—	—	1	1	2	12	31

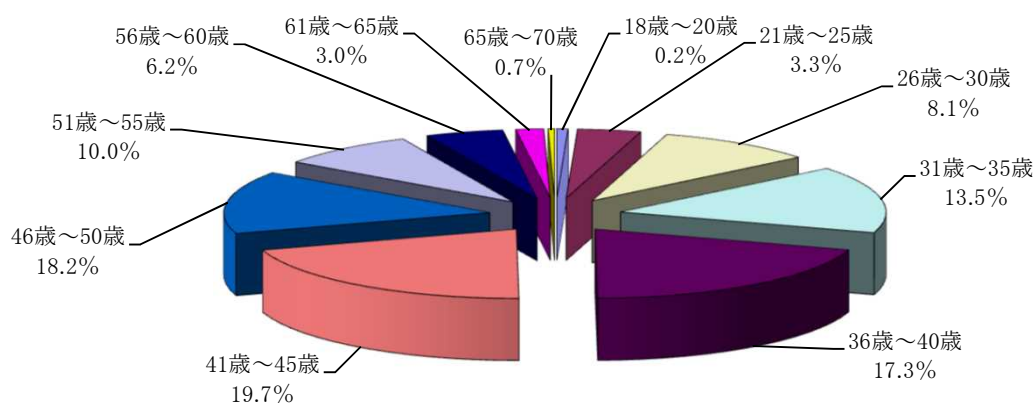
（令和4年4月現在）

階級 分団名		合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
飾磨消防団	小 計	560	1	2	16	14	28	135	364
	団 本 部	10	1	2	2	—	—	—	5
	橋 東	40	—	—	1	1	2	10	26
	橋 西	38	—	—	1	1	2	10	25
	高 浜	39	—	—	1	1	2	9	26
	妻 鹿	39	—	—	1	1	2	9	25
	白 浜	40	—	—	1	1	2	10	26
	津 田	40	—	—	1	1	2	10	26
	英 賀 保	40	—	—	1	1	2	10	26
	広 畑	39	—	—	1	1	2	9	26
	広 畑 西	37	—	—	1	1	2	9	24
	八 幡	40	—	—	1	1	2	10	26
	八 木	39	—	—	1	1	2	9	26
	糸 引	40	—	—	1	1	2	10	26
	的 形	39	—	—	1	1	2	10	25
	大 塩	40	—	—	1	1	2	10	26
網干消防団	小 計	259	1	2	8	6	14	64	164
	団 本 部	5	1	2	2	—	—	—	—
	勝 原	45	—	—	1	1	2	12	29
	旭 陽	51	—	—	1	1	2	13	34
	網 干	43	—	—	1	1	3	11	27
	余 部	38	—	—	1	1	2	10	24
	大 津	49	—	—	1	1	3	12	32
家島町消防団	小 計	170	1	2	6	4	8	38	111
	団 本 部	5	1	2	2	—	—	—	—
	宮	40	—	—	1	1	2	9	27
	真 浦	55	—	—	1	1	2	13	38
	坊 勢	55	—	—	1	1	2	13	38
夢前町消防団	男 鹿	15	—	—	1	1	2	3	8
	小 計	560	1	2	9	7	14	74	453
	団 本 部	5	1	2	2	—	—	—	—
	置 塩	74	—	—	1	1	2	11	59
	古 知	73	—	—	1	1	2	6	63
	前 之 庄	117	—	—	1	1	2	8	105
	山 之 内	45	—	—	1	1	2	8	33
	菅 生	100	—	—	1	1	2	19	77
	上 菅	73	—	—	1	1	2	14	55
	蒔 野	73	—	—	1	1	2	8	61
消 香 防 寺 団 町	小 計	240	1	2	5	3	6	55	168
	団 本 部	5	1	2	2	—	—	—	—
	中 寺	95	—	—	1	1	2	22	69
	香 呂	100	—	—	1	1	2	25	71
消 安 防 富 団 町	香 呂 南	40	—	—	1	1	2	8	28
	小 計	160	1	2	4	2	4	20	127
	団 本 部	5	1	2	2	—	—	—	—
安 富 団	安 富 南	115	—	—	1	1	2	15	96
	安 富 北	40	—	—	1	1	2	5	31

4 年齢別団員数

(令和4年4月現在)

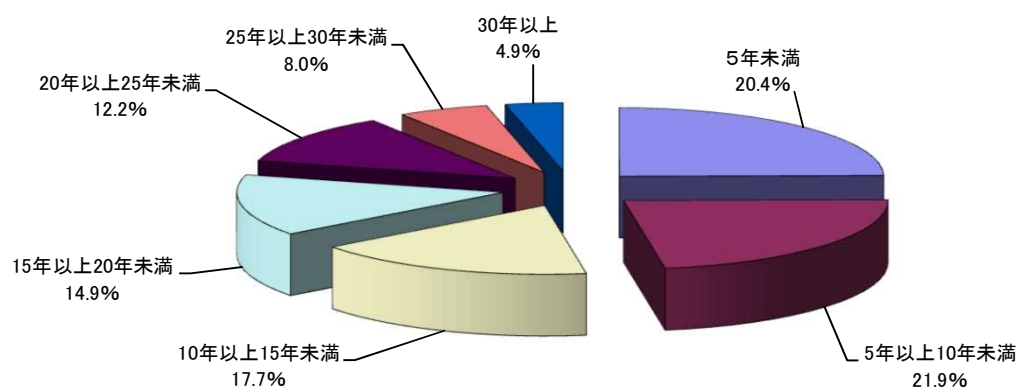
年 齢	合 計	18歳 20歳	21歳 25歳	26歳 30歳	31歳 35歳	36歳 40歳	41歳 45歳	46歳 50歳	51歳 55歳	56歳 60歳	61歳 65歳	66歳 70歳
団名												
合 計	2,890	5	94	235	389	499	570	526	286	178	89	19
姫路東消防団	659	1	18	50	94	94	106	125	81	51	31	8
姫路西消防団	517	2	11	21	31	70	106	110	74	50	38	4
飾磨消防団	539	1	13	36	67	90	85	111	77	45	10	4
網干消防団	256	—	10	31	42	56	41	32	18	17	6	3
家島町消防団	145	—	9	20	18	19	37	23	9	8	2	—
夢前町消防団	456	1	9	41	62	105	126	84	22	5	1	—
香寺町消防団	233	—	18	31	64	43	46	23	5	2	1	—
安富町消防団	85	—	6	5	11	22	23	18	—	—	—	—



5 在職年数別団員数

(令和4年4月現在)

年 数	合 計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団名								
合 計	2,890	590	632	511	430	355	230	142
姫路東消防団	659	182	142	102	92	66	40	35
姫路西消防団	517	84	125	85	81	68	48	26
飾磨消防団	539	100	110	97	89	59	49	35
網干消防団	256	79	69	41	24	21	12	10
家島町消防団	145	20	16	26	21	24	22	16
夢前町消防団	456	52	83	88	78	92	49	14
香寺町消防団	233	60	67	57	31	13	—	5
安富町消防団	85	13	20	15	14	12	10	1



6 報酬及び費用弁償

消防団員の報酬及び費用弁償は、「姫路市消防団条例」に基づき支給しています。

報 酬（年額）	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
姫路市消防団 （家島町除く）	88,400円	69,000円	50,500円	45,500円	37,000円	37,000円	36,500円
姫路市家島町消防団	154,000円	121,400円	121,400円	65,000円	65,000円	65,000円	65,000円
費 用 弁 償	水 火 災 出 動 1 人 1 回 3,500円を支給（7時間45分を超える場合、8,000円） 巡 回 広 報 1 人 1 回 1,000円を支給 年 末 警 戒 業 務 1 人 1 回 2,000円を支給 訓 練 1 人 1 回 1,000円を支給（出初式・水防訓練等）						

7 公務災害補償等の発生状況の推移

消防団員等が公務により死亡し、又は負傷した場合、「姫路市消防団員等公務災害補償条例」により損害補償費を支給しています。

年 度 区 分		平成 24年		平成 25年		平成 26年		平成 27年		平成 28年		平成 29年		平成 30年		令和 元年		令和 2年		令和 3年		区 分	受給者(人)
		件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員		
合 計		3	3	3	3	3	3	－	－	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	合 計	2
消 火 活 動 中		1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	1	1	遺族補償 年 金	1
出 動 途 中		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－			
訓 練 中		2	2	2	2	3	3	－	－	2	2	1	1	－	－	1	1	－	－	－	－	障害補償 年 金	1
そ の 他		－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－			

8 退職報償金の支給状況の推移

一定年数以上勤務した消防団員に対して、「姫路市消防団員退職報償金支給条例」に基づき退職報償金を支給しています。

年 度 区 分	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
支給対象人員	144	178	154	185	133	123	98	156	121	221
（総退職者数）	(188)	(214)	(180)	(213)	(153)	(142)	(109)	(198)	(129)	(250)
支給金額(千円)	46,741	59,287	52,045	72,032	49,207	45,042	35,084	58,443	42,935	77,364

9 団員表彰の推移

消防団及び消防団員に対する表彰は、叙位、叙勲、褒章をはじめ、消防庁長官、県知事、市長及び団長の行う各種表彰のほか、日本消防協会長及び兵庫県消防協会長の行う各種の表彰制度が確立されています。（カッコ内数字は団体表彰数）

年 度 区 分	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
叙 位 ・ 叙 勲 ・ 褒 章 等	5	7	6	5	7	4	2	4	6	4
消 防 庁 長 官 表 彰	(1)5	4	5	5	(1)4	4	5	5	4	4
兵 庫 知 事 表 彰	19	(3)19	(1)19	21	(1)21	(1)21	24	21	26	28
日 本 消 防 協 会 長 表 彰	30	42	(1)28	24	20	(1)19	(1)32	(1)32	36	36
兵 庫 県 消 防 協 会 長 表 彰	88	92	109	(1)94	105	(1)96	103	117	(1)112	(1)161
市 長 表 彰	(4)55	(4)55	(4)72	(4)72	(4)71	(4)71	(4)85	(4)76	(4)92	(4)100
団 長 表 彰	(12)207	(2)207	(15)207	(14)207	(13)207	(13)207	(20)207	(13)207	(10)207	(6)207

10 教養訓練の実施状況の推移

年度 区分	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
新 入 団 員 教 養	225	161	175	193	177	162	147	138	146	246
幹 部 教 養	144	72	131	71	72	72	72	72	-	36
県消防学校（指揮幹部科）	7	8	8	16	16	16	14	16	8	-
局（署）合同訓練	3,629	3,652	2,364	3,320	2,467	2,693	3,164	2,465	145	713

11 消防ポンプ車庫及び消防ポンプ自動車の整備状況

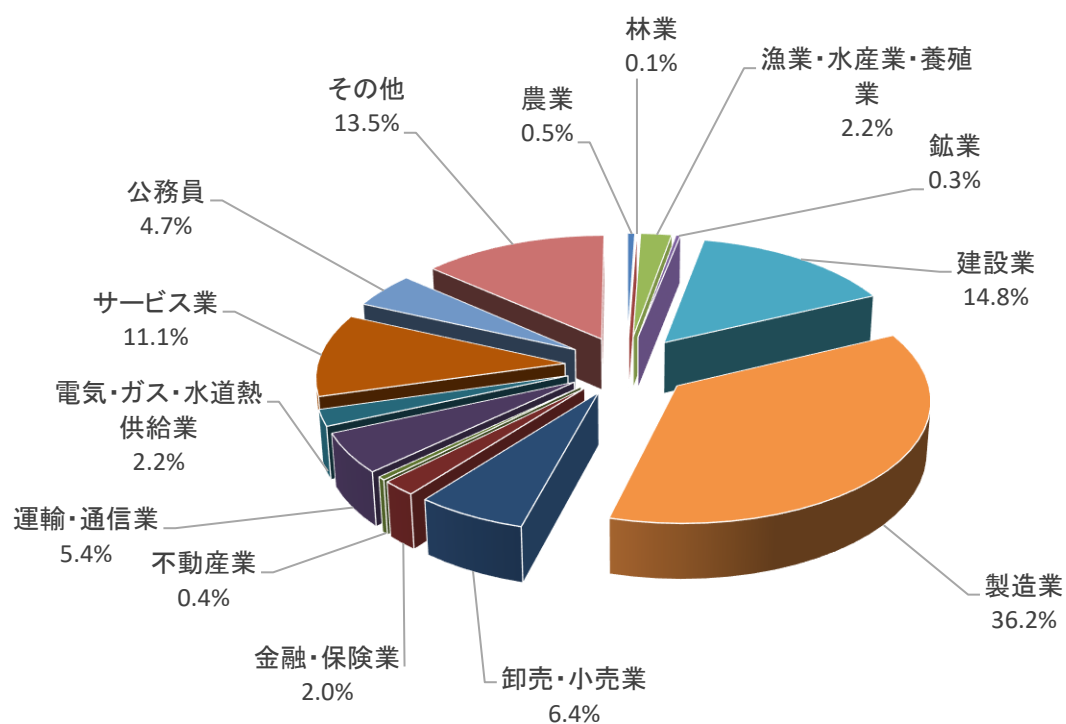
分団車庫（詰所）については、老朽化等を考慮し、計画的に改修や更新を進めています。
ポンプ自動車等については、耐用年数等を定め、計画的に更新しています。

区分 年度	消防ポンプ車庫	消 防 ポ ン プ 自 動 車
昭和55年	4箇所（谷外・安室東・的形・旭陽）	5台（谷外・谷内・安室東・糸引・旭陽）
昭和56年	3箇所（谷内・城陽・八幡）	3台（高岡・荒川・曾左）
昭和57年	1箇所（広畑西）	3台（白浜・津田・網干）
昭和58年	－	3台（豊富・太市・八幡）
昭和59年	1箇所（野里）	2台（船津・橋東）
昭和60年	3箇所（東・山田・船津）	2台（妻鹿・的形）
昭和61年	3箇所（城南・四郷・大塩）	3台（砥堀・山田・大塩）
昭和62年	2箇所（勝原・大津）	2台（橋西・広畑）
昭和63年	5箇所（城東・野里・水上・別所・白浜） 野里については更新	3台（水上・四郷・手柄）
平成元年	1箇所（御国野）	4台（御国野・別所・高浜・八木）
平成2年	1箇所（林田東）更新	3台（東・城北・広畑西）
平成3年	3箇所（高浜・城北・大津） 大津については更新	3台（花田・船場・英賀保）
平成4年	2箇所（城巽・高岡）	2台（野里・余部）
平成5年	－	6台（城巽・城南・城東・城西・林田東・勝原）
平成6年	2箇所（安室・大津茂）	7台（広峰・安室・城陽・白鳥・林田西・大津・大津茂）
平成7年	3箇所（花田・砥堀・高岡西）	6台（谷内・谷外・安室東・高岡西・糸引・旭陽）
平成8年	2箇所（城西・橋東）	3台（高岡・荒川・曾左）
平成9年	2箇所（青山・峰相）	5台（網干・白浜・津田・青山・峰相）
平成10年	2箇所（荒川・妻鹿）	3台（豊富・太市・八幡）
平成11年	2箇所（英賀保・広畑）	2台（船津・橋東）
平成12年	2箇所（増位・余部）	3台（増位・妻鹿・的形）
平成13年	2箇所（手柄・津田）	3台（砥堀・山田・大塩）
平成14年	2箇所（橋西・網干）	2台（橋西・広畑）
平成15年	2箇所（城乾・曾左）	4台（城乾・水上・四郷・手柄）
平成16年	1箇所（船場）	4台（御国野・別所・高浜・八木）
平成17年	1箇所（白鳥）	3台（東・城北・広畑西）
平成18年	－	6台（花田・船場・英賀保・野里・余部・宮）
平成19年	3箇所（前之庄・山之内・苅野）	8台（城南・城巽・城東・城西・林田東・前之庄・山之内・苅野）
平成20年	3箇所（置塩・古知・上菅）	7台（広峰・勝原・大津・大津茂・置塩・古知・上菅）
平成21年	3箇所（菅生・安富北・安富南）	8台（安室・白鳥・城陽・林田西・旭陽・菅生・安富南・安富北）
平成22年	3箇所（中寺・香呂・香呂南）	8台（谷内・谷外・安室東・高岡西・糸引・中寺・香呂・香呂南）
平成23年	－	3台（高岡・荒川・曾左）
平成24年	－	5台（峰相・青山・白浜・津田・網干）
平成25年	3箇所（糸引・勝原・坊勢） 勝原は小学校用地拡張のため新築移転	3台（豊富・太市・八幡）、軽2台（宮・真浦）
平成26年	－	軽3台（宮・真浦・坊勢）
平成27年	－	軽3台（宮・真浦・坊勢）
平成28年	－	軽3台（宮・真浦・坊勢）
平成29年	－	2台（船津・橋東）、軽2台（宮・坊勢）
平成30年	1箇所（八木）	3台（増位・妻鹿・的形）、軽1台（真浦）
令和元年	1箇所（大塩）	3台（砥堀・山田・大塩）
令和 2年	1箇所（荒川）	2台（橋西・広畑）
令和 3年	－	4台（城乾・水上・四郷・手柄）

12 団員の職業状況

(令和4年4月現在)

区 分	合 計	勤 務 地			
		市 内		市 外	県 外
		分 団 内	分 団 外		
合 計	2,890	773	1,479	590	48
農 業	15	9	4	2	-
林 業	2	-	1	1	-
漁 業・水産業・養殖業	65	63	2	-	-
鉱 業	9	3	6	-	-
建 設 業	429	190	170	65	4
製 造 業	1,047	153	585	286	23
卸 売・小 売 業	185	63	93	25	4
金 融・保 険 業	58	9	36	11	2
不 動 産 業	13	5	7	1	-
運 輸・通 信 業	155	26	94	33	2
電気・ガス・水道熱供給業	63	13	29	16	5
サ ー ビ ス 業	321	86	175	56	4
公 務 員	137	14	96	25	2
そ の 他	391	139	181	69	2



13 分団別火災状況

分団	区分		火災 件数	火災種別					焼損面積	
				建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	建物 (㎡)	林野 (a)
姫路東消防団	城南	3	2	-	1	-	-	-	164.0	-
	城巽	1	1	-	-	-	-	-	1.0	-
	城東	1	1	-	-	-	-	-	40.0	-
	東	2	2	-	-	-	-	-	278.0	-
	城北	5	5	-	-	-	-	-	1.1	-
	城乾	1	1	-	-	-	-	-	14.0	-
	広峰	2	1	-	-	-	1	-	-	-
	野里	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	水上	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	増位	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	砥堀	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	花田	5	4	-	-	-	1	-	191.0	-
	四郷	1	-	-	-	-	1	-	-	-
	御国野	1	-	-	-	-	1	-	-	-
	別所	1	-	-	-	-	1	-	-	-
	谷外	3	1	1	-	-	1	-	127.0	0.2
姫路西消防団	谷内	2	1	1	-	-	-	-	72.0	1.2
	豊富	4	3	-	-	-	1	-	0.8	-
	山田	4	2	1	-	-	1	-	8.0	2.5
	船津	2	1	-	-	-	1	-	-	-
	小計	41	28	3	1	-	9	-	896.9	3.9
	船場	4	4	-	-	-	-	-	475.0	-
	城西	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	安室	1	1	-	-	-	-	-	9.0	-
	安室東	2	1	-	-	-	1	-	-	-
	高岡	4	4	-	-	-	-	-	335.0	-
	高岡西	2	1	1	-	-	-	-	-	0.6
	荒川	1	1	-	-	-	-	-	562.0	-
	手柄	2	2	-	-	-	-	-	-	-
	城陽	2	-	-	1	-	1	-	-	-
	曾左	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	峰相	1	1	-	-	-	-	-	2.0	-
姫路西消防団	白鳥	5	4	-	-	-	1	-	27.0	-
	青山	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	太市	3	2	1	-	-	-	-	409.1	0.3
	林田東	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	林田西	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	29	23	2	1	-	3	-	1,819.1	0.9

分団	区分		火災 件数	火災種別					焼損面積	
				建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	建物 (㎡)	林野 (a)
飾磨消防団	橋東	5	5	-	-	-	-	-	-	-
	橋西	6	3	-	2	-	1	-	142.0	-
	高浜	2	1	-	1	-	-	-	-	-
	妻鹿	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	白浜	3	2	-	-	-	1	-	-	-
	津田	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	英賀保	2	2	-	-	-	-	-	153.0	-
	広畑	1	-	-	1	-	-	-	-	-
	広畑西	5	4	-	-	-	1	-	-	-
	八幡	4	1	-	1	-	2	-	148.0	-
	八木	1	-	-	-	-	1	-	-	-
	糸引	6	3	-	1	-	2	-	166.0	-
	的形	2	-	-	-	-	2	-	-	-
	大塩	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	38	22	-	6	-	10	-	609.0	-
網干消防団	勝原	2	-	-	-	-	2	-	-	-
	旭陽	1	-	-	-	-	1	-	-	-
	網干	8	6	-	-	-	2	-	13.0	-
	余部	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大津	9	4	-	2	-	3	-	-	-
	大津茂	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	小計	21	11	-	2	-	8	-	13.0	-
消防島町	宮	1	-	1	-	-	-	-	-	2.0
	真浦	2	-	1	1	-	-	-	-	0.6
	坊勢	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男鹿	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	3	-	2	1	-	-	-	-	2.6
夢前町消防団	置塩	2	-	-	-	-	2	-	-	-
	古知	1	-	-	-	-	1	-	-	-
	前之庄	3	1	-	1	-	1	-	-	-
	山之内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	菅生	1	-	-	-	-	1	-	-	-
	上菅	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	筋野	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	7	1	-	1	-	5	-	-	-
消防寺町	中寺	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	香呂	1	1	-	-	-	-	-	9.0	-
	香呂南	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	1	1	-	-	-	-	-	9.0	-
消防安富町	安富南	2	1	-	-	-	1	-	-	-
	安富北	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	2	1	-	-	-	1	-	-	-

合計	142	87	7	12	-	36	3,347.0	7.4
----	-----	----	---	----	---	----	---------	-----

14 消防団の装備・資機材

消防団員が災害現場で安全確実に活動を行えるよう、消防団に様々な装備や資機材が配備されています。

新入団時に個人貸与されるもの

- ・ 活動服（冬用、夏用）
- ・ 救助用半長靴
- ・ ヘルメット
- ・ アポロキャップ
- ・ 革手袋
- ・ 耐切創性手袋
- ・ 荒天用活動衣

各分団に配備している資機材

- ・ 水防活動用のライフジャケット（救命胴衣）及びフローティングロープ
- ・ 夜間用活動用の投光器（メタルハライドライト）及び強力ライト
- ・ 応急手当用の救急セット（包帯・ガーゼ等）
- ・ 現場指揮及び広報用の拡声器（トランジスタメガホン）
- ・ 車載無線機、署活系無線機
- ・ A E D
- ・ 防塵メガネ・防塵マスク
- ・ 防火服

消防団員がより安全な活動を行えるよう装備の充実強化を図り、地域の安全安心を守る活動を推進しています。



投光器



強力ライト



ライフジャケット



拡声器



救急セット



救助用半長靴



防火服

このページは空白です。

各 種 災 害 の 状 況

このページは空白です。

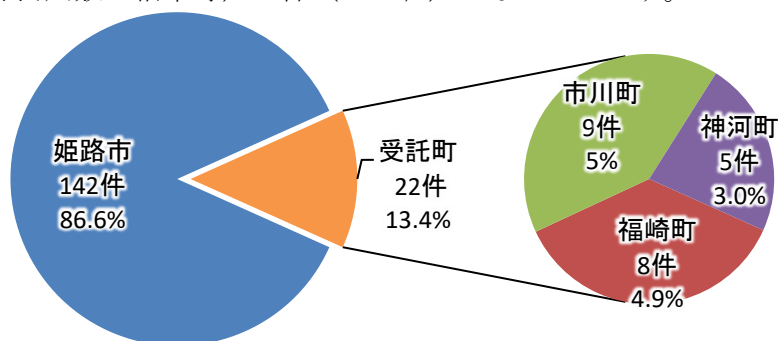
令和3年中の災害の状況

・火災の状況

令和3年中の火災件数は164件で、その内受託町域の火災件数は22件（13.4％）でした。

火災による損害額は2億5,576万円、死者は7人、負傷者は25人、建物焼損面積は3,922.7㎡、林野焼損面積は11.4a、り災世帯及びり災人員は76世帯・174人でした。

火災種別では、建物火災が98件（59.8％）、林野火災7件（4.3％）、車両火災16件（9.8％）、船舶火災0件（0％）、その他の火災（空地や河川敷の枯草等）43件（26.2％）となっています。

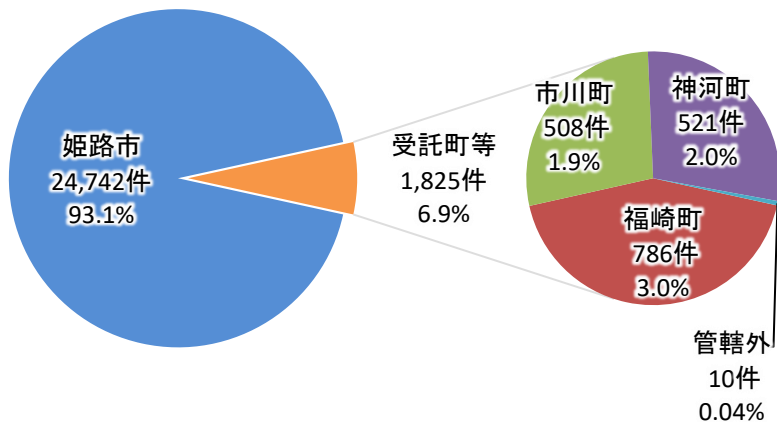


・救急の状況

令和3年中の救急出場件数は26,567件で、その内受託域の救急出場件数は1,815件（6.8％）でした。一日平均約72件、20分に1件の割合で出場し、管轄内住民約25人に1人を搬送したことになります。

救急出場件数が最も多いのは、急病で16,680件（62.8％）次いで一般負傷4,146件（15.6％）、転院搬送2,596件（9.8％）の順となっており、これら3種別だけで全体の88.2％を占めています。

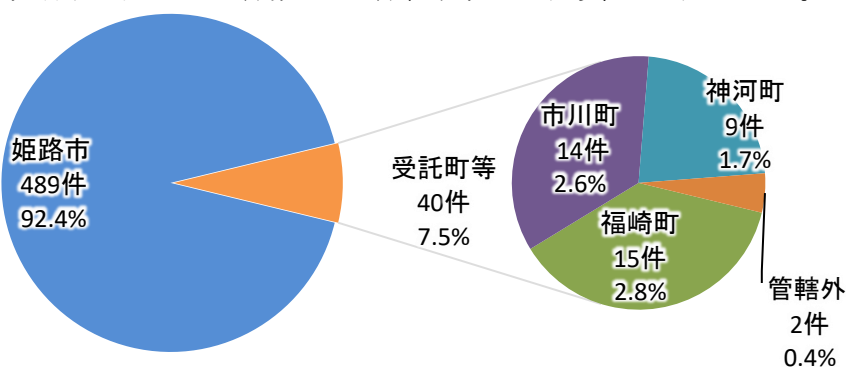
1件あたりの平均所要時間は、指令から現場到着まで7分30秒、現場到着から病院まで33分17秒となっています。



・救助の状況

令和3年中の救助出動件数は529件で、その内受託町域の救助件数は40件（7.5％）でした。

救助出動した内、人命検索を含む救助活動を実施した件数は280件、救助した人員は215人でした。



【火 災】

1 火災状況

火災件数は前年と比較すると33件減少しています。火災種別では建物火災は3件、林野火災は6件、車両火災は4件、船舶火災は1件、その他の火災は19件減少しており、全ての火災種別で減少しています。

区 分		単位	姫路市消防局			姫 路 市		
			令和3年	令和2年	増減数	令和3年	令和2年	増減数
火 災 件 数	建 物	件	98	101	▲3	87	88	▲1
	林 野		7	13	▲6	7	12	▲5
	車 両		16	20	▲4	12	17	▲5
	船 舶		－	1	▲1	－	1	▲1
	そ の 他		43	62	▲19	36	57	▲21
	合 計		164	197	▲33	142	175	▲33
損 害 額	建 物	千円	252,420	477,826	▲225,406	180,008	436,802	▲256,794
	林 野		18	1	17	18	1	17
	車 両		2,975	8,221	▲5,246	2,344	6,624	▲4,280
	船 舶		－	3,685	▲3,685	－	3,685	▲3,685
	そ の 他		349	3,774	▲3,425	339	3,643	▲3,304
	合 計		255,762	493,507	▲237,745	182,709	450,755	▲268,046
焼 損 面 積	建 物	m ²	3,922.7	6,779.9	▲2,857.2	3,347.0	5,232.7	▲1,885.7
	林 野	a	11.4	3,443.2	▲3,431.8	7.4	3,438.5	▲3,431.1
焼 損 棟 数	全 焼	棟	28	35	▲7	23	22	1
	半 焼		5	7	▲2	4	4	－
	部 分 焼		39	37	2	38	32	6
	ぼ や		76	75	1	67	71	▲4
	合 計		148	154	▲6	132	129	3
り 災 世 帯	全 損	世帯	19	31	▲12	17	20	▲3
	半 損		－	6	▲6	－	4	▲4
	小 損		57	74	▲17	51	68	▲17
	合 計		76	111	▲35	68	92	▲24
り 災 人 員	全 損	人	36	46	▲10	34	33	1
	半 損		－	11	▲11	－	6	▲6
	小 損		138	138	－	124	122	2
	合 計		174	195	▲21	158	161	▲3
死 傷 者	死 者	人	7	8	▲1	5	5	－
	負 重 症		9	7	2	9	6	3
	中 等 症		5	16	▲11	4	15	▲11
	軽 症		11	15	▲4	11	13	▲2
	者 (うち30日死者)		(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)
	合 計		32	46	▲14	29	39	▲10
管 轄 人 口	人		574,138	576,815	▲2,677	532,637	534,648	▲2,011
出 火 率	件/万人		2.9	3.4	▲0.5	2.7	3.3	▲0.6
火災1件当たりの損害額	千円		1,560	2,505	▲945	1,287	2,576	▲1,289
建 物 火 災	損 害 額	千円	2,576	4,731	▲2,155	2,069	4,964	▲2,895
1件当たりの	焼損面積	m ²	40.0	67.1	▲27.1	38.5	59.5	▲21.0
林 野 火 災	損 害 額	千円	3	0.1	3	3	0.1	3
1件当たりの	焼損面積	a	1.6	264.9	▲263.3	1.1	286.5	▲285.4
住民1人当たりの損害額	円		445	856	▲411	343	843	▲500
1日当たりの火災件数	件		0.45	0.54	▲0.09	0.39	0.48	▲0.09

(注)火災種別が複数にわたった場合の火災件数は、火災報告取扱要領に基づき計上しています。

(注)管轄人口は、統計年の3月31日現在の住民基本台帳人口を記載しています。

区 分		単位	市 川 町			福 崎 町			神 河 町		
			令和3年	令和2年	増減数	令和3年	令和2年	増減数	令和3年	令和2年	増減数
火 災 件 数	建 物	件	6	4	2	5	5	-	-	4	▲4
	林 野		-	-	-	-	1	▲1	-	-	-
	車 両		-	2	▲2	1	1	-	3	-	3
	船 舶		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	そ の 他		3	4	▲1	2	-	2	2	1	1
	合 計		9	10	▲1	8	7	1	5	5	-
損 害 額	建 物	千円	71,796	11,485	60,311	616	10,486	▲9,870	-	19,053	▲19,053
	林 野		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	車 両		-	85	▲85	372	1,512	▲1,140	259	-	259
	船 舶		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	そ の 他		10	131	▲121	-	-	-	-	-	-
	合 計		71,806	11,701	60,105	988	11,998	▲11,010	259	19,053	▲18,794
焼 損 面 積	建 物	m ²	575.7	250.0	325.7	-	254.4	▲254.4	-	1,042.8	▲1,042.8
	林 野	a	4.0	4.0	-	-	0.7	▲0.7	-	-	-
焼 損 棟 数	全 焼	棟	5	6	▲1	-	2	▲2	-	5	▲5
	半 焼		1	-	1	-	2	▲2	-	1	▲1
	部 分 焼		1	1	-	-	4	▲4	-	-	-
	ぼ や		4	2	2	5	1	4	-	1	▲1
	合 計		11	9	2	5	9	▲4	-	7	▲7
り 災 世 帯	全 損	世帯	2	2	-	-	3	▲3	-	6	▲6
	半 損		-	-	-	-	1	▲1	-	1	▲1
	小 損		3	3	-	3	3	-	-	-	-
	合 計		5	5	-	3	7	▲4	-	7	▲7
り 災 人 員	全 損	人	2	2	-	-	5	▲5	-	6	▲6
	半 損		-	-	-	-	2	▲2	-	3	▲3
	小 損		5	4	1	9	12	▲3	-	-	-
	合 計		7	6	1	9	19	▲10	-	9	▲9
死 傷 者	死 者	人	2	2	-	-	1	▲1	-	-	-
	負 重 症		-	-	-	-	1	▲1	-	-	-
	傷 中 等 症		-	-	-	1	1	-	-	-	-
	軽 症		-	1	▲1	-	1	▲1	-	-	-
	者 (うち30日死者)		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
合 計			2	3	▲1	1	4	▲3	-	-	-
管 轄 人 口		人	11,559	11,875	▲316	18,999	19,101	▲102	10,923	11,191	▲268
出 火 率		件/万人	7.8	8.4	▲0.6	4.2	3.7	0.5	4.6	4.5	0.1
火災1件当たりの損害額		千円	7,978	1,170	6,808	124	1,714	▲1,590	52	3,811	▲3,759
建 物 火 災	損 害 額	千円	11,966	2,871	9,095	123	2,097	▲1,974	-	4,763	▲4,763
	1件当たりの焼損面積	m ²	96.0	62.5	33.5	-	50.9	▲50.9	-	260.7	▲260.7
林 野 火 災	損 害 額	千円	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1件当たりの焼損面積	a	-	-	-	-	0.7	▲0.7	-	-	-
住民1人当たりの損害額		円	6,212	985	5,227	52	628	▲576	24	1,703	▲1,679
1日当たりの火災件数		件	0.02	0.03	▲0.01	0.02	0.02	-	0.01	0.01	-

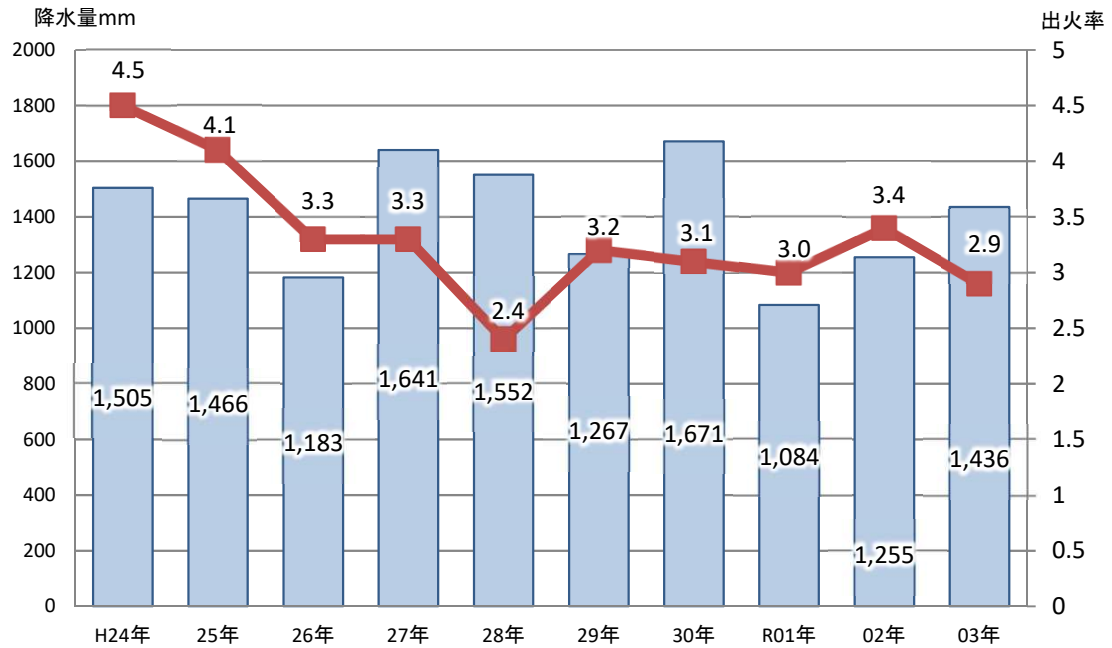
(注)火災種別が複数にわたった場合の火災件数は、火災報告取扱要領に基づき計上しています。

(注)管轄人口は、統計年の3月31日現在の住民基本台帳人口を記載しています。

2 火災状況の推移

年別 区分		単位	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
火 災 件 数	建 物	件	143	103	94	95	83	83	86	96	101	98
	林 野		7	17	4	6	5	9	12	9	13	7
	車 両		26	28	28	19	9	19	16	12	20	16
	船 舶		1	2	4	3	1	-	-	-	1	-
	その他		82	85	66	70	40	76	66	59	62	43
	合 計		259	235	196	193	138	187	180	176	197	164
損害額	建 物	千円	557,080	335,274	524,337	307,199	299,880	283,187	303,100	95,899	477,826	252,420
	林 野		-	-	-	20	-	182	-	121	1	18
	車 両		77,591	6,396	10,059	5,179	4,575	9,939	5,037	25,539	8,221	2,975
	船 舶		1	279	29,148	1,322	39	-	-	-	3,685	-
	その他		306,558	1,438	43,764	1,383	180	460	181	20,591	3,774	349
	合 計		941,230	343,387	607,308	315,103	304,674	293,768	308,318	142,150	493,507	255,762
焼 面	建 物	m ²	9,108.3	5,996.1	6,065.8	4,697.1	4,115.9	2,329.6	2,810.4	2,547.6	6,779.9	3,922.7
	林 野	a	13.9	873.4	15.4	381.8	16.4	249.4	46.3	43.4	3,443.2	11.4
焼 棟	全 焼	棟	37	31	20	23	19	12	23	18	35	28
	半 焼		16	6	8	9	6	8	7	9	7	5
	部分焼		58	50	33	36	34	36	30	25	37	39
	ぼ や		87	48	52	57	43	45	63	65	75	76
	合 計		198	135	113	125	102	101	123	117	154	148
り 世	全 損	世帯	14	19	14	18	15	13	13	7	31	19
	半 損		10	10	4	6	4	2	6	4	6	-
	小 損		73	95	45	54	51	62	43	46	74	57
	合 計		97	124	63	78	70	77	62	57	111	76
り 人	全 損	人	47	41	20	35	26	15	26	13	46	36
	半 損		24	7	15	16	3	7	12	6	11	-
	小 損		224	113	165	135	126	101	81	119	138	138
	合 計		295	161	200	186	155	123	119	138	195	174
死 傷 者	死 者	人	16	10	8	7	3	3	10	5	8	7
	重 症		11	3	13	7	-	5	7	7	7	9
	中等症		17	9	14	11	10	7	8	8	16	5
	軽 症		44	9	11	7	8	12	16	14	15	11
	合 計		88	31	46	32	21	27	41	34	46	32
出 火 率	件/万人		4.5	4.1	3.3	3.3	2.4	3.2	3.1	3.0	3.4	2.9
年 間 降 水 量	mm		1,505	1,466	1,183	1,641	1,552	1,267	1,671	1,084	1,255	1,436

3 降水量と出火率の推移



4 署別火災件数

区 分		消防局管内			姫路東消防署	姫路西消防署	飾 磨消防署	網 干消防署	中播消防署		
		姫路市	受託町	合 計					姫路市	受託町	小 計
火 災 件 数		142	22	164	41	31	41	21	8	22	30
出 火 率		2.7	5.3	2.9	3.1	2.1	2.8	3.0	2.3	5.3	3.9
火 災 別	建 物	87	11	98	28	24	22	11	2	11	13
	林 野	7	—	7	3	2	2	—	—	—	—
	車 両	12	4	16	1	1	7	2	1	4	5
	船 舶	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	36	7	43	9	4	10	8	5	7	12

5 月別火災状況

月別の火災件数は、4月が最も多く25件で、最も少ない月は、9月の6件となっています。

区分 月別	合計	火 災 種 別						死 傷 者		主 な 出 火 原 因				
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	死 者	負 傷 者	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
1 月	7 (6)	2 (2)	2 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	3 (2)	- (-)	1 (1)	たき火・焼却火 4 (4)	-	-	-	-
2 月	11 (11)	3 (3)	2 (2)	1 (1)	- (-)	- (-)	5 (5)	- (-)	4 (4)	たき火・焼却火 4 (4)	たばこ 2 (2)	こんろ 1 (1)	ストーブ 1 (1)	-
3 月	9 (8)	4 (4)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	5 (4)	1 (1)	1 (1)	たばこ 3 (3)	たき火・焼却火 2 (1)	放火(疑含む) 1 (1)	火遊び 1 (1)	-
4 月	25 (19)	13 (11)	- (-)	3 (2)	- (-)	- (-)	9 (6)	2 (1)	3 (3)	放火(疑含む) 5 (5)	電気関係 3 (3)	たばこ 3 (2)	たき火・焼却火 2 (1)	こんろ 2 (2)
5 月	22 (22)	16 (16)	- (-)	2 (2)	- (-)	- (-)	4 (4)	- (-)	3 (3)	放火(疑含む) 15 (15)	電気関係 2 (2)	こんろ 2 (2)	内燃機関 1 (1)	-
6 月	15 (12)	8 (7)	1 (1)	2 (1)	- (-)	- (-)	4 (3)	1 (1)	3 (3)	たき火・焼却火 4 (4)	こんろ 2 (1)	電気関係 1 (1)	たばこ 1 (1)	炉・焼却炉 1 (1)
7 月	13 (12)	9 (9)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	3 (2)	1 (-)	2 (2)	電気関係 5 (5)	放火(疑含む) 3 (2)	たばこ 2 (2)	溶接機・切断機 1 (1)	-
8 月	14 (11)	9 (6)	- (-)	2 (2)	- (-)	- (-)	3 (3)	- (-)	- (-)	電気関係 4 (2)	放火(疑含む) 2 (2)	たばこ 1 (1)	こんろ 1 (1)	炉・焼却炉 1 (1)
9 月	6 (6)	5 (5)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	1 (1)	こんろ 2 (2)	たき火・焼却火 1 (1)	溶接機・切断機 1 (1)	-	-
10月	10 (8)	6 (5)	1 (1)	1 (-)	- (-)	- (-)	2 (2)	- (-)	- (-)	放火(疑含む) 2 (2)	たばこ 2 (2)	こんろ 2 (2)	たき火・焼却火 1 (-)	電気関係 1 (1)
11月	10 (9)	6 (5)	1 (1)	2 (2)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	2 (1)	たばこ 2 (2)	たき火・焼却火 1 (1)	電気関係 1 (1)	こんろ 1 (-)	-
12月	22 (18)	17 (14)	- (-)	2 (1)	- (-)	- (-)	3 (3)	2 (2)	5 (5)	たき火・焼却火 3 (2)	電気関係 3 (2)	放火(疑含む) 2 (2)	たばこ 1 (1)	こんろ 1 (1)
合計	164 (142)	98 (87)	7 (7)	16 (12)	- (-)	- (-)	43 (36)	7 (5)	25 (24)	放火(疑含む) 30 (29)	たき火・焼却火 22 (18)	電気関係 20 (17)	たばこ 17 (16)	こんろ 14 (12)

(注) ()内は姫路市の数値

※ 主な出火原因からは、「不明」「その他」は除いています。

6 四季別火災状況

季 節	令 和 3 年			令 和 2 年		
	火災件数	割 合 (%)	損害額 (千円)	火災件数	割 合 (%)	損害額 (千円)
春 季 (3月～5月)	56 (49)	34.1 (34.5)	116,239 (46,372)	62 (55)	31.5 (31.4)	77,660 (73,705)
夏 季 (6月～8月)	42 (35)	25.6 (24.6)	22,603 (20,066)	43 (39)	21.8 (22.3)	48,240 (44,814)
秋 季 (9月～11月)	26 (23)	15.9 (16.2)	83,997 (83,729)	27 (25)	13.7 (14.3)	34,733 (27,138)
冬 季 (12月～2月)	40 (35)	24.4 (24.6)	32,923 (32,542)	65 (56)	33.0 (32.0)	332,874 (305,098)

(注) ()内は姫路市の数値

7 建物用途別火災状況

防火対象物の用途別でみると、一般住宅が28件で、全体の28.6%を占めています。

防火対象物の区分 (令別表)		令 和 3 年			令和2年 件 数	増減数
		件数	構成比 (%)	損害額 (千円)		
	一 般 住 宅	28 (24)	28.6 (27.6)	161,012 (91,139)	41 (31)	▲13 (▲7)
(五)	ロ 共 同 住 宅	9 (9)	9.2 (10.3)	19,039 (19,039)	13 (12)	▲4 (▲3)
	併 用 住 宅	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(一)	イ 劇 場 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 公 会 堂 等	1 (1)	1.0 (1.1)	30 (30)	- (-)	1 (1)
(二)	イ キ ャ バ レ ー 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 遊 技 場 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ニ カラオケボックス等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(三)	イ 料 理 店 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 飲 食 店	2 (2)	2.0 (2.3)	50 (50)	2 (2)	- (-)
(四)	物 品 販 売 店 舗	4 (3)	4.1 (3.4)	11 (11)	1 (1)	3 (2)
(五)	イ 旅 館 ・ ホ テ ル 等	1 (1)	1.0 (1.1)	172 (172)	- (-)	1 (1)
(六)	イ 病 院 等	1 (1)	1.0 (1.1)	66 (66)	- (-)	1 (1)
	ロ 老人短期入所施設等	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	▲1 (▲1)
	ハ 老人デイサービスセンター・保育園	- (-)	- (-)	- (-)	2 (2)	▲2 (▲2)
	ニ 幼稚園・特別支援学校	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(七)	学 校	1 (1)	1.0 (1.1)	1 (1)	- (-)	1 (1)
(八)	図 書 館 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(九)	イ 特 殊 浴 場	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 公 衆 浴 場	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十)	停 車 場 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十一)	神 社 ・ 寺 院 等	1 (1)	1.0 (1.1)	2 (2)	1 (1)	- (-)
(十二)	イ 工 場 ・ 作 業 場	18 (16)	18.4 (18.4)	61,952 (61,338)	7 (7)	11 (9)
	ロ ス タ ジ オ	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十三)	イ 駐 車 場	2 (2)	2.0 (2.3)	16 (16)	1 (1)	1 (1)
	ロ 航 空 機 格 納 庫	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十四)	倉 庫	11 (10)	11.2 (11.5)	2,807 (1,551)	8 (6)	3 (4)
(十五)	事 務 所 等	3 (2)	3.1 (2.3)	2 (-)	3 (3)	- (▲1)
(十六)	イ 特 定 複 合 用 途	4 (4)	4.1 (4.6)	2,997 (2,997)	8 (8)	▲4 (▲4)
	ロ 非 特 定 複 合 用 途	2 (2)	2.0 (2.3)	93 (93)	1 (1)	1 (1)
(十七)	文 化 財	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	そ の 他	10 (8)	10.2 (9.2)	4,170 (3,503)	12 (12)	▲2 (▲4)
合 計		98 (87)	100 (100)	252,420 (180,008)	101 (88)	▲3 (▲1)

(注) ()内は姫路市の数値

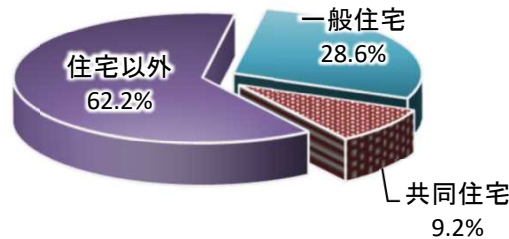
※ 端数処理の関係上、表中の計算が合わない場合があります。

8 建物火災に占める住宅火災の割合

建物火災98件のうち、住宅火災は37件発生し、建物火災全体の37.8%を占めています。

建物火災	住宅火災				住宅以外
	合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	
98 (87)	37 (33)	28 (24)	9 (9)	- (-)	61 (54)

(注) ()内は姫路市の数値



※ 端数処理の関係上、グラフ中の計算が合わない場合があります。

9 火災の覚知方法

消防機関が火災をどのような方法で覚知しているかをみると、119専用電話が最も多く105件（64%）となっています。

年次 種別		平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		
										火災件数		構成比(%)
119 専用電話	固定電話	137	39 (38)	125	41 (36)	123	42 (31)	136	36 (32)	105	19 (14)	11.6 (9.9)
	携帯電話	(124)	98 (86)	(106)	84 (70)	(104)	81 (73)	(119)	100 (87)	(91)	86 (77)	52.4 (54.2)
加入電話	固定電話	7	5 (3)	-	1 (1)	3	1 (1)	8	4 (4)	9	5 (5)	3.0 (3.5)
	携帯電話	(5)	2 (2)	(-)	2 (1)	(2)	2 (1)	(7)	4 (3)	(9)	4 (4)	2.4 (2.8)
駆け付け通報		-		-		-		-		-		- (-)
警察電話		5 (5)		6 (5)		2 (2)		4 (4)		1 (1)		0.6 (0.7)
その他		8 (6)		10 (10)		5 (4)		9 (8)		1 (1)		0.6 (0.7)
事後聞知		30 (28)		36 (31)		43 (38)		40 (37)		48 (40)		29.3 (28.2)
合計		187 (168)		180 (154)		176 (150)		197 (175)		164 (142)		100 (100)

(注) ()内は姫路市の数値

※ 端数処理の関係上、表中の計算が合わない場合があります。

10 初期消火実施状況

初期消火は、全火災164件のうち、107件（65.2%）に対して実施され、66件（61.7%）が成功しています。

区 分			合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	その他
初期消火あり	成功	簡易消火用具	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)
		消 火 器	26 (22)	20 (18)	－ (－)	3 (3)	－ (－)	3 (1)
		固定消火設備	1 (1)	1 (1)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)
		そ の 他	39 (34)	22 (19)	1 (1)	3 (2)	－ (－)	13 (12)
		小 計	66 (57)	43 (38)	1 (1)	6 (5)	－ (－)	16 (13)
	失敗	簡易消火用具	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)
		消 火 器	11 (9)	8 (6)	－ (－)	3 (3)	－ (－)	－ (－)
		固定消火設備	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)
		そ の 他	30 (23)	16 (14)	3 (3)	2 (－)	－ (－)	9 (6)
		小 計	41 (32)	24 (20)	3 (3)	5 (3)	－ (－)	9 (6)
	合 計 (初期消火割合)		107 (89) 65.2% (62.7%)	67 (58) 68.4% (66.7%)	4 (4) 57.1% (57.1%)	11 (8) 68.8% (66.7%)	－ (－)	25 (19) 58.1% (52.8%)
初 期 消 火 な し		57 (53)	31 (29)	3 (3)	5 (4)	－ (－)	18 (17)	
火 災 件 数		164 (142)	98 (87)	7 (7)	16 (12)	－ (－)	43 (36)	

(注) ()内は姫路市の数値

※ 端数処理の関係上、表中の計算が合わない場合があります。

11 初期消火失敗の理由

初期消火失敗の理由としては、「初期消火の限界を超えていた」が最も多く、31件（75.6%）となっています。

合 計	初期消火の限界を超えていた	消火困難な場所	消火器具の数量不足	消火技術が悪かった	濃煙のため消火困難	その他
41 (32)	31 (24)	3 (3)	- (-)	3 (2)	1 (1)	3 (2)

(注) ()内は姫路市の数値

12 主な火災一覧

主な火災（火災損害額1,000万円以上又は焼損面積500㎡以上のもの）は、7件(前年同数)発生しています。

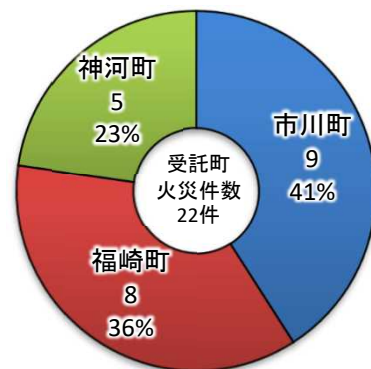
月	出 火 場 所	火災種別	区 分
2月	土山二丁目	建 物	共同住宅
4月	市川町澤	建 物	一般住宅
4月	市川町上瀬加	建 物	一般住宅
4月	広畑区才	建 物	一般住宅
9月	北今宿三丁目	建 物	一般住宅
10月	相野	建 物	一般住宅
11月	苫編	建 物	作業場

13 小学校区別火災状況

区分 校区	火災 件数	火災種別					焼損面積	
		建物	林野	車両	船舶	その他	建物 (㎡)	林野 (a)
姫路東消防署	白鷺	4	3	-	1	-	165.0	-
	野里	1	1	-	-	-	-	-
	城東	1	1	-	-	-	40.0	-
	東	2	2	-	-	-	278.0	-
	花田	5	4	-	-	1	191.0	-
	城北	5	5	-	-	-	1.1	-
	広峰	2	1	-	-	1	-	-
	水上	1	1	-	-	-	-	-
	砥堀	1	1	-	-	-	-	-
	城乾	1	1	-	-	-	14.0	-
	増位	-	-	-	-	-	-	-
	四郷	1	-	-	-	1	-	-
	御国野	1	-	-	-	1	-	-
	別所	1	-	-	-	1	-	-
	谷外	3	1	1	-	1	127.0	0.2
姫路西消防署	谷内	2	1	1	-	-	72.0	1.2
	豊富	4	3	-	-	1	0.8	-
	山田	4	2	1	-	1	8.0	2.5
	船津	2	1	-	-	1	-	-
	小計	41	28	3	1	-	896.9	3.9
	城陽	2	-	-	1	1	-	-
	手柄	2	2	-	-	-	-	-
	船場	4	4	-	-	-	475.0	-
	荒川	1	1	-	-	-	562.0	-
	高岡	4	4	-	-	-	335.0	-
	安室	1	1	-	-	-	9.0	-
	城西	-	-	-	-	-	-	-
	安室東	2	1	-	-	1	-	-
	高岡西	2	1	1	-	-	-	0.6
	曾左	1	1	-	-	-	-	-
網干消防署	白鳥	5	4	-	-	1	27.0	-
	太市	3	2	1	-	-	409.1	0.3
	林田	-	-	-	-	-	-	-
	伊勢	-	-	-	-	-	-	-
	峰相	1	1	-	-	-	2.0	-
	青山	1	1	-	-	-	-	-
	安富南	2	1	-	-	1	-	-
	安富北	-	-	-	-	-	-	-
	小計	31	24	2	1	-	1,819.1	0.9
	勝原	2	-	-	-	-	2	-
飾磨消防署	津田	-	-	-	-	-	-	-
	英賀保	2	2	-	-	-	153.0	-
	高浜	2	1	-	1	-	-	-
	妻鹿	1	1	-	-	-	-	-
	広畑	1	-	-	1	-	-	-
	広畑第2	5	4	-	-	-	1	-
	八幡	4	1	-	1	-	148.0	-
	白浜	3	2	-	-	-	1	-
	八木	1	-	-	-	-	1	-
	糸引	6	3	-	1	-	166.0	-
中播磨消防署	的形	2	-	-	-	-	2	-
	大塩	-	-	-	-	-	-	-
	家島	3	-	2	1	-	-	2.6
	坊勢	-	-	-	-	-	-	-
	小計	41	22	2	7	-	609.0	2.6
	旭陽	1	-	-	-	-	1	-
	網干	4	2	-	-	-	2	-
	大津	3	1	-	1	-	1	-
	南大津	6	3	-	1	-	2	-
	大津茂	1	1	-	-	-	-	-
受託町域小計	網干西	4	4	-	-	-	13.0	-
	余部	-	-	-	-	-	-	-
	小計	21	11	-	2	-	8	-
	置塩	2	-	-	-	-	2	-
	古知	1	-	-	-	-	1	-
	前之庄	3	1	-	1	-	1	-
	筋野	-	-	-	-	-	-	-
	上菅	-	-	-	-	-	-	-
	菅生	1	-	-	-	-	1	-
	中寺	-	-	-	-	-	-	-
合計	香呂	1	1	-	-	-	9.0	-
	香呂南	-	-	-	-	-	-	-
	小計	8	2	-	1	-	5	-
	受託町域小計	22	11	-	4	-	575.7	4.0
	合計	164	98	7	16	-	43	3,922.7
	林野	-	-	-	-	-	-	11.4
	小計	31	24	2	1	-	4	1,819.1
	林野	-	-	-	-	-	-	0.9
	小計	31	24	2	1	-	4	1,819.1
	林野	-	-	-	-	-	-	0.9

14 事務受託町の火災状況

区分 町名	火災 件数	火災種別					焼損面積	
		建物	林野	車両	船舶	その他	建物 (㎡)	林野 (a)
市川町	9	6	-	-	-	3	575.7	4.0
福崎町	8	5	-	1	-	2	-	-
神河町	5	-	-	3	-	2	-	-
合計	22	11	-	4	-	7	575.7	4.0



15 出火原因の推移

出火原因第1位は、「放火(疑含む)」で、30件発生しています。

年 次	主 な 出 火 原 因					火災件数
	1位	2位	3位	4位	5位	
平成23年	放火(疑含む)	たばこ	たき火・焼却火	こんろ	火遊び	302 (279)
	84(81) 27.8%	34(32) 11.2%	34(27) 11.2%	29(28) 9.6%	24(23) 7.9%	
平成24年	放火(疑含む)	たき火・焼却火	たばこ	電気関係	こんろ	259 (230)
	72(70) 27.8%	28(23) 10.8%	23(20) 8.9%	22(18) 8.5%	21(21) 8.1%	
平成25年	たき火・焼却火	放火(疑含む)	たばこ	電気関係	こんろ	235 (208)
	43(32) 18.3%	42(40) 17.8%	20(20) 8.5%	14(12) 6.0%	12(10) 5.1%	
平成26年	たき火・焼却火	たばこ	放火(疑含む)	電気関係	こんろ	196 (173)
	31(24) 15.8%	25(25) 12.8%	24(21) 12.2%	24(23) 12.2%	13(11) 6.6%	
平成27年	放火(疑含む)	たき火・焼却火	たばこ	電気関係	こんろ	193 (175)
	37(34) 19.2%	29(23) 15.0%	19(16) 9.8%	16(15) 8.3%	13(11) 6.7%	
平成28年	たばこ	たき火・焼却火	－	電気関係	放火(疑含む)	138 (121)
	20(19) 14.5%	20(16) 14.5%	－	18(15) 13.0%	16(16) 11.6%	
平成29年	たき火・焼却火	たばこ	放火(疑含む)	こんろ	ストーブ	187 (168)
	47(36) 25.1%	29(29) 15.5%	21(18) 11.2%	10(10) 5.3%	9(8) 4.8%	
平成30年	たき火・焼却火	放火(疑含む)	電気関係	たばこ	こんろ	180 (154)
	39(32) 21.7%	28(27) 15.6%	19(16) 10.6%	17(15) 9.4%	7(7) 3.9%	
令和元年	たき火・焼却火	放火(疑含む)	たばこ	電気関係	こんろ	176 (150)
	42(30) 23.9%	27(27) 15.3%	18(18) 10.2%	18(17) 10.2%	10(10) 5.7%	
令和2年	たき火・焼却火	放火(疑含む)	電気関係	たばこ	こんろ	197 (175)
	31(24) 15.7%	27(26) 13.7%	22(19) 11.2%	21(19) 10.7%	11(11) 5.6%	
令和3年	放火(疑含む)	たき火・焼却火	電気関係	たばこ	こんろ	164 (142)
	30(29) 18.3%	22(18) 13.4%	20(17) 12.2%	17(16) 10.4%	14(12) 8.5%	

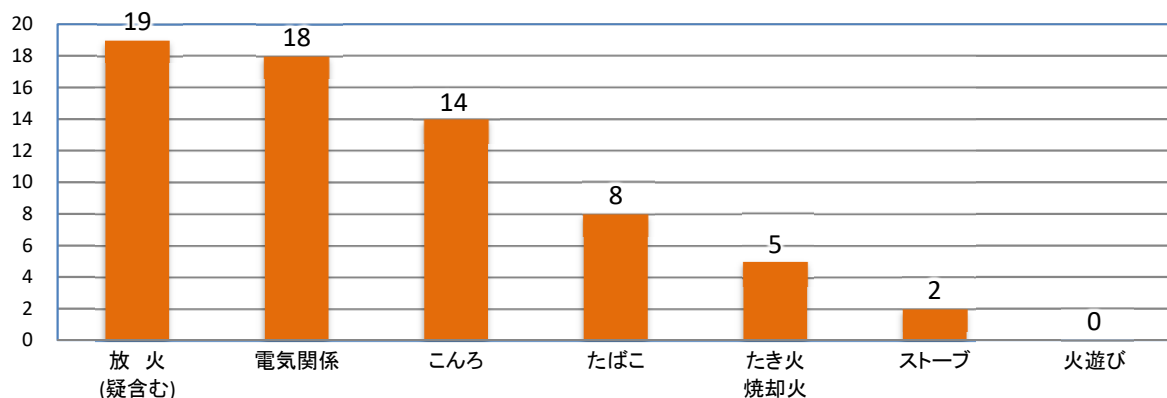
(注) ()内は姫路市の数値

16 建物用途別出火原因

建物火災98件の出火原因は、「放火(疑含む)」が最も多く19件、続いて「電気関係」が18件、「こんろ」が14件となっています。

出火原因 防火対象物の 区分 (令別表)		合 計	放 火 (疑 含 む)	電 気 関 係	こ ん ろ	た ば こ	た き 火	焼 却 火	ス ト ー ブ	火 遊 び	そ の 他	不 明
	一 般 住 宅	28 (24)	7 (7)	3 (3)	8 (7)	3 (2)	1 (-)	1 (1)	1 (1)	- (-)	2 (2)	3 (2)
(五)	ロ 共 同 住 宅	9 (9)	2 (2)	- (-)	3 (3)	2 (2)	- (-)	1 (1)	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (1)
	併 用 住 宅	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(一)	イ 劇 場 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 公 会 堂 等	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)
	イ キャバレー等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(二)	ロ 遊 技 場 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ニ カラオケボックス等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(三)	イ 料 理 店 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 飲 食 店	2 (2)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)
(四)	物 品 販 売 店 舗	4 (3)	- (-)	2 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (1)	- (-)
(五)	イ 旅 館 ・ホ テ ル 等	1 (1)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	イ 病 院 等	1 (1)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(六)	ロ 老人短期入所施設等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ハ 老人デイサービスセンター・保育園	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ニ 幼稚園・特別支援学校	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(七)	学 校	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)
(八)	図 書 館 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(九)	イ 特 殊 浴 場	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 公 衆 浴 場	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十)	停 車 場 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十一)	神 社 ・寺 院 等	1 (1)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十二)	イ 工 場 ・作 業 場	18 (16)	- (-)	7 (6)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	9 (8)	2 (2)
	ロ ス タ ジ オ	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十三)	イ 駐 車 場	2 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 航 空 機 格 納 庫	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十四)	倉 庫	11 (10)	2 (2)	2 (1)	1 (1)	- (-)	2 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	4 (4)	- (-)
(十五)	事 務 所 等	3 (2)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (2)	- (-)
(十六)	イ 特 定 複 合 用 途	4 (4)	1 (1)	2 (2)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 非 特 定 複 合 用 途	2 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (2)	- (-)
(十七)	文 化 財	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	そ の 他	10 (8)	5 (5)	- (-)	1 (-)	- (-)	2 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	1 (1)
合 計		98 (87)	19 (19)	18 (15)	14 (12)	8 (7)	5 (3)	2 (2)	- (-)	- (-)	24 (22)	8 (7)

(注) ()内は姫路市の数値



17 主な出火原因の状況

(1) 放火（疑いを含む）

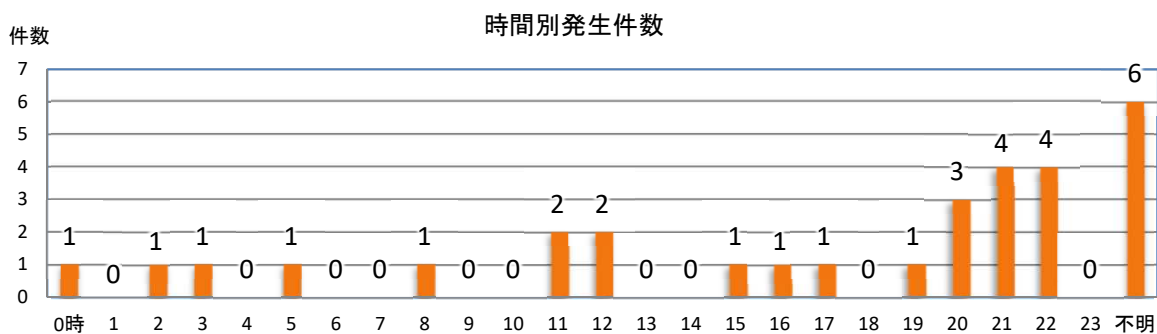
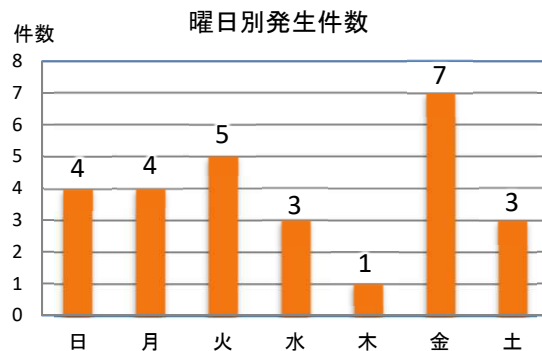
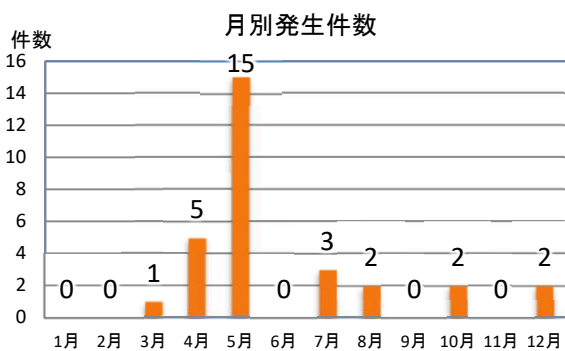
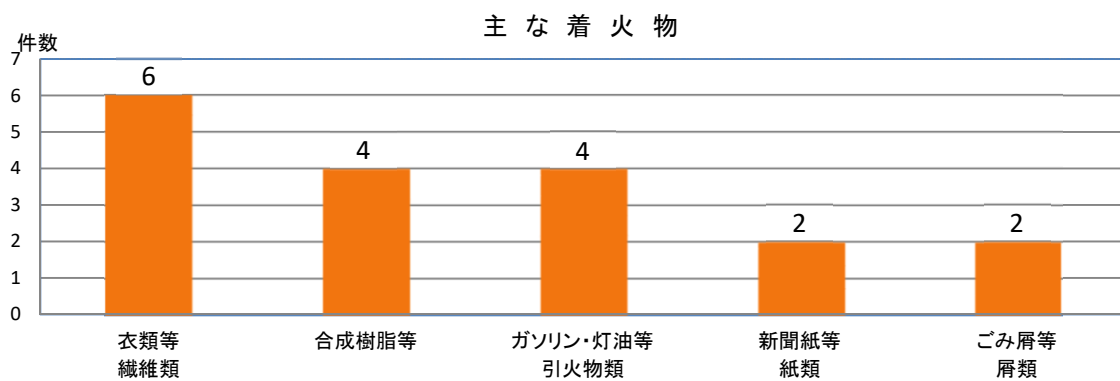
放火（疑いを含む）による火災は30件で、全火災の18.3%を占めています。

着火物は衣類等繊維類が最も多くなっています。

月別では、5月、曜日別では金曜日、時間別では21時と22時に最も多く発生しています。

年次		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
区分	合計	21 (18)	28 (27)	27 (27)	27 (26)	30 (29)
火災種別	建物	7 (6)	14 (13)	17 (17)	9 (9)	19 (19)
	林野	1 (1)	1 (1)	- (-)	6 (6)	- (-)
	車両	1 (1)	2 (2)	1 (1)	1 (-)	2 (2)
	船舶	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	その他	12 (10)	11 (11)	9 (9)	11 (11)	9 (8)
建物焼損床面積 (㎡)		31.0 (6.0)	427.2 (396.2)	426.8 (426.8)	365.0 (365.0)	195.0 (195.0)
林野焼損面積 (a)		71.0 (71.0)	- (-)	- (-)	13.4 (13.4)	- (-)
損害額 (千円)		1,325 (1,242)	16,257 (14,593)	15,099 (15,099)	23,285 (23,275)	8,083 (8,082)

(注) ()内は姫路市の数値



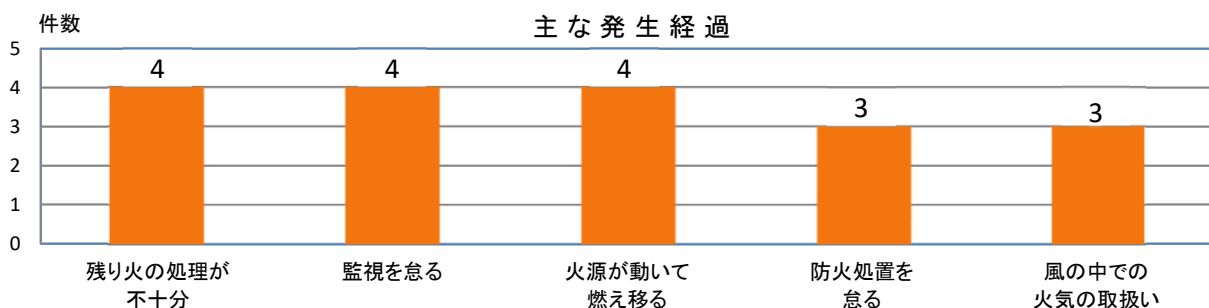
(2) たき火・焼却火

たき火・焼却火による火災は22件で、全火災の13.4%を占めています。

火災に至った経過は、「残り火の処理が不十分」「放置する、忘れる」「火源が動いて燃え移る」が多くなっています。

年次			平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
区分	合計		47 (36)	39 (32)	42 (30)	31 (24)	22 (18)
火災種別	建物	(件)	5 (5)	4 (4)	7 (5)	5 (4)	5 (3)
	林野		6 (5)	9 (6)	7 (3)	5 (4)	4 (4)
	車両		1 (1)	2 (2)	1 (1)	- (-)	- (-)
	船舶		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	その他		35 (25)	24 (20)	27 (21)	21 (16)	13 (11)
建物焼損床面積	(㎡)		35.3 (35.3)	7.0 (7.0)	147.6 (71.6)	634.0 (10.0)	37.9 (8.9)
林野焼損面積	(a)		108.2 (102.9)	42.4 (40.4)	41.9 (35.7)	3,422.3 (3421.6)	4.2 (4.2)
損害額	(千円)		685 (597)	400 (399)	11,025 (1,196)	1,989 (169)	108 (81)

(注) ()内は姫路市の数値



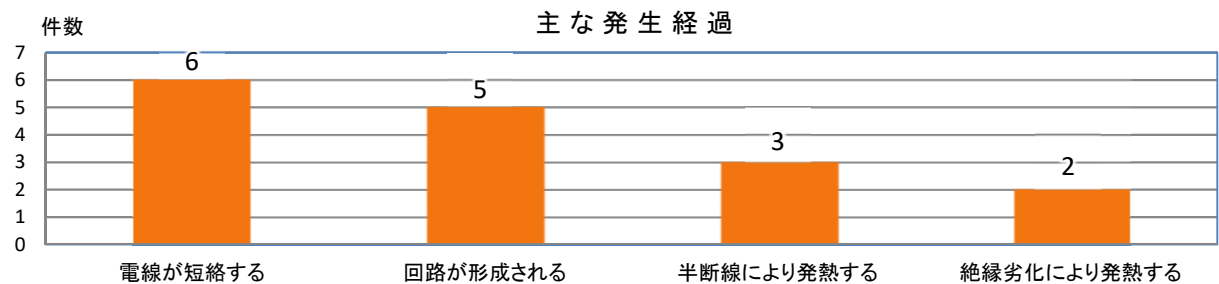
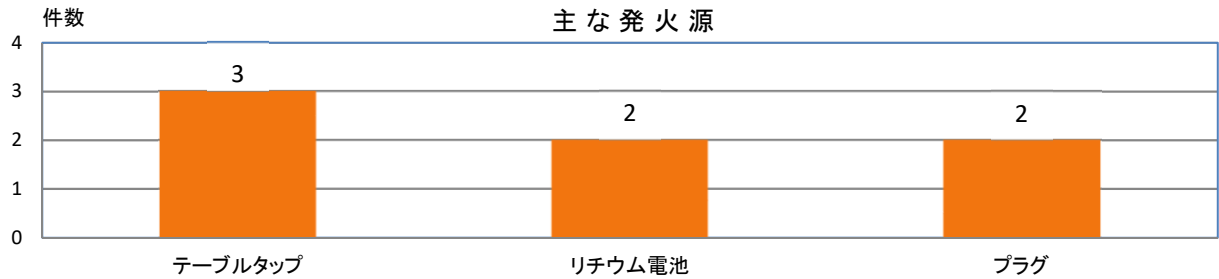
(3) 電気関係

電気関係による火災は20件で、全火災の12.0%を占めています。

発火源は「テーブルタップ」が、発生経過は「電線が短絡する」が最も多くなっています。

年次			平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
区 分	合 計		9 (9)	19 (16)	18 (17)	22 (17)	20 (17)
火災種別	建 物	(件)	7 (7)	14 (12)	12 (11)	16 (11)	18 (15)
	林 野		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	車 両		1 (1)	3 (3)	3 (3)	4 (4)	2 (2)
	船 舶		- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)
	そ の 他		1 (1)	2 (1)	3 (3)	1 (1)	- (-)
建 物 焼 損 床 面 積	(㎡)		255.0 (255.0)	224.0 (224.0)	159.6 (147.6)	2,735.6 (2572.2)	454.7 (406.0)
林 野 焼 損 面 積	(a)		- (-)	0.2 (-)	- (-)	- (-)	- (-)
損 害 額	(千円)		35,704 (35,704)	104,986 (95,774)	17,046 (15,400)	238,879 (234,382)	37,585 (35,877)

(注) ()内は姫路市の数値

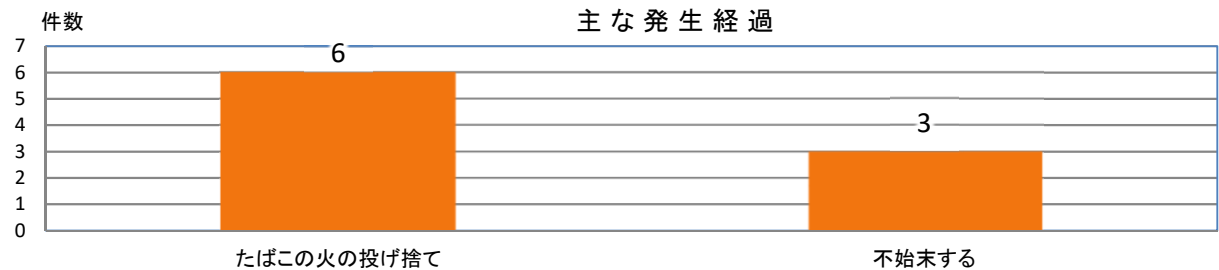


(4) たばこ

たばこによる火災は17件で、全火災の10.4%を占めています。
発生経過をみると、「たばこの火の投げ捨て」が最も多くなっています。

年次 区 分			平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
火災種別	合 計		29 (29)	17 (15)	18 (18)	21 (19)	17 (16)
	建 物	(件)	10 (10)	7 (6)	10 (10)	13 (11)	8 (7)
	林 野		- (-)	- (-)	2 (2)	- (-)	- (-)
	車 両		1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)
	船 舶		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	そ の 他		18 (18)	10 (9)	6 (6)	8 (8)	8 (8)
建物焼損床面積 (㎡)		73.3 (73.3)	31.2 (31.2)	57.9 (57.9)	132.1 (27.1)	338.0 (281.0)	
林野焼損面積 (a)		- (-)	- (-)	1.4 (1.4)	- (-)	- (-)	
損 害 額 (千円)		7,154 (7,154)	896 (880)	8,540 (8,540)	5,285 (781)	42,197 (8,466)	

(注) ()内は姫路市の数値

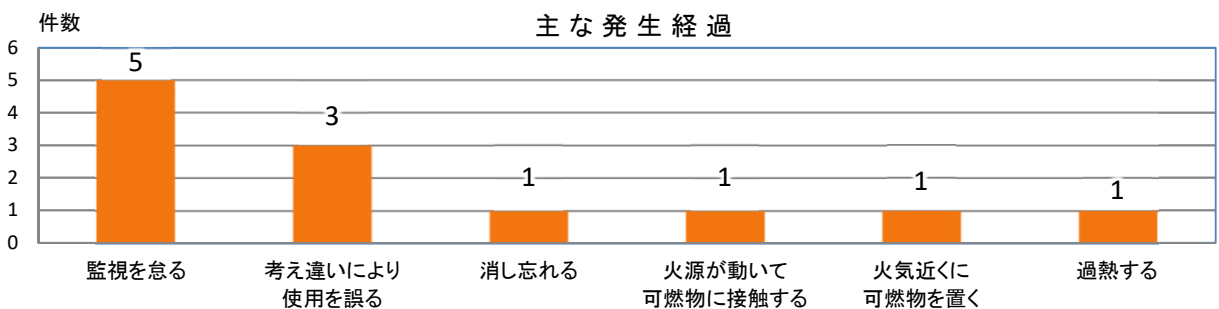


(5) こんろ

こんろによる火災は14件で、全火災の8.5%を占めています。
火災に至った経過は、監視不足である「監視を怠る」が最も多くなっています。

年次 区 分			平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
火災種別	合 計		10 (10)	7 (7)	10 (10)	11 (11)	14 (12)
	建 物	(件)	10 (10)	7 (7)	10 (10)	11 (11)	14 (12)
	林 野		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	車 両		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	船 舶		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	そ の 他		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
建 物 焼 損 床 面 積 (㎡)		67.0 (67.0)	6.0 (6.0)	34.6 (34.6)	88.9 (88.9)	664.0 (545.0)	
林 野 焼 損 面 積 (a)		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
損 害 額 (千円)		889 (889)	421 (421)	786 (786)	2,545 (2,545)	19,276 (18,629)	

(注) ()内は姫路市の数値



18 火災による死者の発生状況

No.	年齢区分	性別	死 因	火災種別	発生場所
1	65歳以上	男	焼死	建物	複合用途建築物
2	65歳以上	男	焼死	その他	駐車場
3	65歳以上	男	CO中毒	建物	一般住宅
4	65歳以上	男	焼死	建物	一般住宅
5	56～60歳	女	焼死	その他	田畑
6	56～60歳	男	CO中毒	建物	一般住宅
7	65歳以上	男	焼死	建物	一般住宅

19 火災による死者の推移

年 次 年齢区分	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
5 歳 以下	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
6 ～ 10歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
11 ～ 15歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
16 ～ 20歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
21 ～ 25歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
26 ～ 30歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
31 ～ 35歳	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)
36 ～ 40歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
41 ～ 45歳	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)
46 ～ 50歳	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)
51 ～ 55歳	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)
56 ～ 60歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (1)
61 ～ 64歳	1 (1)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)
65 歳 以上	1 (1)	7 (5)	5 (4)	6 (3)	5 (4)
合 計	3 (3)	10 (8)	5 (4)	8 (5)	7 (5)

(注) ()内は姫路市の数値

20 火災による負傷者の推移

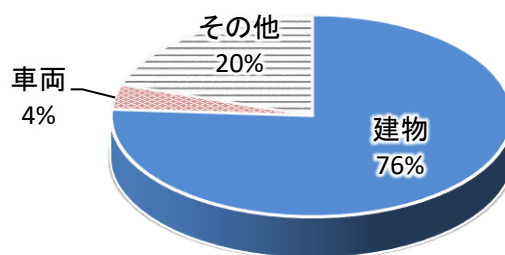
年 次 年齢区分	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
5 歳 以下	2 (2)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)
6 ～ 10歳	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)
11 ～ 15歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
16 ～ 20歳	1 (1)	4 (4)	- (-)	1 (1)	- (-)
21 ～ 25歳	- (-)	- (-)	2 (2)	2 (2)	- (-)
26 ～ 30歳	2 (2)	1 (1)	- (-)	1 (1)	- (-)
31 ～ 35歳	- (-)	4 (4)	1 (1)	3 (2)	1 (1)
36 ～ 40歳	1 (1)	2 (1)	4 (4)	- (-)	4 (4)
41 ～ 45歳	3 (2)	3 (3)	- (-)	7 (7)	- (-)
46 ～ 50歳	- (-)	5 (4)	1 (1)	1 (1)	2 (2)
51 ～ 55歳	1 (1)	- (-)	3 (2)	- (-)	3 (3)
56 ～ 60歳	3 (3)	3 (2)	3 (3)	2 (1)	4 (4)
61 ～ 64歳	2 (1)	1 (1)	2 (2)	3 (3)	3 (2)
65 歳 以上	9 (7)	7 (6)	12 (10)	18 (16)	8 (8)
合 計	24 (20)	31 (27)	29 (26)	38 (34)	25 (24)

(注) ()内は姫路市の数値

(1) 火災種別による負傷者

建 物 火 災	19	(18)
林 野 火 災	-	(-)
車 両 火 災	1	(1)
船 舶 火 災	-	(-)
そ の 他 の 火 災	5	(5)
合 計	25	(24)

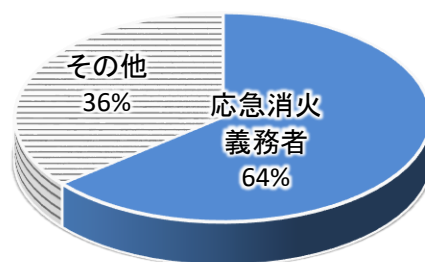
(注) ()内は姫路市の数値



(2) 負傷者の区分

応 急 消 火 義 務 者	16	(16)
消 防 団 員	-	(-)
消 防 吏 員	-	(-)
そ の 他	9	(8)
合 計	25	(24)

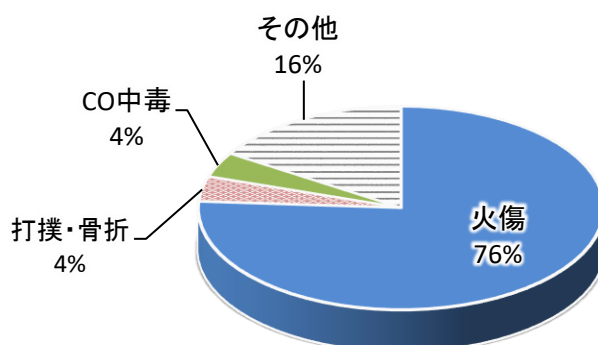
(注) ()内は姫路市の数値



(3) 負傷原因

火 傷	19	(18)
打 撲 ・ 骨 折	1	(1)
C O 中 毒	1	(1)
そ の 他	4	(4)
合 計	25	(24)

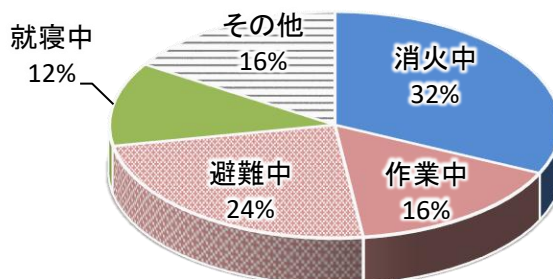
(注) ()内は姫路市の数値



(4) 負傷経過

消 火 中	8	(8)
作 業 中	4	(4)
避 難 中	6	(6)
就 寝 中	3	(3)
そ の 他	4	(3)
合 計	25	(24)

(注) ()内は姫路市の数値



21 出火場所と最寄り消防機関の距離

出火場所と最寄り消防機関の距離をみると、3.0km以下で137件発生しており、全体の83.5%を占めています。

最寄り消防機関 からの直線距離	火災件数	火 災 種 別				
		建 物	林 野	車 両	船 舶	その他
0.5km 以下	19 (17)	12 (11)	1 (1)	2 (2)	- (-)	4 (3)
0.6 ～ 1.0km	29 (23)	19 (14)	2 (2)	4 (4)	- (-)	4 (3)
1.1 ～ 1.5km	34 (34)	24 (24)	- (-)	1 (1)	- (-)	9 (9)
1.6 ～ 2.0km	24 (24)	18 (18)	- (-)	2 (2)	- (-)	4 (4)
2.1 ～ 2.5km	18 (16)	6 (6)	- (-)	3 (2)	- (-)	9 (8)
2.6 ～ 3.0km	13 (12)	7 (6)	1 (1)	- (-)	- (-)	5 (5)
3.1 ～ 3.5km	3 (2)	2 (1)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)
3.6 ～ 4.0km	8 (5)	5 (3)	- (-)	2 (1)	- (-)	1 (1)
4.1 ～ 4.5km	4 (3)	3 (3)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)
4.6 ～ 5.0km	2 (2)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (1)
5.1 ～ 5.5km	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
5.6 ～ 6.0km	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)
6.1 ～ 6.5km	3 (1)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (-)
6.6 ～ 7.0km	2 (1)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)
7.1km 以上	4 (1)	- (-)	1 (1)	1 (-)	- (-)	2 (-)
合 計	164 (142)	98 (87)	7 (7)	16 (12)	- (-)	43 (36)

(注) ()内は姫路市の数値

22 出動区別活動状況

火災1件当りの平均出動台数は7.0台、車両1台当たりの平均人員は3.6人となっています。

区 分	出動件数	車 種	出動台数	放水台数	出動人員
第 1 出 動	89	指揮 隊 車	81	-	261
		指揮 車	1	-	3
		タンク 車	222	83	974
		ST 車	178	73	549
		救助 作 車	73	-	262
		水難 救 車	-	-	-
		救急 車	88	-	267
		梯子 車	10	-	50
		化学 学 車	6	-	31
		大型化学高所放水車	-	-	-
		屈折梯子付ポンプ車	-	-	-
		泡原液搬送車	1	-	3
		水槽 車	-	-	-
		無線 中継 車	-	-	-
		消防 艇 車	-	-	-
		救急 艇 車	1	-	2
		資材搬送車	-	-	-
第 2 出 動	26	BC災害対応車	5	-	10
		人員搬送車	-	-	-
		多目的 車	-	-	-
		指揮 隊 車	28	-	86
		指揮 車	1	-	2
		タンク 車	31	15	136
		ST 車	35	15	105
		救助 作 車	1	-	3
		水難 救 車	-	-	-
		救急 車	2	-	6
		梯子 車	-	-	-
		化学 学 車	-	-	-
		大型化学高所放水車	-	-	-
		屈折梯子付ポンプ車	-	-	-
		泡原液搬送車	-	-	-
		水槽 車	-	-	-
第 3 出 動	1	無線 中継 車	-	-	-
		消防 艇 車	-	-	-
		救急 艇 車	-	-	-
		資材搬送車	-	-	-
		BC災害対応車	-	-	-
		人員搬送車	-	-	-
		多目的 車	-	-	-
		指揮 隊 車	-	-	-
		指揮 車	-	-	-
		タンク 車	1	-	3
		ST 車	1	-	3
		救助 作 車	-	-	-
		水難 救 車	-	-	-
		救急 車	-	-	-
		梯子 車	-	-	-
		化学 学 車	-	-	-
		大型化学高所放水車	-	-	-
		屈折梯子付ポンプ車	-	-	-
		泡原液搬送車	-	-	-
		水槽 車	-	-	-
		無線 中継 車	-	-	-
		消防 艇 車	-	-	-
		救急 艇 車	-	-	-
		資材搬送車	-	-	-
		BC災害対応車	-	-	-
		人員搬送車	-	-	-
		多目的 車	-	-	-

区 分	出動件数	車 種	出動台数	放水台数	出動人員
特 命 出 動	(39)	指揮隊車	2	-	6
		指揮車	2	-	4
		タンク車	6	1	28
		ST車	6	-	23
		救助工作車	2	-	7
		水難救助車	-	-	-
		救急車	23	-	69
		梯子車	-	-	-
		化学学車	-	-	-
		大型化学高所放水車	-	-	-
		屈折梯子付ポンプ車	-	-	-
		泡原液搬送車	-	-	-
		水槽車	1	-	3
		無線中継車	-	-	-
		消防艇	-	-	-
		救急艇	-	-	-
		資材搬送車	-	-	-
合 計	116	BC災害対応車	-	-	-
		人員搬送車	-	-	-
		多目的車	1	-	2
		指揮隊車	111	-	353
		指揮車	4	-	9
		タンク車	260	99	1,141
		ST車	220	88	680
		救助工作車	76	-	272
		水難救助車	-	-	-
		救急車	113	-	342
		梯子車	10	-	50
		化学学車	6	-	31
		大型化学高所放水車	-	-	-
		屈折梯子付ポンプ車	-	-	-
		泡原液搬送車	1	-	3
		水槽車	1	-	3
		無線中継車	-	-	-
		消防艇	-	-	-
		救急艇	1	-	2
		資材搬送車	-	-	-
		BC災害対応車	5	-	10
		人員搬送車	-	-	-
		多目的車	1	-	2
		合 計	809	187	2,898

※ 覚知方法が「事後聞知」の火災は除いています。

※ 出動件数の合計は、「特命出動」を除いています。（「第1出動」、「第2出動」及び「第3出動」の件数と重複するため）

※ ST車とは、水槽容量800ℓ～1,300ℓの消防自動車をいいます。

※ 救急車は、軽救急車も含みます。

23 車両別火災出動状況

車両別の火災出動回数は、姫路西消防署のタンク車が最も多く、56回となっています。

出動状況			出動回数	放水		ホース 使用本数	人員（人）		走行距離（km）		
署所及び車両				回数	量(m³)		延べ	平均	延べ	平均	
消防局	警防課 救急課 (本部直轄隊)	指揮車	－	－	－	－	－	－	－	－	
		S T 車	4	1	0.1	1	12	3.0	45.9	11.5	
		救助工作車	33	－	－	－	134	4.1	372.7	11.3	
		資材搬送車	－	－	－	－	－	－	－	－	
		B C 災害対応車	5	－	－	－	10	2.0	54.0	10.8	
		水難救助車	－	－	－	－	－	－	－	－	
	(予備車)	救急車	11	－	－	－	35	3.2	75.7	6.9	
		タンク車	9	3	38.0	35	41	4.6	78.2	8.7	
		救急車	1	－	－	－	3	3.0	23.0	23.0	
		救急車	－	－	－	－	－	－	－	－	
	予防課 情報指令課	救急車	2	－	－	－	6	3.0	5.8	2.9	
		指揮車	－	－	－	－	－	－	－	－	
小計			65	4	38.1	36	241	1.8	655.3	5.8	
姫路東消防署	本署	指揮隊車	49	－	－	－	158	3.2	835.9	17.1	
		タンク車	54	23	199.9	－	276	5.1	605.8	11.2	
		S T 車	－	－	－	118	－	－	－	－	
		梯子車	4	－	－	－	19	4.8	36.9	9.2	
		化学車	3	－	－	－	16	5.3	48.0	16.0	
		資材搬送車	－	－	－	－	－	－	－	－	
		人員搬送車	－	－	－	－	－	－	－	－	
		救急車	10	－	－	－	30	3.0	71.7	7.2	
		S T 車	39	17	139.2	－	117	3.0	445.0	11.4	
		救急車	10	－	－	－	30	3.0	100.0	10.0	
	御国野出張所	S T 車	28	9	24.2	36	87	3.1	497.5	17.8	
	豊富出張所	救急車	5	－	－	－	15	3.0	59.0	11.8	
	飾東出張所	S T 車	19	7	35.5	50	57	3.0	326.4	17.2	
	増位出張所	S T 車	31	10	112.5	42	94	3.0	329.5	10.6	
小計			252	66	511.3	246	899	64.2	3,355.7	220.4	
姫路西消防署	本署	指揮隊車	39	－	－	－	118	3.0	754.7	19.4	
		タンク車	56	20	243.4	110	278	5.0	720.2	12.9	
		S T 車	3	－	－	－	12	4.0	28.0	9.3	
		梯子車	3	－	－	－	16	5.3	24.3	8.1	
		化学車	3	－	－	－	15	5.0	69.1	23.0	
		救助工作車	23	－	－	－	77	3.3	229.2	10.0	
		資材搬送車	－	－	－	－	－	－	－	－	
		救急車	9	－	－	－	27	3.0	50.0	5.6	
	飾西出張所	S T 車	33	16	168.1	69	101	3.1	422.1	12.8	
		救急車	11	－	－	－	33	3.0	106.2	9.7	
	林田出張所	S T 車	8	2	29.0	6	24	3.0	150.5	18.8	
		救急車	4	－	－	－	12	3.0	70.4	17.6	
	小計			188	38	440.5	185	701	3.4	2,554.3	11.8

出動状況			出動回数	放 水		ホース 使用本数	人員（人）		走行距離（km）	
署所及び車両				回数	量(m³)		延べ	平均	延べ	平均
飾磨消防署	本 署	指 揮 隊 車	24	-	-	-	80	3.3	275.3	11.5
		タ ン ク 車	37	10	124.3	51	183	4.9	370.2	10.0
		S T 車	2	-	-	-	10	5.0	37.7	18.9
		梯 子 車	2	-	-	-	10	5.0	33.9	17.0
		資 材 搬 送 車	-	-	-	-	-	-	-	-
		消 防 艇	-	-	-	-	-	-	-	-
	白 浜 分 署	救 急 車	7	-	-	-	21	3.0	47.4	6.8
		タ ン ク 車	26	6	48.8	28	79	3.0	290.4	11.2
		泡 原 液 搬 送 車	1	-	-	-	3	3.0	27.8	27.8
		救 急 車	8	-	-	-	24	3.0	85.6	10.7
	広 畑 分 署	タ ン ク 車	35	8	47.8	38	107	3.1	373.8	10.7
		水 槽 車	1	-	-	-	3	3.0	15.7	15.7
		救 急 車	10	-	-	-	30	3.0	127.5	12.8
	大の出張所	S T 車	12	3	8.7	8	36	3.0	132.1	11.0
		救 急 艇	1	-	-	-	2	2.0	17.5	17.5
	家島出張所	多 目 的 車	1	-	-	-	2	2.0	7.0	7.0
		軽 救 急 車	3	-	-	-	9	3.0	22.8	7.6
		坊勢出張所	多 目 的 車	-	-	-	-	-	-	-
			軽 救 急 車	-	-	-	-	-	-	-
小 計			362	65	229.6	310	1,312	2.8	4,489.4	11.3
網干消防署	本 署	指 揮 隊 車	2	-	-	-	5	2.5	25.4	12.7
		タ ン ク 車	29	11	50.5	59	155	5.3	232.8	8.0
		S T 車	-	-	-	-	-	-	-	-
		梯 子 車	1	-	-	-	5	5.0	10.8	10.8
		大型化学高所放水	1	-	-	-	2	2.0	10.9	10.9
		資 材 搬 送 車	-	-	-	-	-	-	-	-
	勝原出張所	救 急 車	5	-	-	-	17	3.4	31.3	6.3
		タ ン ク 車	22	7	37.5	-	67	3.0	248.9	11.3
小 計			60	18	88.0	59	251	2.7	560.1	7.5
中播消防署	本 署	指 揮 隊 車	2	-	-	-	4	2.0	26.0	13.0
		タ ン ク 車	27	11	104.8	79	114	4.2	486.6	18.0
		S T 車	2	-	-	-	10	5.0	81.4	40.7
		梯 子 車	-	-	-	-	-	-	-	-
		化学車	-	-	-	-	-	-	-	-
		救 助 工 作 車	20	-	-	-	61	3.1	355.4	17.8
	香寺出張所	資 材 搬 送 車	-	-	-	-	-	-	-	-
		救 急 車	11	-	-	-	33	3.0	205.9	18.7
		S T 車	24	11	56.1	66	72	3.0	479.0	20.0
	夢前出張所	救 急 車	4	-	-	-	12	3.0	44.4	11.1
		S T 車	17	6	63.0	22	52	3.1	321.8	18.9
	北部出張所	救 急 車	6	-	-	-	18	3.0	153.1	25.5
		S T 車	12	6	32.8	25	38	3.2	226.4	18.9
救 急 車		1	-	-	-	3	3.0	20.0	20.0	
小 計			212	59	294.2	251	749	2.6	2,660.2	14.2
合 計			1,139	250	1,601.7	1,087	4,153	12.9	14,275.0	45.2

24 先着隊の平均所要時間

区分		所要時間
出動	ー 現場到着（建物火災限定）	4分34秒
現場到着	ー 放水開始（全火災）	1分57秒
現場到着	ー 鎮火（全火災）	65分54秒

25 火災・救助以外の消防隊の緊急出動状況

区 分	出 動 件 数	出 動 台 数	出 動 人 員
石油コンビナート災害	3 (3)	23 (23)	84 (84)
救急支援・PA出動等	1,201 (1,106)	1,201 (1,104)	4,720 (4,313)
警 戒 出 動	498 (455)	523 (476)	2,068 (1,884)
誤 報 ・ 偽 報	159 (153)	564 (544)	2,059 (1,992)
風 水 害 等 出 動	11 (11)	11 (11)	42 (42)
合 計	1,872 (1,728)	2,322 (2,158)	8,973 (8,315)

(注) ()内は姫路市の数値

※ 石油コンビナート災害とは、石油コンビナート等災害防止法に規定されている異常現象のうち「火災」に該当するものを除いたものを示します。

※ 警戒出動とは、石油コンビナート災害を除く危険防除活動、現場警戒等を示します。

26 自動火災報知設備の誤作動による出動状況

	令和元年	令和2年	令和3年
出 動 件 数	184 (178)	204 (192)	230 (218)
出 動 台 数	646 (624)	664 (595)	666 (632)
出 動 人 員	2,365 (2,292)	2,453 (2,212)	2,451 (2,336)

(注) ()内は姫路市の数値

・自動火災報知設備の主な誤作動原因

区 分	出 動 件 数	出 動 台 数	出 動 人 員
いたずらによるもの	10 (10)	22 (22)	93 (93)
誤 操 作 によるもの	11 (11)	41 (41)	144 (144)
調理による熱または煙	12 (11)	69 (68)	248 (245)
機 能 不 良 (劣 化)	7 (7)	17 (17)	66 (66)

27 兵庫県消防防災航空隊災害出動状況

兵庫県消防防災航空隊は、平成16年4月から兵庫県保有1機、神戸市保有2機の一体的運用により、県下一円の災害に対応できるよう常時2機の稼働体制を確保しています。

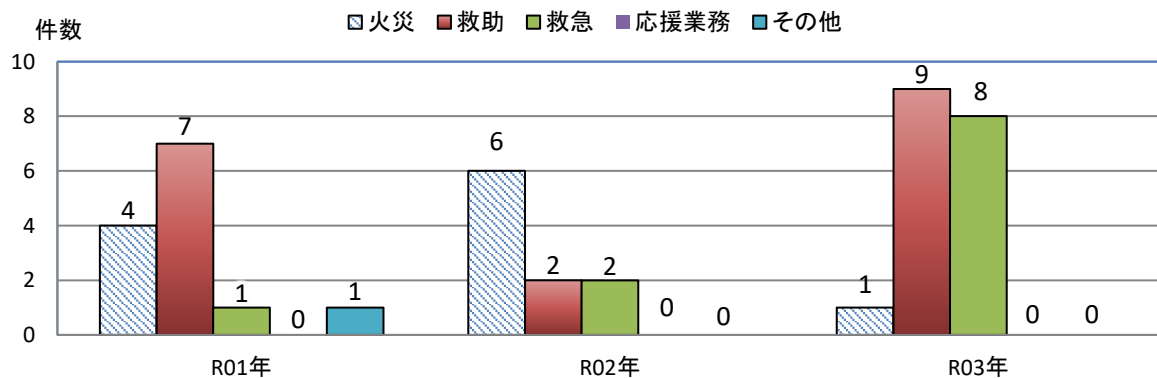
医師等が搭乗する医療スタッフ同乗型救急ヘリコプターについては、兵庫県災害医療センター、神戸大学付属病院と連携し実施しています。

神戸空港を起点に兵庫県全土を対象に活動しています。

令和元年	火 災	救 助	救 急	応援業務	その他
姫路市 (9 件)	2	5	1	－	1
市川町 (3 件)	1	2	－	－	－
福崎町 (1 件)	1	－	－	－	－
神河町 (－ 件)	－	－	－	－	－
合計 (13 件)	4	7	1	－	1
航空隊出動 総数(166件)	22	56	82	6	－

令和2年	火 災	救 助	救 急	応援業務	その他
姫路市 (7 件)	6	1	－	－	－
市川町 (2 件)	－	1	1	－	－
福崎町 (1 件)	－	－	1	－	－
神河町 (－ 件)	－	－	－	－	－
合計 (10 件)	6	2	2	－	－
航空隊出動 総数(142件)	26	32	81	3	－

令和3年	火 災	救 助	救 急	応援業務	その他
姫路市 (17 件)	1	8	8	－	－
市川町 (－ 件)	－	－	－	－	－
福崎町 (－ 件)	－	－	－	－	－
神河町 (1 件)	－	1	－	－	－
合計 (18 件)	1	9	8	－	－
航空隊出動 総数(154件)	16	47	91	－	－



28 自治体消防発足以後の火災概要

年次	火災件数		死傷者		り災		焼損面積		損害額 (百万円)	主な出火原因				
										●は原因別第1位				
	建物		死者	負傷者	世帯	人員	建物㎡	林野a		たき火 焼却火	たばこ	こんろ	火遊び	放火 (疑含む)
昭和24	95	91	1	11	0	0	8,263	158	72	● 9	3	2	6	5
25	95	79	1	6	0	0	5,118	49	21	● 9	8	● 9	4	6
26	106	73	1	7	0	0	4,778	850	36	11	● 14	2	3	4
27	139	92	3	28	0	0	5,091	273	37	● 9	8	6	7	6
28	151	108	0	7	0	0	3,125	198	27	7	● 17	8	8	5
29	133	94	1	15	0	0	6,138	225	68	10	● 14	8	6	7
30	159	112	1	18	0	0	4,656	838	47	● 18	15	9	5	13
31	192	143	3	28	0	0	3,963	1,090	55	● 18	15	16	12	9
32	205	137	4	28	0	0	4,959	1,119	47	12	● 35	7	12	16
33	188	130	1	12	0	0	7,658	4,273	73	18	● 25	19	9	17
34	179	130	3	22	0	0	4,040	265	58	● 19	18	10	7	13
35	224	157	3	32	0	0	13,823	3,314	293	● 31	28	12	9	13
36	254	162	6	31	126	536	7,919	2,595	125	● 35	24	9	14	12
37	291	202	2	35	143	716	7,954	6,602	96	22	● 37	5	22	9
38	299	202	3	34	137	629	12,375	3,644	327	36	● 44	22	9	6
39	312	207	0	17	157	728	5,743	1,553	171	26	● 39	16	32	16
40	292	190	5	22	160	673	11,141	1,703	364	24	● 59	11	21	14
41	263	181	4	30	169	566	10,537	1,503	181	24	● 39	17	19	15
42	292	167	4	38	140	571	5,688	3,809	117	36	● 41	11	19	7
43	293	202	8	35	146	535	8,486	2,296	299	22	● 45	18	26	8
44	289	194	7	40	200	728	11,541	1,257	279	27	● 45	22	36	11
45	345	217	5	51	200	713	16,651	3,406	416	43	● 51	22	35	25
46	360	226	12	37	192	659	19,743	6,238	593	34	53	21	● 62	14
47	316	220	6	30	183	596	8,004	5,341	401	27	● 55	27	45	17
48	393	221	1	35	192	728	11,546	4,551	341	56	48	37	● 65	16
49	320	177	13	34	162	713	6,069	4,645	369	41	● 61	23	41	14
50	343	217	8	31	184	665	12,096	2,050	825	48	● 63	32	38	16
51	273	191	5	103	174	640	9,863	3,150	817	27	● 49	26	20	19
52	227	150	6	27	120	444	6,677	578	547	14	● 46	23	23	16
53	279	168	2	36	114	397	6,524	1,708	501	36	● 55	20	38	21
54	278	194	10	31	191	680	6,228	1,277	377	29	● 50	31	43	29
55	261	171	8	44	173	550	6,865	1,722	625	33	● 44	31	42	23
56	281	204	6	32	198	641	8,975	408	652	23	● 55	41	39	26
57	272	186	5	28	164	568	12,447	543	1,101	26	● 50	32	46	38
58	328	219	6	33	158	526	10,022	812	907	38	37	36	35	● 56
59	293	159	15	23	143	484	4,287	1,485	279	● 56	45	25	33	41
60	357	211	7	38	183	630	7,852	296	475	49	57	45	38	● 76
61	328	204	10	36	184	602	7,199	3,265	658	37	51	49	28	● 64
62	293	193	11	38	172	576	9,222	2,343	791	29	45	40	45	● 64
63	299	194	23	31	159	483	5,573	958	474	32	49	44	28	● 60

										は最高記録		●は原因別第1位				
年次	火災件数		死傷者		り災		焼損面積		損害額 (百万円)	主な出火原因						
	建物		死者	負傷者	世帯	人員	建物㎡	林野a		たき火 焼却火	たばこ	こんろ	火遊び	放火 (疑含む)		
平成元	255	164	7	30	114	388	5,124	311	447	28	33	38	24	● 51		
2	301	183	5	46	201	632	6,261	328	688	37	37	56	14	● 58		
3	336	210	6	42	188	539	4,706	4,290	519	31	52	49	29	● 69		
4	282	173	8	24	139	441	3,963	72	417	30	46	38	27	● 52		
5	268	168	10	28	158	495	6,722	103	649	21	34	33	25	● 53		
6	352	176	14	23	154	510	9,733	136	2,699	66	56	35	28	● 77		
7	296	170	7	31	164	512	5,156	1,576	571	40	43	35	20	● 73		
8	309	163	14	33	154	424	7,983	4,823	688	46	48	28	25	● 69		
9	285	164	3	31	142	420	11,700	2,618	965	38	35	21	23	● 101		
10	261	154	8	34	137	404	4,681	41	546	17	29	36	17	● 89		
11	261	160	14	28	131	373	6,301	75	808	16	33	43	20	● 62		
12	334	171	3	55	125	369	5,192	5,410	742	27	38	33	25	● 83		
13	302	156	8	37	132	362	4,560	129	329	29	34	26	12	● 90		
14	366	183	8	36	189	494	9,102	135	799	38	50	27	13	● 128		
15	317	173	4	42	104	264	6,787	27	475	17	31	27	16	● 128		
16	294	150	7	22	100	295	4,496	312	511	22	27	23	16	● 83		
17	293	147	10	52	133	379	7,018	61	538	29	41	35	13	● 89		
18	261	169	15	48	157	417	6,255	739	731	14	29	32	13	● 66		
19	290	159	12	47	133	328	5,835	999	637	33	42	26	14	● 67		
20	254	133	12	26	91	211	6,876	88	631	27	30	16	21	● 48		
21	297	146	6	33	124	274	6,886	59	616	37	39	18	14	● 101		
22	281	159	9	41	127	351	4,462	66	1,060	35	31	26	9	● 74		
23	302	150	2	25	97	233	4,662	6,361	313	34	34	29	24	● 84		
24	259	143	16	72	124	295	9,108	14	941	28	23	21	9	● 72		
25	235	103	10	21	63	161	5,996	873	343	● 43	20	12	8	42		
26	196	94	8	38	78	200	6,066	15	607	● 31	25	13	6	24		
27	193	95	7	25	70	186	4,697	381	315	29	19	13	12	● 37		
28	138	83	3	18	77	155	4,116	16	305	● 20	● 20	10	5	16		
29	187	83	3	24	53	123	2,330	249	294	● 47	29	10	3	21		
30	180	86	10	31	62	119	2,810	46	308	● 39	17	7	3	28		
令和元	176	96	5	29	57	138	2,548	43	142	● 42	18	10	4	27		
2	197	101	8	38	111	195	6,779	3,443	493	● 31	21	11	4	27		
3	164	98	7	25	76	174	3,923	11	256	22	17	14	1	● 30		

このページは空白です。

【救 急】

1 救急出場件数

(令和3年中)

区 分	姫路市消防局				全国構成比	姫路市		
	出場件数	前年件数	前年比	構成比		出場件数	前年件数	前年比
火 災	225	256	▲ 31	0.8	0.4	206	224	▲ 18
自然災害	1	5	▲ 4	0.0	0.0	—	5	▲ 5
水 難	19	15	4	0.1	0.1	19	15	4
交通事故	2,024	2,037	▲ 13	7.6	6.2	1,907	1,917	▲ 10
労働災害	280	281	▲ 1	1.1	0.9	255	262	▲ 7
運動競技	111	113	▲ 2	0.4	0.4	96	104	▲ 8
一般負傷	4,146	4,177	▲ 31	15.6	16.0	3,827	3,900	▲ 73
加 害	121	129	▲ 8	0.5	0.5	118	127	▲ 9
自損行為	273	232	41	1.0	0.9	258	220	38
急 病	16,680	16,531	149	62.8	64.9	15,540	15,471	69
転院搬送	2,596	2,620	▲ 24	9.8	8.3	2,430	2,441	▲ 11
その他	91	80	11	0.3	1.5	86	75	11
合 計	26,567	26,476	91	100.0	100	24,742	24,761	▲ 19

※全国構成比は、令和3年版消防白書（令和2年中統計）に基づいています。

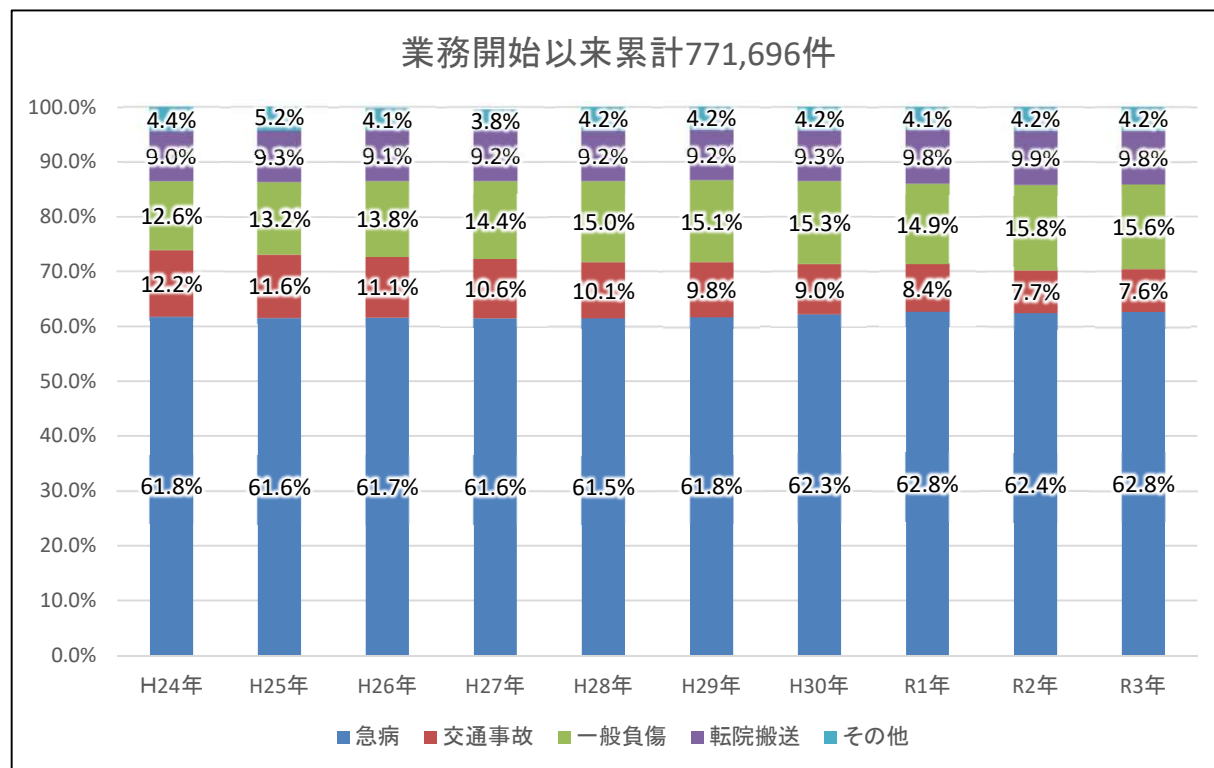
区 分 (受託町等)	市川町			福崎町			神河町			管轄外		
	出場件数	昨年件数	前年比	出場件数	前年件数	前年比	出場件数	前年件数	前年比	出場件数	前年件数	前年比
火 災	9	15	▲ 6	6	10	▲ 4	4	6	▲ 2	0	1	▲ 1
自然災害	—	—	—	—	—	—	1	0	1	—	—	—
水 難	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
交通事故	28	28	0	62	65	▲ 3	22	22	0	5	5	0
労働災害	7	7	0	11	8	3	7	4	3	—	—	—
運動競技	4	3	1	8	4	4	3	2	1	—	—	—
一般負傷	88	92	▲ 4	126	104	22	103	80	23	2	1	1
加 害	1	1	0	1	1	0	1	0	1	—	—	—
自損行為	7	7	0	6	3	3	2	2	0	—	—	—
急 病	354	325	29	468	462	6	315	272	43	3	1	2
転院搬送	8	12	▲ 4	95	95	0	63	72	▲ 9	—	—	—
その他	2	0	2	3	5	▲ 2	—	—	—	—	—	—
合 計	508	490	18	786	757	29	521	460	61	10	8	2

2 救急出場件数の推移

年次	件数	年次	件数	年次	件数	年次	件数
昭和33年	81	昭和49年	6,021	平成2年	9,779	平成18年	19,340
34年	91	50年	6,415	3年	10,006	19年	22,679
35年	257	51年	6,407	4年	10,010	20年	21,993
36年	494	52年	6,317	5年	10,492	21年	22,827
37年	698	53年	6,638	6年	10,761	22年	24,291
38年	1,114	54年	6,765	7年	12,063	23年	26,046
39年	1,817	55年	7,280	8年	12,321	24年	26,892
40年	2,214	56年	7,404	9年	12,813	25年	27,177
41年	2,837	57年	7,869	10年	13,331	26年	27,117
42年	3,062	58年	8,312	11年	14,144	27年	27,142
43年	3,181	59年	8,492	12年	15,428	28年	27,144
44年	3,972	60年	8,659	13年	16,195	29年	28,512
45年	4,918	61年	8,445	14年	16,955	30年	29,137
46年	5,499	62年	8,495	15年	17,739	令和元年	28,987
47年	6,172	63年	9,049	16年	18,802	2年	26,476
48年	6,412	平成元年	9,660	17年	19,671	3年	26,567

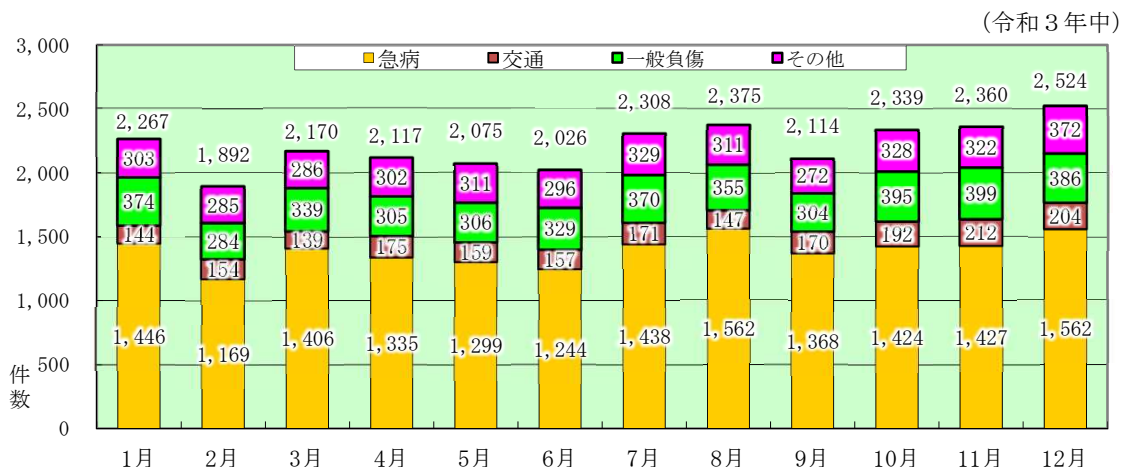
※昭和38年：法制化、平成19年：事務受託開始

3 事故種別救急出場件数構成比の推移



小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

4 月別出場件数



5 曜日別出場件数

1日平均では、月曜日と金曜日が多くなっています。

(令和3年中)

曜 日	合 計	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
件 数	26,567 (24,742)	3,619 (3,365)	3,982 (3,741)	3,796 (3,515)	3,637 (3,378)	3,740 (3,489)	4,032 (3,743)	3,761 (3,511)
1日平均	72.8 (67.8)	69.6 (64.7)	76.6 (71.9)	73.0 (67.6)	69.9 (65.0)	71.9 (67.1)	76.1 (70.6)	72.3 (67.5)
比 率 (%)	100.0	13.6	15.0	14.3	13.7	14.1	15.2	14.2
日 数	365	52	52	52	52	52	53	52

(参考) 1日最高件数は、12月31日(金)に104件を記録しています。

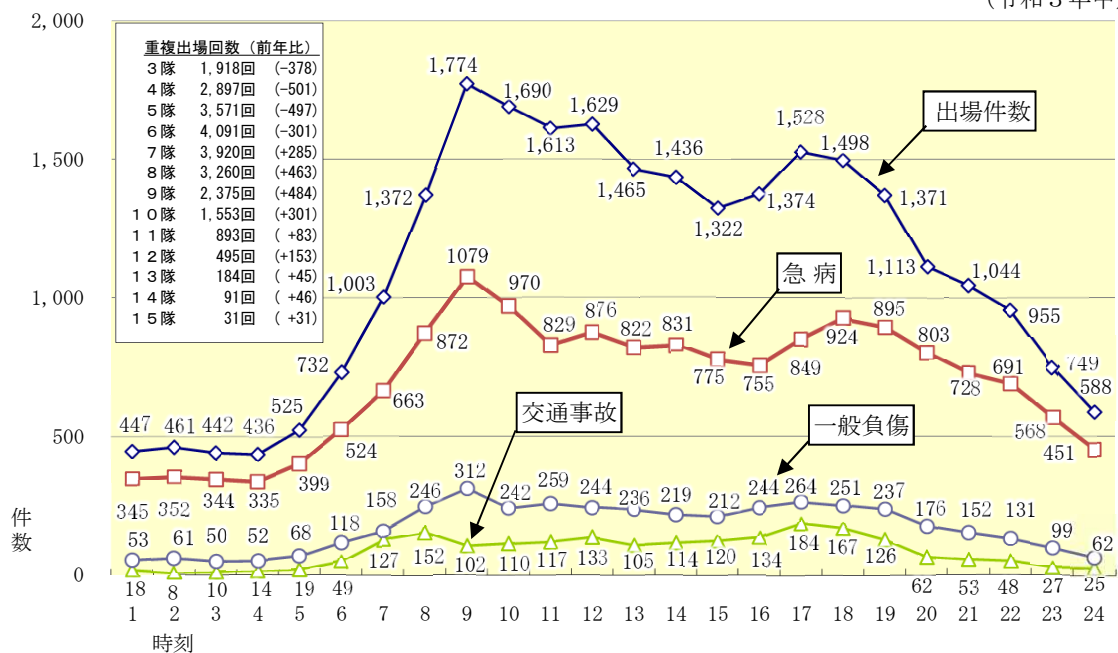
過去最多出場は、平成30年7月23日(月)・令和元年8月12日(月)の126件です。

()内は姫路市の数値です。

6 時間別出場件数

時間別出場件数のピークは、9時台となっています。

(令和3年中)



7 小学校区別出場状況

(令和3年中)

校区	区分	令和3年	令和2年	増減数
合 計		26,567	26,476	91
姫路東消防署	小 計	6,836	7,010	▲174
	白 鷺	1,183	1,322	▲139
	野 里	419	364	55
	城 東	437	406	31
	東	459	480	▲21
	花 田	414	481	▲67
	城 北	279	339	▲60
	広 峰	384	381	3
	水 上	354	349	5
	砥 堀	384	423	▲39
	城 乾	216	176	40
	増 位	346	327	19
	四 郷	362	370	▲8
	御 国 野	383	365	18
	別 所	327	297	30
	谷 外	233	218	15
	谷 内	92	110	▲18
	豊 富	322	341	▲19
	山 田	89	100	▲11
	船 津	153	161	▲8
姫路西消防署	小 計	7,175	7,192	▲17
	城 陽	897	810	87
	手 柄	670	662	8
	船 場	551	596	▲45
	荒 川	832	790	42
	高 岡	813	848	▲35
	安 室	397	359	38
	城 西	326	368	▲42
	安 室 東	371	365	6
	高 岡 西	455	517	▲62
	曾 左	449	449	-
	白 鳥	373	404	▲31
	太 市	82	82	-
	林 田	153	158	▲5
	伊 勢	40	52	▲12
	峰 相	136	169	▲33
	青 山	417	385	32
	安 富 南	187	164	23
	安 富 北	26	14	12
飾磨消防署	小 計	6,515	6,283	232
	飾 磨	1,060	1,049	11
	津 田	480	508	▲28
	英 賀 保	781	744	37
	高 浜	591	578	13
	妻 鹿	184	179	5
	広 畑	392	396	▲4
	広畑第二	407	392	15
	八 幡	674	574	100

校区	区分	令和3年	令和2年	増減数
飾磨消防署	白 浜	639	641	▲2
	八 木	84	91	▲7
	糸 引	390	310	80
	的 形	209	206	3
	大 塩	293	279	14
	家 島	224	235	▲11
網干消防署	坊 勢	107	101	6
	小 計	2,791	2,757	34
	大 津	474	463	11
	大 津 茂	170	158	12
	南 大 津	258	298	▲40
	網 干	454	428	26
中播磨消防署	旭 陽	445	456	▲11
	勝 原	528	518	10
	余 部	189	171	18
	網 干 西	273	265	8
	小 計	3,240	3,226	14
	置 塩	156	145	11
管 外 ※	古 知	97	81	16
	前 之 庄	252	267	▲15
	苅 野	47	54	▲7
	上 菅	66	92	▲26
	菅 生	128	155	▲27
	香 呂	365	397	▲32
	香 呂 南	81	92	▲11
	中 寺	233	236	▲3
	福 崎	352	339	13
	高 岡	46	48	▲2
	田 原	325	291	34
	八 千 種	63	79	▲16
	川 辺	135	162	▲27
	甘 地	126	103	23
	瀬 加	92	75	17
	鶴 居	155	150	5
	神 崎	351	308	43
	寺 前	134	121	13
	長 谷	36	31	5
管 外 ※		10	8	2

※管外とは、近隣市町への出場です。

8 隊別活動状況

署・隊別 区 分		令和3年	令和2年	前年比	消防局 本部 直轄	姫路東消防署				姫路西消防署				飾磨消防署				網干署	中 播 消 防 署			
		出 場 件 数 (件)	比 率 (%)	前年出場件数 (件)	前 年 比 (件)	姫路東	御国野	豊富	増位	姫路西	飾西	林田	飾磨	白浜	広畑	家島	坊勢	網干	中播	香寺	夢前	北部
出場状況	出 場 件 数 (件)	26,567	26,476	91	2,560	2,655	1,810	844	1,746	2,830	1,838	496	2,097	1,613	2,401	219	112	2,051	1,072	954	554	715
	比 率 (%)	100.0	—	—	9.6	10.0	6.8	3.2	6.6	10.7	6.9	1.9	7.9	6.1	9.0	0.8	0.4	7.7	4.0	3.6	2.1	2.7
	前年出場件数 (件)	26,476	—	—	2,500	2,727	1,809	955	1,693	2,823	1,910	498	2,039	1,534	2,280	233	103	2,142	1,043	985	556	646
	前 年 比 (件)	91	—	—	60	▲72	1	▲111	53	7	▲72	▲2	58	79	121	▲14	9	▲91	29	▲31	▲2	69
搬 送 人 員 (人)		22,249	22,561	▲312	2,032	2,031	1,468	746	1,429	2,389	1,598	428	1,798	1,304	2,073	198	95	1,739	970	791	513	647
不 搬 送 件 数 (件)		4,444	4,031	413	536	632	349	103	325	449	250	73	317	317	341	25	17	323	106	165	45	77
1 日 平 均 (件)		72.8	72.3	0.5	7.0	7.3	5.0	2.3	4.8	7.8	5.0	1.4	5.8	4.4	6.6	0.6	0.3	5.6	2.9	2.6	1.5	2.0
1 日 最 高 (件)		104	117	▲13	14	13	11	8	12	14	11	5	12	10	13	4	2	13	7	8	5	10
急 病 の 割 合 (%)		62.8	62.4	0.3	62.4	63.6	62.6	59.5	67.4	53.9	66.2	59.7	60.0	67.3	63.6	56.6	58.9	66.5	60.6	66.3	65.9	66.2
交 通 事 故 の 割 合 (%)		7.6	7.7	▲0.1	8.7	8.2	8.7	6.5	7.2	7.0	7.1	8.9	8.5	7.2	8.8	2.3	1.8	7.6	6.3	6.2	6.5	5.7
一 般 負 傷 の 割 合 (%)		15.6	15.8	▲0.2	14.6	16.5	16.0	14.3	16.0	14.0	14.7	15.7	16.6	14.8	15.7	11.0	22.3	16.8	18.3	14.4	15.5	17.5
転 院 搬 送 の 割 合 (%)		9.8	9.9	▲0.1	9.9	8.1	7.5	15.3	6.9	21.9	8.5	10.7	8.3	5.6	8.0	24.7	14.3	5.3	9.5	8.2	8.3	7.3
常置場所以外からの出場件数 (件)		2,024	2,143	▲119	176	282	157	141	175	191	118	42	168	89	127	8	3	118	60	97	39	33
連 続 出 場 (件)		1,505	1,491	14	170	242	103	33	143	160	97	18	156	74	104	6	1	110	30	27	13	18
ドクタートーカー連携 (件)		341	254	87	26	42	41	20	39	35	23	8	22	18	17	—	—	7	15	15	8	5
ドクタートーカーへリ連携 (件)		86	89	▲3	4	5	2	2	2	2	—	6	1	—	3	4	7	—	19	9	9	11
1 件 当たりの 所要時間	受付～指令	1'48"	1'44"	0'04"	1'46"	1'48"	1'45"	1'40"	1'42"	1'53"	1'40"	1'38"	1'51"	1'43"	2'17"	1'52"	1'47"	1'41"	1'46"	1'39"	1'32"	1'33"
	指令～現場	7'30"	7'09"	0'21"	7'18"	7'09"	7'17"	7'48"	6'56"	6'42"	7'22"	9'27"	7'13"	7'27"	7'15"	6'31"	7'54"	7'16"	9'39"	7'58"	9'21"	10'26"
	現 場	21'28"	20'03"	1'25"	19'49"	22'31"	23'23"	22'10"	22'43"	20'04"	21'44"	21'59"	21'47"	22'48"	22'27"	14'19"	21'22"	23'22"	18'45"	19'17"	18'43"	19'02"
	現場～病院	11'48"	11'12"	0'36"	10'09"	10'31"	11'17"	15'18"	11'45"	9'49"	11'08"	17'39"	9'32"	11'54"	8'14"	4'45"	7'19"	10'04"	19'54"	15'41"	21'02"	24'22"
	病 院	13'57"	12'49"	1'08"	14'00"	14'50"	13'55"	14'27"	15'27"	12'46"	13'51"	13'05"	14'47"	14'40"	13'36"	9'02"	11'02"	13'45"	12'30"	15'08"	12'43"	13'47"
	現着～病着	33'17"	31'14"	2'03"	29'57"	33'02"	34'40"	37'28"	34'28"	29'53"	32'52"	39'37"	31'19"	34'42"	30'41"	19'04"	28'41"	33'26"	38'39"	34'58"	39'45"	43'24"
	指令～帰署	66'21"	62'49"	3'32"	59'25"	63'52"	67'32"	76'54"	68'09"	60'00"	65'00"	82'18"	64'06"	67'27"	60'14"	41'33"	54'51"	65'52"	82'59"	70'02"	85'36"	88'43"
	1 件 当りの 走行距離 (km)	3.5	3.3	0.2	2.9	3.0	3.2	4.2	2.8	3.2	3.6	6.7	3.4	3.4	3.0	1.1	1.5	3.0	5.3	4.1	6.5	6.3
1 件 当りの 走行距離 (km)	出 場 ～ 現 場	8.7	8.2	0.5	6.8	6.7	7.7	11.7	7.1	6.9	8.0	14.9	6.7	8.8	5.7	1.6	2.6	6.8	18.4	13.3	17.2	24.1
	現 場 ～ 病 院	21.0	19.8	1.2	17.1	16.3	18.5	28.3	17.3	16.7	19.3	37.7	16.9	21.7	14.3	4.0	6.6	17.4	41.2	31.5	41.6	51.7
	出 場 ～ 帰 署	29,378	27,722	1,656	2,535	2,826	2,037	1,082	1,983	2,830	1,991	680	2,241	1,813	2,410	152	102	2,252	1,483	1,114	790	1,057
全 所 要 時 間 (時間)																						

9 当市が行った応援出場状況

(令和3年中)

市 町	事故別	件 数	火災	交通事故	一般負傷	急病	その他
高 砂 市		3	—	2	—	1	—
た つ の 市		—	—	—	—	—	—
太 子 町		5	—	3	1	1	—
加 古 川 市		1	—	—	1	—	—
加 西 市		1	—	—	—	1	—
合 計		10	—	5	2	3	—

※「消防業務の相互応援に関する協定」に基づき、近隣市町へ出場しています。

10 当市が受けた応援の状況

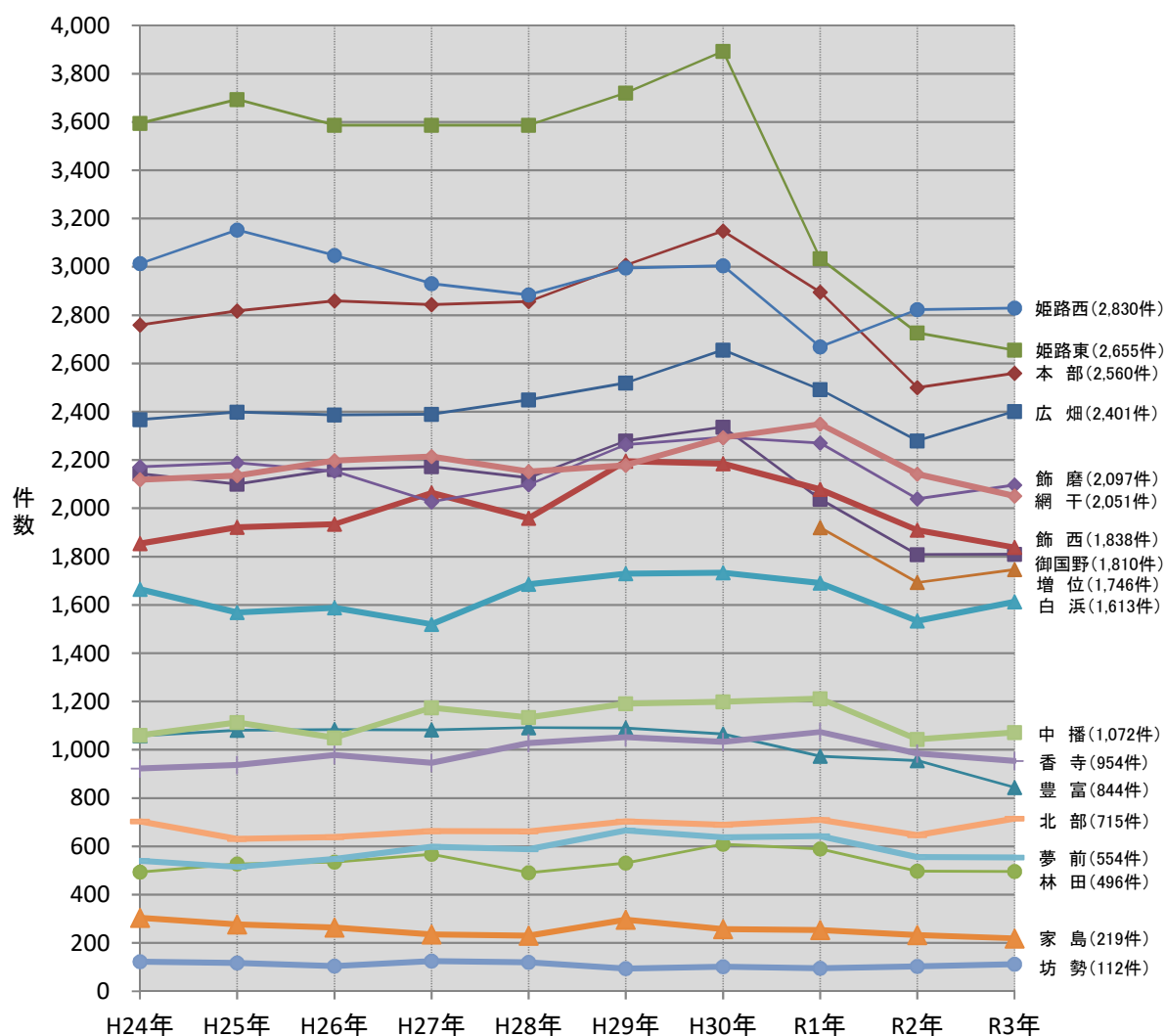
(令和3年中)

消防本部	事故別	件 数	急 病	交 通	一般負傷	水難
高 砂 市		5	3	1	1	—
加 古 川 市		2	1	1	—	—
西 は り ま		1	—	1	—	—
合 計		8	4	3	1	—

11 隊別救急出場の推移

姫路西救急隊が最も多く出場し、年間出場件数2,830件で1日平均7.8件となっております。

年次 区 分		平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
本 部	直 轄	2,759	2,818	2,859	2,844	2,857	3,007	3,149	2,896	2,500	2,560
姫路東	姫路東	3,595	3,693	3,587	3,587	3,587	3,721	3,893	3,034	2,727	2,655
	御国野	2,143	2,100	2,161	2,173	2,126	2,279	2,337	2,038	1,809	1,810
	豊 富	1,058	1,081	1,083	1,082	1,092	1,090	1,065	973	955	844
	増 位	—	—	—	—	—	—	—	1,920	1,693	1,746
姫路西	姫路西	3,013	3,153	3,047	2,930	2,884	2,996	3,005	2,669	2,823	2,830
	飾 西	1,854	1,922	1,934	2,064	1,959	2,195	2,185	2,079	1,910	1,838
	林 田	493	527	535	568	491	531	609	590	498	496
飾 磨	飾 磨	2,172	2,189	2,154	2,027	2,098	2,264	2,294	2,270	2,039	2,097
	白 浜	1,665	1,569	1,588	1,520	1,686	1,730	1,733	1,690	1,534	1,613
	広 畑	2,368	2,399	2,387	2,390	2,449	2,519	2,656	2,492	2,280	2,401
	家 島	304	277	264	235	230	296	257	254	233	219
網 干	坊 勢	122	117	104	125	120	94	102	95	103	112
	網 干	2,119	2,135	2,198	2,215	2,153	2,178	2,293	2,349	2,142	2,051
中 播	中 播	1,060	1,114	1,050	1,174	1,134	1,191	1,199	1,212	1,043	1,072
	香 寺	923	937	979	946	1,028	1,052	1,033	1,074	985	954
	夢 前	540	515	548	599	588	666	638	642	556	554
	北 部	704	631	639	663	662	703	689	710	646	715
合 計		26,892	27,177	27,117	27,142	27,144	28,512	29,137	28,987	26,476	26,567



12 事故別・傷病程度別搬送人員

(令和3年中)

		合 計		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他		前 年 人 数	前 年 比
				災	害	難	故	害	技	傷	害	為	病	転 院 搬 送	そ の 他		
合 計		22,249	(100.0)	22 (0.1)	1 (0.0)	5 (0.0)	1,748 (7.9)	267 (1.2)	105 (0.5)	3,562 (16.0)	74 (0.3)	153 (0.7)	13,733 (61.7)	2,578 (11.6)	1 (0.0)	22,561	▲312
姫 路 市 消 防 局	死 亡	22,249 (100.0)	331	1	-	3	7	2	-	27	-	20	268	3	-	317	14
	重 篤		255	1	-	-	13	3	-	18	-	8	197	15	-	264	▲9
	重 症		887	5	-	-	58	28	1	95	-	9	504	187	-	816	71
	中 等 症		11,392	9	-	2	376	118	30	1,510	18	63	6,999	2,266	1	11,260	132
	軽 症		9,384	6	1	-	1,294	116	74	1,912	56	53	5,765	107	-	9,904	▲520
姫 路 市	死 亡	20,605 (92.6)	297	-	-	3	7	2	-	25	-	18	239	3	-	288	9
	重 篤		230	1	-	-	11	3	-	16	-	7	178	14	-	241	▲11
	重 症		820	5	-	-	53	23	1	87	-	8	464	179	-	748	72
	中 等 症		10,555	8	-	2	352	109	27	1,371	18	63	6,482	2,122	1	10,519	36
	軽 症		8,703	6	-	-	1,217	106	63	1,766	53	48	5,348	96	-	9,225	▲522
	小 計		20,605	20	-	5	1,640	243	91	3,265	71	144	12,711	2,414	1	21,021	▲416
市 川 町	死 亡	458 (2.1)	11	1	-	-	-	-	-	-	-	2	8	-	-	8	3
	重 篤		4	-	-	-	1	-	-	1	-	1	1	-	-	6	▲2
	重 症		15	-	-	-	2	2	-	1	-	-	10	-	-	19	▲4
	中 等 症		233	-	-	-	9	3	1	44	-	-	169	7	-	205	28
	軽 症		195	-	-	-	13	2	3	39	1	1	135	1	-	200	▲5
	小 計		458	1	-	-	25	7	4	85	1	4	323	8	-	438	20
福 崎 町	死 亡	712 (3.2)	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	11	▲3
	重 篤		10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	1	-	9	1
	重 症		28	-	-	-	2	3	-	6	-	1	14	2	-	26	2
	中 等 症		354	1	-	-	6	4	2	51	-	-	207	83	-	296	58
	軽 症		312	-	-	-	49	4	5	61	1	3	181	8	-	338	▲26
	小 計		712	1	-	-	57	11	7	118	1	4	419	94	-	680	32
神 河 町	死 亡	466 (2.1)	15	-	-	-	-	-	-	2	-	-	13	-	-	10	5
	重 篤		9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	8	1
	重 症		24	-	-	-	1	-	-	1	-	-	16	6	-	21	3
	中 等 症		247	-	-	-	8	2	-	44	-	-	139	54	-	238	9
	軽 症		171	-	1	-	13	4	3	46	1	1	100	2	-	140	31
	小 計		466	-	1	-	22	6	3	93	1	1	277	62	-	417	49
管 外	死 亡	8 (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	重 篤		2	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2
	重 症		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	▲2
	中 等 症		3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	2	1
	軽 症		3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2
	小 計		8	-	-	-	4	-	-	1	-	-	3	-	-	5	3

()内の数値は構成比 (%)

重篤：生命の危険が切迫しているもの。
重症：3週間以上の入院加療を要するもの。

中等症：3週間未満の入院加療を要するもの。
軽症：入院加療を必要としないもの。

13 年齢別・事故別搬送人員

年齢別搬送人員は、高齢者が過半数を占めています。

(令和3年中)

年齢 事故別	合計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
急病	13,733 (61.7)	5 (0.0)	589 (2.6)	335 (1.5)	4,180 (18.8)	8,624 (38.8)
交通	1,748 (7.9)	- (-)	55 (0.2)	183 (0.8)	1,002 (4.5)	508 (2.3)
一般	3,562 (16.0)	2 (0.0)	320 (1.4)	136 (0.6)	607 (2.7)	2,497 (11.2)
その他	3,206 (14.4)	13 (0.1)	51 (0.2)	122 (0.5)	1,140 (5.1)	1,880 (8.4)
合計	22,249 (100.0)	20 (0.1)	1,015 (4.6)	776 (3.5)	6,929 (31.1)	13,509 (60.7)

[年齢区分]

()内の数値は構成比(%)

新生児:生後28日未満の者 乳幼児:生後28日以上満7歳 少年:満7歳以上満18歳未満の者

成人:満18歳以上満65歳未満の 高齢者:満65歳以上の者

14 年齢別・傷病程度別搬送人員

(令和3年中)

年齢 程度別	合計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
死亡	331 (1.5)	- (-)	1 (0.0)	1 (0.0)	53 (0.2)	276 (1.2)
重篤	255 (1.1)	- (-)	4 (0.0)	1 (0.0)	58 (0.3)	192 (0.9)
重症	887 (4.0)	- (-)	8 (0.0)	8 (0.0)	251 (1.1)	620 (2.8)
中等症	11,392 (51.2)	15 (0.1)	171 (0.8)	183 (0.8)	2,780 (12.5)	8,243 (37.0)
軽症	9,384 (42.2)	5 (0.0)	831 (3.7)	583 (2.6)	3,787 (17.0)	4,178 (18.8)
合計	22,249 (100.0)	20 (0.1)	1,015 (4.6)	776 (3.5)	6,929 (31.1)	13,509 (60.7)

[年齢区分]

()内の数値は構成比(%)

新生児:生後28日未満の者 乳幼児:生後28日以上満7歳 少年:満7歳以上満18歳未満の者

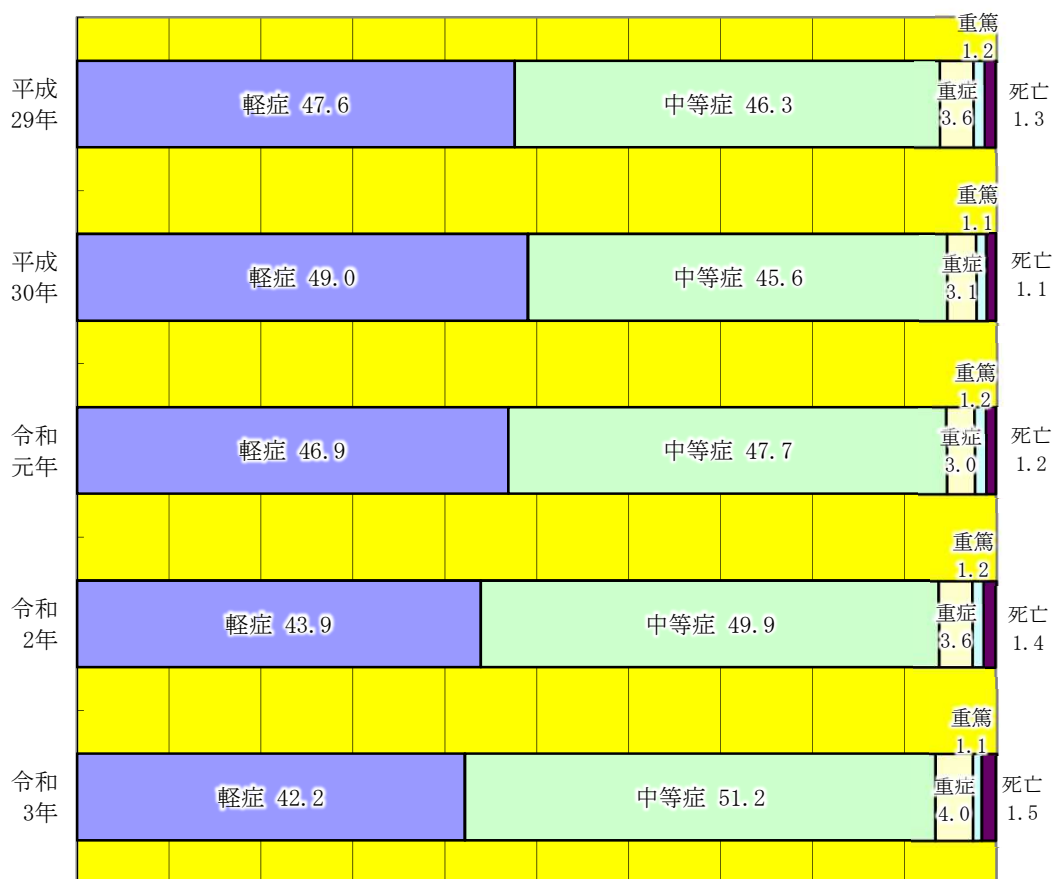
成人:満18歳以上満65歳未満の 高齢者:満65歳以上の者

15 管轄外への救急搬送

	令和2年	令和3年
加西市	276 (42)	269 (47)
高砂市	537 (19)	461 (18)
加古川市	284 (103)	354 (112)
たつの市	318 (20)	360 (18)
宍粟市	70 (21)	96 (26)
神戸市	71 (42)	86 (38)
明石市	26 (3)	36 (5)
相生市	11 (4)	14 (3)
赤穂市	11 (5)	15 (4)
太子町	14 (2)	15 (2)
県外	8 (5)	12 (6)
その他	81 (35)	86 (31)
合 計	1,707 (301)	1,804 (310)

()内: 転院搬送の搬送者数

16 傷病程度構成比の推移



17 急病件数の推移

区 分	年 次	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
急 病 件 数		17,624 (1,187)	18,155 (1,214)	18,199 (1,245)	16,531 (1,059)	16,680 (1,137)
全 件 数		28,512 (1,911)	29,137 (1,900)	28,987 (1,978)	26,476 (1,707)	26,567 (1,815)
全件数に占める割合(%)		61.8 (62.1)	62.3 (63.9)	62.8 (62.9)	62.4 (62.0)	62.8 (62.6)
搬 送 人 員		15,015 (1,051)	15,363 (1,094)	15,561 (1,127)	13,853 (932)	13,733 (1,019)

※ ()内の数値は受託町

18 科目別傷病程度と傷病名(急病)

科目別	区分	令和3年	令和2年	前年比	傷 病 程 度					傷 病 名		
					死亡	重篤	重症	中等症	軽症	1 位	2 位	3 位
合 計		13,733	13,853	▲120	268	197	504	6,999	5,765	発熱	意識障害・意識消失	腹痛
構成比		100%	-	-	2.0%	1.4%	3.7%	51.0%	42.0%	1,278	938	910
消 化 器 科		2,448	2,537	▲89	2	8	38	1,243	1,157	腹痛 910	悪心・嘔気・嘔吐 405	吐・下血 270
循 環 器 科		1,326	1,293	33	-	12	162	885	267	脳卒中 377	脳梗塞 222	頭痛 186
		4,059	4,243	▲184	265	166	176	1,837	1,615	意識障害・意識消失 938	疲労・脱力感 571	眩暈(めまい) 549
呼吸器科		3,017	2,978	39	-	10	77	1,785	1,145	発熱 1,278	呼吸困難 535	肺炎 282
精神科		284	363	▲79	-	-	2	106	176	癲癇(てんかん) 140	急性アルコール中毒・アルコール精神病 74	他の精神疾患 29
神経科		1,241	1,274	▲33	-	1	11	512	717	腰痛症 260	眩暈(めまい) 212	神経痛 174
泌尿器科		506	464	42	1	-	7	184	314	尿管結石・尿路結石 272	尿閉 67	他の泌尿器疾患 37
産婦人科		112	119	▲7	-	-	1	58	53	月経痛 23	性器不正出血 13	他の妊娠疾患 9
感覚器科		134	121	13	-	-	-	16	118	鼻出血 73	メニエル氏病 23	他の耳鼻疾患 17
内分泌科		164	159	5	-	-	6	105	53	低血糖症 107	糖尿病 25	痛風 8
皮膚科		82	69	13	-	-	1	36	45	蕁麻疹(じんま疹) 28	蜂窩織炎 24	他の皮膚疾患 12
感染症		229	55	174	-	-	17	194	18	指定感染症 203	敗血症 21	水痘(みずぼうそう) 2
その他		131	178	▲47	-	-	6	38	87	熱中症 128	部位不明確の新生物 1	性状不詳又は不明の新生物 1

(注) 循環器科の上段は脳血管、下段は脳血管以外です。

19 受傷部位・傷病程度と傷病名(外傷)

科目別	区分	令和3年	令和2年	前年比	傷 病 程 度					傷 病 名		
					死亡	重篤	重症	中等症	軽症	1 位	2 位	3 位
合 計		6,010	6,116	▲106	46	36	217	2,292	3,419	頭部外傷	大腿骨 骨折(非開放性)	頭部 挫創・裂創等
構成比		100%	-	-	0.8%	0.6%	3.6%	38.1%	56.9%	978	745	463
頭 部 顔 面		2,106 35.0%	2,173	▲67	-	5	39	430	1,632	頭部外傷 978	頭部 挫創・裂創等 463	顔面・耳 挫創・裂創等 309
下 肢		1,581 26.3%	1,518	63	-	1	82	1,021	477	大腿骨 骨折(非開放性) 745	下肢 打撲・圧迫 410	下腿骨 骨折(非開放性) 113
頸 部		218 3.6%	217	1	-	-	4	31	183	頸椎捻挫 159	頸部 打撲・圧迫 39	頸骨 骨折(非開放性) 10
上 肢		795 13.2%	839	▲44	-	-	11	236	548	上肢 打撲・圧迫 220	上肢 挫創・裂創等 107	上肢の切創 80
胸 部		284 4.7%	322	▲38	2	1	12	87	182	胸部 打撲・圧迫 222	鎖骨 骨折(非開放性) 40	気胸・血胸 12
腰 部 臀 部		160 2.7%	153	7	-	1	4	78	77	臀部 打撲・圧迫 116	骨盤 骨折(非開放性) 27	腰椎捻挫 8
背 部		265 4.4%	269	▲4	-	-	2	127	136	背部 打撲・圧迫 260	背部 表在損傷(擦過傷) 2	背部 動物咬傷 2
全 身		37 0.6%	86	▲49	6	6	10	13	2	全身打撲骨折 31	全身重症 熱傷 4	全身軽症 熱傷 1
腹 部		81 1.3%	64	17	-	2	2	32	45	腹部 打撲・圧迫 56	腹腔内臓器損傷(破裂を除く) 12	腹部の刺創 3
体 幹 部		194 3.2%	215	▲21	-	-	26	151	17	体幹部 骨折(非開放性) 155	頸髄損傷 35	腰髄損傷 2
そ の 他		289 4.8%	260	29	38	20	25	86	120	咽・喉頭 異物 55	その他(肋骨等)の非開放性骨折 28	食道・胃 異物 24

20 発生場所別傷病程度(交通事故)

事故の発生場所別搬送人員は、一般道路上が圧倒的に多く、全体の約8割を占めています。

(令和3年中)

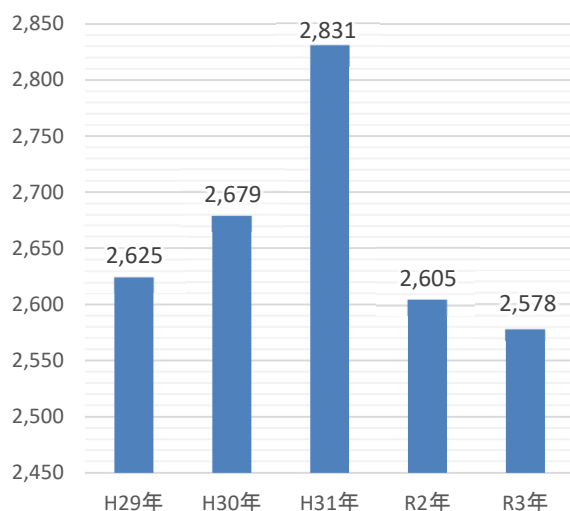
発生場所 区分	合 計	前 年 数	前 年 比	国 道 2 号	国 道 250 号	国 道 312 号	姫 路 バ イ パ ス	播 但 連 絡 道	山 陽 自 動 車 道	中 国 自 動 車 道	国 道 29 号	国 道 372 号	一 般 道 路	そ の 他 の 場 所
搬 送 人 員	1,748	1,808	▲ 60	68	68	59	49	5	11	0	13	12	1,366	97
前 年 数	1,808	-	-	81	56	61	21	11	3	2	14	14	1,434	111
前 年 比	▲ 60	-	-	▲ 13	12	▲ 2	28	▲ 6	8	▲ 2	▲ 1	▲ 2	▲ 68	▲ 14
死 亡	7	4	3	-	1	1	1	-	-	-	-	-	4	-
重 篤	13	6	7	-	2	-	-	-	1	-	-	-	10	-
重 症	58	62	▲ 4	-	1	7	1	-	-	-	-	-	45	4
中 等 症	376	383	▲ 7	18	13	11	7	-	2	-	6	3	293	23
軽 症	1,294	1,353	▲ 59	50	51	40	40	5	8	-	7	9	1014	70

21 発生場所別傷病程度(一般負傷)

(令和3年中)

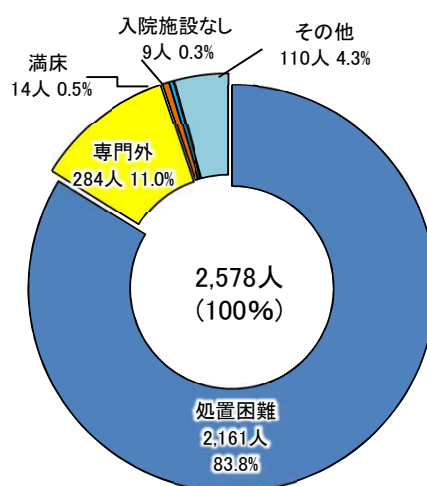
発生場所 区分	合 計	前 年 数	前 年 比	一 般 住 宅	共 同 住 宅	道 路 上	店 舗 ホ テ ル	福 祉 施 設	学 校	駅 ・ 停 留 所 等	仕 事 場	病 院	屋 内 ・ 他 屋 外	そ の 他
搬 送 人 員	3,562	3,639	▲ 77	1,762	420	447	209	290	51	28	23	17	282	33
前 年 数	3,639	-	-	1,761	441	486	225	280	50	21	25	12	294	44
前 年 比	▲ 77	-	-	1	▲ 21	▲ 39	▲ 16	10	1	7	▲ 2	5	▲ 12	▲ 11
死 亡	27	18	9	9	1	-	1	12	-	-	-	-	4	-
重 篤	18	31	▲ 13	11	-	-	1	4	-	1	-	-	1	-
重 症	95	98	▲ 3	49	10	7	3	14	-	-	-	1	9	2
中 等 症	1,510	1,465	45	844	167	141	57	179	10	6	9	5	78	14
軽 症	1,912	2,027	▲ 115	849	242	299	147	81	41	21	14	11	190	17

22 転院搬送人員の推移



23 転院搬送の理由

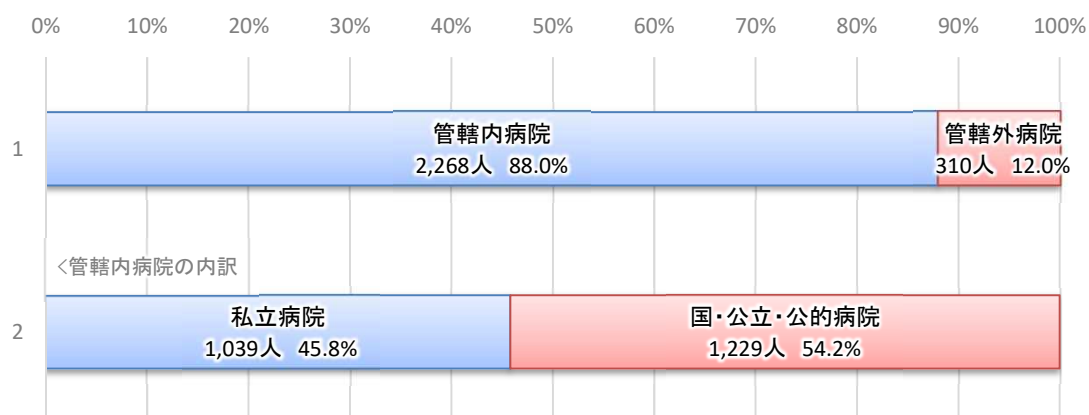
(令和3年中)



24 転院医療機関

転院先の約9割が管轄内病院となっています。（転院人員2,578人）

（令和3年中）



25 隊員の行った応急処置の状況

（令和3年中）

事故種別	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
応急処置割合	99.99%	100.0%	99.9%	99.9%	100.0%
搬送人員	22,249	13,733	1,748	3,562	3,206
対象人員	22,246	13,733	1,747	3,560	3,206

26 応急処置実施状況

(令和3年中)

区 分		合 計	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他
止 血		652	87	129	354	82
固 定		880	18	479	262	121
人 工 呼 吸		145	113	8	9	15
胸 骨 圧 迫		27	21	0	2	4
心 肺 蘇 生		527	433	14	43	37
酸 素 吸 入		3,979	2,762	103	174	940
気 道 確 保		778	628	27	61	62
保 温		1,510	910	86	166	348
被 覆		1,740	102	452	985	201
在 宅 療 法		99	86	—	13	0
除 細 動		50	44	3	—	3
そ の 他		35,191	22,655	2,558	5,449	4,529
特定行為	気 道 確 保	403	341	12	27	23
	薬 剤 投 与	172	137	5	18	12
	輸 液	384	324	11	27	22
	(うち心肺停止前輸液)	(88)	(77)	(6)	(2)	(3)
	血 糖 測 定	247	240	1	3	3
	ブドウ糖 投 与	31	31	—	—	—
合 計		46,815	28,932	3,888	7,593	6,402

※ 実施数(特定行為を除く)は、現場及び車内処置の合計です。
特定行為については、実施対象者数です。

27 救急救命士の特定行為等実施状況の推移

(令和3年中)

区分 年次	特定行為の 指示を受けた 患者	気道確保	輸液	除細動	心肺停止前 輸液	血糖測定	ブドウ糖 投与
平成29年	519	441(41)	427(200)	58	75	330	46
平成30年	511	416(32)	410(176)	58	107	327	42
令和元年	511	420(22)	396(161)	53	92	254	26
令和2年	530	423(18)	405(186)	40	85	212	44
令和3年	511	403(11)	384(172)	50	88	247	31

※気道確保の()内は気管挿管実施数、輸液の()内は薬剤投与実施数です。
※平成28年より救急救命士による心肺停止前輸液、血糖測定、ブドウ糖投与の運用を開始しました。

28 救命率

救急隊が搬送した心肺停止患者531人中、生存者は43人で、うち28人が社会復帰されています。

(令和3年中)

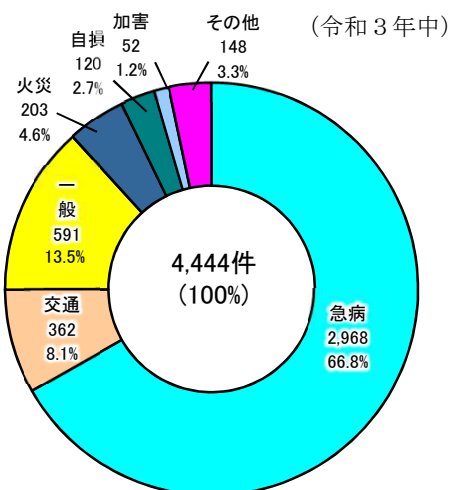
区 分		合計	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院
救急隊による心肺停止患者搬送者数		531	1	—	3	14	3	1	44	—	26	435	4
上記のうち市民による心肺蘇生法実施者数		219	—	—	1	4	3	1	21	—	9	177	3
1日以上7日未満生存		19	—	—	—	—	—	—	2	—	1	14	2
7日以上30日未満生存		15	—	—	—	—	1	—	2	—	—	12	—
30日以上生存		43	—	—	—	—	—	1	5	—	—	37	—
(30日以上生存の内、社会復帰)		(28)	—	—	—	—	—	(1)	(2)	—	—	(25)	—
発 生 場 所	個人住宅	290	1	—	—	—	—	—	20	—	8	261	—
	共同住宅	62	—	—	—	—	—	—	1	—	9	52	—
	福祉施設等	91	—	—	—	—	—	—	15	—	4	72	—
	一般道・高速道	31	—	—	—	14	—	—	—	—	—	17	—
	その他の屋外・屋内	10	—	—	—	—	—	—	1	—	3	6	—
	ホテル・デパート等	13	—	—	—	—	1	—	2	—	—	10	—
	工場・作業場等	7	—	—	—	—	2	—	—	—	—	5	—
	病院・診療所等	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	4
	JR姫路駅・構内	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	デモ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	広場・遊園地・空地等	4	—	—	—	—	—	—	1	—	1	2	—
	山・川・池・海等	9	—	—	3	—	—	—	3	—	1	2	—
	その他の	8	—	—	—	—	—	1	1	—	—	6	—
年 齢	3歳未満	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—
	4～6歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7～15歳	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	16～19歳	3	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—
	20～29歳	6	—	—	—	—	—	—	1	—	3	2	—
	30～39歳	9	—	—	—	—	—	—	—	—	3	6	—
	40～49歳	20	—	—	—	1	2	—	—	—	1	16	—
	50～59歳	33	—	—	—	1	—	1	2	—	6	23	—
	60～69歳	58	—	—	—	4	1	—	8	—	1	44	—
	70～79歳	120	—	—	2	3	—	—	8	—	3	104	—
	80～89歳	188	1	—	1	5	—	—	16	—	1	161	3
	90歳以上	88	—	—	—	—	—	—	9	—	5	73	1

※市民処置は、傷病者の側にいた人が心肺蘇生法、または胸骨圧迫を実施した数です。

※生存者は、30日以上生存されている方です。

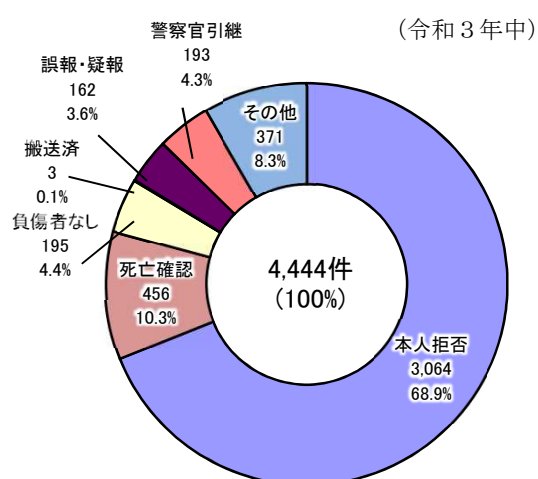
29 不搬送状況

出場件数26,567件に対する不搬送件数は4,444件(16.7%)です。



30 不搬送理由

不搬送理由のうち本人拒否については、慎重な観察を行う必要があります。



31 市民処置状況

(令和3年中)

※救命率向上のためには、救急隊が現場到着するまでの間に付近の人が行う応急手当が最も重要です。

実施者区分 応急処置区分	合 計	本人 ・ 家族	医療 従事 者	知人 ・ 同僚	職員 ・ 団員	教職員	警察官	実施 者 不明	その他	加害者
C P R	17	3	11	1	—	—	—	—	2	—
胸 骨 圧 迫	235	120	35	15	3	—	6	2	54	—
人 工 呼 吸	3	1	—	1	—	—	—	—	1	—
気 道 確 保	17	6	2	2	—	—	—	—	7	—
創傷・緊縛処置	74	41	3	16	1	3	—	—	10	—
移動体位管理	45	22	6	5	1	2	—	—	9	—
除 細 動	7	1	2	—	—	—	—	—	4	—
固 定 処 置	2	1	—	1	—	—	—	—	—	—
保 温	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	26	14	4	1	—	1	1	—	5	—
合 計	427	210	63	42	5	6	7	2	92	—

【救 助】

1 救助出動・活動状況

令和3年中における姫路市消防局の救助出動件数は、529件で前年より17件増加となり、活動件数は280件で12件減少となっています。

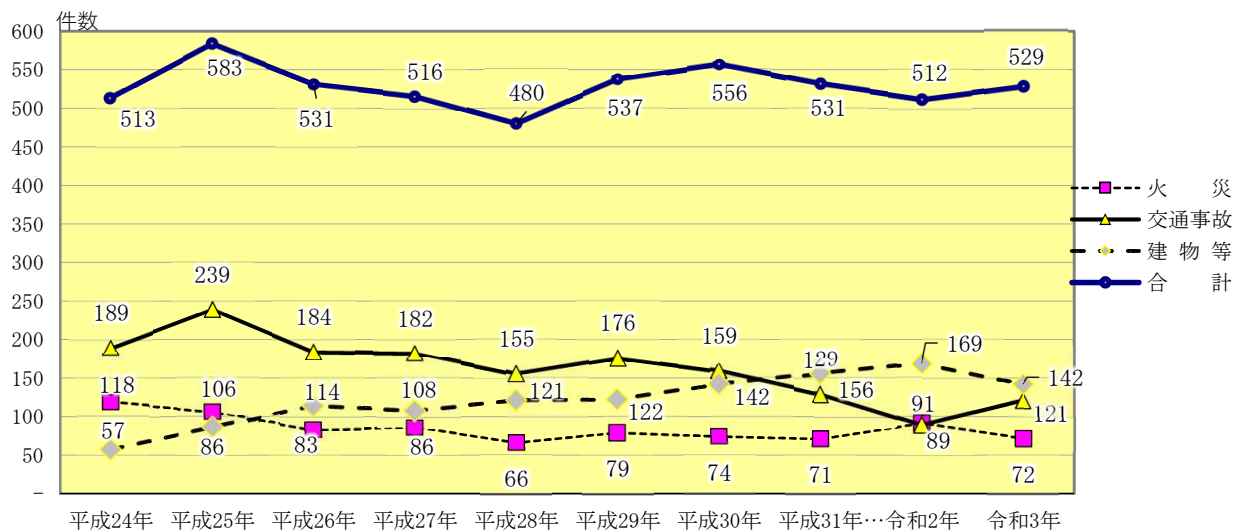
区 分		合 計	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
総 数	出動件数	529	72	121	16	－	3	142	2	173
	前年出動件数	512	91	89	18	－	7	169	2	136
	前年比	17	▲19	32	▲2	－	▲4	▲27	－	37
	構 成 比 (%)	100.0	13.6	22.9	3.0	－	0.6	26.8	0.4	32.7
	活動件数	280	13	62	13	－	1	133	2	56
	前年活動件数	292	18	54	17	－	6	160	1	36
	前年比	▲12	▲5	8	▲4	－	▲5	▲27	1	20
	活 動 率 (%)	52.9	18.1	51.2	81.3	－	33.3	93.7	100.0	32.4
	救助人員	215	11	66	13	－	1	75	－	49
	前年救助人員	209	9	60	16	－	8	88	1	27
	前年比	6	2	6	▲3	－	▲7	▲13	▲1	22
	1件当たりの人員	1	1	1	1	－	1	1	－	1
	活動人員	2,948	114	642	222	－	11	1235	16	708
	前年活動人員	3,017	138	526	244	－	74	1521	14	500
	前年比	▲69	▲24	116	▲22	－	▲63	▲286	2	208
	1件当たりの人員	11	9	10	17	－	11	9	8	13
姫 路 市	出動件数	489	64	108	16	－	2	135	1	163
	前年比	23	▲12	29	▲1	－	▲5	▲27	▲1	40
	構 成 比 (%)	100.0	13.1	22.1	3.3	－	0.4	27.6	0.2	33.3
	活動件数	257	11	54	13	－	1	126	1	51
	前年比	▲13	▲4	5	▲3	－	▲5	▲27	－	21
	活 動 率 (%)	52.6	17.2	50.0	81.3	－	50.0	93.3	100.0	31.3
	救助人員	196	10	58	13	－	1	71	－	43
	前年比	6	4	4	▲2	－	▲7	▲14	▲1	22
市 川 町	1件当たりの人員	1	1	1	1	－	1	1	－	1
	出動件数	14	6	5	－	－	－	1	－	2
	前年比	▲2	－	2	－	－	－	▲2	－	▲2
	活動件数	9	2	5	－	－	－	1	－	1
	前年比	2	1	3	－	－	－	▲2	－	－
福 崎 町	救助人員	7	1	5	－	－	－	－	－	1
	前年比	3	1	3	－	－	－	▲1	－	－
	出動件数	15	2	5	－	－	－	4	1	3
	前年比	▲1	▲2	1	▲1	－	－	2	1	▲2
	活動件数	8	－	2	－	－	－	4	1	1
神 河 町	前年比	1	▲2	2	▲1	－	－	2	1	▲1
	救助人員	6	－	2	－	－	－	3	－	1
	前年比	－	▲3	2	▲1	－	－	2	－	－
	出動件数	9	－	1	－	－	1	2	－	5
	前年比	▲3	▲4	▲1	－	－	1	－	－	1
管 轄 外	活動件数	6	－	1	－	－	－	2	－	3
	前年比	▲1	－	▲1	－	－	－	－	－	－
	救助人員	6	－	1	－	－	－	1	－	4
	前年比	▲2	－	▲2	－	－	－	－	－	－
	出動件数	2	－	2	－	－	－	－	－	－
管 轄 外	前年比	－	▲1	1	－	－	－	－	－	－
	活動件数	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	前年比	▲1	－	▲1	－	－	－	－	－	－
	救助人員	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	前年比	▲1	－	▲1	－	－	－	－	－	－

※ 「活動率」： 救助活動件数÷救助出動件数×100

2 救助出動件数及び出動種別の推移

この10年間の救助出動件数の推移をみると、平成25年をピークに減少傾向にある中、平成29年、平成30年は増加傾向に転じておりましたが、平成31年・令和元年、令和2年は減少しました。令和3年は529件と前年に比べ17件増加しています。出動種別でみると、概ねどの種別も減少していますが、「交通事故」が増加しています。

事故種別	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
火 災	118	106	83	86	66	79	74	71	91	72
交通事故	189	239	184	182	155	176	159	129	89	121
水難事故	17	16	23	22	15	9	15	13	18	16
風水害等	2	-	1	-	-	2	-	1	-	-
機械事故	9	7	4	15	8	5	6	5	7	3
建 物 等	57	86	114	108	121	122	142	156	169	142
ガス・酸欠	8	7	4	3	4	6	3	1	2	2
そ の 他	113	122	118	100	111	138	157	155	136	173
合 計	513	583	531	516	480	537	556	531	512	529



3 署別救助事故発生状況及び活動状況

救助事故の署別発生状況をみると、全体的に減少していますが、飾磨消防署、網干消防署については増加しています。

(令和3年中)

署 別	事故種別	合 計	対前年 増減数	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
姫路東消防署		142	▲1	20	31	3	-	-	39	-	49
姫路西消防署		77	▲8	5	20	3	-	-	36	-	13
飾磨消防署		135	▲6	16	32	1	-	1	37	-	48
網干消防署		66	▲11	2	14	1	-	1	35	-	13
中播消防署		142	26	17	33	9	-	-	46	1	36
受託町		79	3	4	12	8	-	-	43	1	11
管轄外		40	1	6	7	3	-	-	11	-	13
合計		21	2	-	4	1	-	-	10	-	6
合計		68	▲3	13	16	-	-	2	9	1	27
合計		37	3	2	12	-	-	-	9	1	13
合計		38	▲6	8	11	-	-	1	7	1	10
合計		23	2	2	8	-	-	-	7	1	5
合計		2	-	-	2	-	-	-	-	-	-
合計		-	▲1	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		529	17	72	121	16	-	3	142	2	173
合計		280	▲12	13	62	13	-	1	133	2	56

※ 上段は出動件数、下段は活動件数

4 署所別救助事故発生状況

署別では姫路東消防署と飾磨消防署が最も多く、署所別では姫路西消防署本署で最も多く発生しています。

(令和3年中)

事故種別		合 計	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
署 別	姫路東消防署									
	本 署	50	10	4	-	-	-	18	-	18
	御国野	38	3	16	2	-	-	9	-	8
	豊 富	15	4	3	-	-	-	3	-	5
	飾 東	15	2	4	-	-	-	1	-	8
	増 位	24	1	4	1	-	-	8	-	10
	小 計	142	20	31	3	-	-	39	-	49
姫路西消防署	本 署	89	9	22	-	-	1	23	-	34
	飾 西	27	5	3	1	-	-	11	-	7
	林 田	19	2	7	-	-	-	3	-	7
	小 計	135	16	32	1	-	1	37	-	48
飾磨消防署	本 署	61	8	11	7	-	-	16	1	18
	白 浜	38	5	9	1	-	-	13	-	10
	広 畑	32	4	10	-	-	-	14	-	4
	大 的	9	-	3	-	-	-	2	-	4
	家 島	2	-	-	1	-	-	1	-	-
	坊 勢	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小 計	142	17	33	9	-	-	46	1	36
網干消防署	本 署	31	6	5	2	-	-	9	-	9
	勝 原	9	-	2	1	-	-	2	-	4
	小 計	40	6	7	3	-	-	11	-	13
中播消防署	本 署	25	6	10	-	-	-	4	1	4
	香 寺	7	1	-	-	-	-	2	-	4
	夢 前	23	4	5	-	-	1	-	-	13
	北 部	13	2	1	-	-	1	3	-	6
	小 計	68	13	16	-	-	2	9	1	27
管 轄 外	高砂市	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	たつの市	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	加古川市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	加西市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	宍粟市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	太子町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小 計	2	-	2	-	-	-	-	-	-
合 計		529	72	121	16	-	3	142	2	173

5 発生場所別救助事故状況

発生場所は「住居」が 216件と最も多く、主に「建物等による事故」によるものです。「一般道」の105件は、ほとんどが「交通事故」によるものです。

(令和3年中)

事故種別		合 計	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
発生場所	屋 内									
	住 居	216 (206)	25 (23)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	140 (133)	- (-)	51 (50)
道 路	他 屋 内	83 (77)	31 (28)	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (1)	1 (1)	- (-)	49 (46)
	高 速 道	10 (8)	- (-)	9 (7)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)
水 面	一 般 道	105 (96)	2 (2)	97 (88)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	5 (5)
	内 水 面	28 (25)	- (-)	4 (3)	13 (13)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	11 (9)
山 岳	外 水 面	4 (4)	- (-)	- (-)	3 (3)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)
	山 岳	14 (12)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	14 (12)
そ の 他	そ の 他 屋 外	61 (53)	14 (11)	10 (9)	- (-)	- (-)	2 (1)	- (-)	2 (1)	33 (31)
	地 下	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)
そ の 他	そ の 他	7 (7)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	7 (7)
	合 計	529 (489)	72 (64)	121 (108)	16 (16)	- (-)	3 (2)	142 (135)	2 (1)	173 (163)

※ () 内は姫路市の数値

6 水難救助事故の状況

水難事故は、河川、池、海岸部で発生しています。水難事故16件のうち、2件で潜水活動を実施しています。

(令和3年中)

事故形態 発生場所	総 件数	転 落		自 損		交通事故で転落		遊 泳 中		原因不明等		要救 助者 総数	水難 隊 出動	潜水 活動
		件数	負傷者数	件数	負傷者数	件数	負傷者数	件数	負傷者数	件数	負傷者数			
飾磨区 船場川	1									1	70歳代 死	1	○	
広畑区 夢前川	1									1	不明 死	1	○	
その他	14									1	70歳代 死	1	○	
										1	不明 死	1	○	
				1	40歳代 不							1	○	
		1	90歳代 中									1	○	
		1	50歳代 篤									1	○	○
		1	10歳代 中									1	○	
		1	50歳代 軽									1	○	
		1	80歳代 篤									1	○	○
				1	10歳代 重							1	○	
		1	60歳代 不									1	○	
										1	不明 死	1	○	
合 計	16	6	篤2・中2 軽2・不1	2	不1・重1	-	-	-	-	8	死8	16	16	2

※ 死：死亡、篤：重篤、重：重症、中：中等症、軽：軽症、無：無症、不：不明

7 山岳救助事故の状況

山岳事故は、中高年層の登山人口増加とともに増えています。山岳事故14件のうち、5件は急病によるものです。また、要救助者がヘリコプターで搬送された事故が5件発生しています。

(令和3年中)

事故形態 発生場所	総 件数	転落・滑落		転 倒		急 病		道迷い		その他		要救 助者 総数	山岳 隊 招集	ヘリ 搬送
		件数	負傷者数	件数	負傷者数	件数	負傷者数	件数	負傷者数	件数	負傷者数			
雪彦山	3	1	60歳代 重									1		○
						1	30歳代 軽					1		○
								1	70歳代 不			1		
明神山	2			1	60歳代 中							1		○
		1	40歳代 中									1		
ゆめさきの森公園	-													
七種山	-													
笠形山	1							1	50歳代 不 50歳代 不			2		
その他山岳	8					1	70歳代 中					1		○
						1	50歳代 中					1		○
				1	40歳代 中							1		
						1	20歳代 不					1		
								1	80歳代 不			1		
		1	60歳代 軽									1		
						1	70歳代 不					1		
合 計	14	3	重1・中1 軽1	2	中2	5	中2・軽1 不2	3	不4	1	死1	15	5	

※ 死：死亡、篤：重篤、重：重症、中：中等症、軽：軽症、無：無症、不：不明

8 救助出動隊員数及び活動隊員数

(令和3年中)

事故種別 区 分	合 計	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
専任救助隊	1,316	208	371	51	－	9	151	7	519
	375	31	91	29	－	－	108	7	109
兼任救助隊	1,993	490	214	112	－	6	425	9	737
	664	33	82	78	－	5	342	3	121
消防隊員	4,729	1,371	744	122	－	19	533	29	1,911
	1,180	44	294	81	－	3	428	3	327
救急隊員	1,942	279	483	53	－	9	433	6	679
	729	6	175	34	－	3	357	3	151
消防団員	1,380	1,049	－	－	－	－	－	6	325
	51	－	－	－	－	－	－	－	51
合 計	11,360	3,397	1,812	338	－	43	1,542	57	4,171
	2,999	114	642	222	－	11	1,235	16	759

※ 上段は出動隊員数、下段は活動隊員数

9 救助出動車両台数及び活動車両台数

(令和3年中)

事故種別 区 分	合 計	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
救助工作車	438	74	118	17	－	3	56	2	168
	132	11	33	10	－	－	40	2	36
タンク車 S T車	1230	353	131	31	－	3	224	5	483
	360	16	63	24	－	1	181	1	74
梯子車	42	10	－	－	－	－	－	－	32
	1	－	－	－	－	－	－	－	1
化学車	18	7	－	－	－	－	－	－	11
	－	－	－	－	－	－	－	－	－
指揮隊車 指揮車	396	101	119	16	－	3	5	3	149
	86	1	35	9	－	1	3	－	37
救急車	642	92	159	18	－	3	143	2	225
	239	－	58	11	－	1	118	1	50
消防団車両	220	166	－	－	－	－	－	2	52
	5	－	－	－	－	－	－	－	5
その他	65	19	2	15	－	－	－	3	26
	21	1	－	9	－	－	－	1	10
合 計	3,051	822	529	97	－	12	428	17	1,146
	844	29	189	63	－	3	342	5	213

※ 上段は出動車両台数、下段は活動車両台数

10 救助事故別傷病程度

救助された人員の傷病程度を搬送先の医療診断により分類しています。

(令和3年中)

事故種別 区 分	合 計	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
死 亡	14	2	3	3	－	－	1	－	5
重 篤	4	－	1	1	－	－	1	－	1
重 症	20	1	8	1	－	－	2	－	8
中等症	69	－	21	2	－	－	34	－	12
軽 症	35	1	18	－	－	1	10	－	5
不 明	73	7	15	6	－	－	27	－	18
合 計	215	11	66	13	－	1	75	－	49

「不明」：本人拒否等により医療診断を受けなかった人数

11 救助資機材使用状況

(令和3年中)

事故種別		合 計	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等 による 事故	ガス及び 酸欠事故	その他
区 分										
一般救助器具	かぎ付はしご	25	8	5	4	-	-	5	-	3
	三連はしご(二連)	70	20	1	6	-	-	33	-	10
	カラビナ	95	2	14	16	-	-	5	-	58
	担架・縛帯	44	1	5	4	-	-	9	-	25
	その他の他	111	4	16	27	-	-	5	-	59
	小 計	345	35	41	57	-	-	57	-	155
重量物排除器具	油圧スプレッダー	8	-	7	-	-	-	-	-	1
	車両ウィンチ	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	マットジャッキ	2	-	2	-	-	-	-	-	-
	その他の他	19	-	13	2	-	1	-	-	3
	小 計	30	-	23	2	-	1	-	-	4
切断用具	油圧切断機	3	-	3	-	-	-	-	-	-
	エンジンカッター	5	5	-	-	-	-	-	-	-
	鉄線カッター	2	-	1	-	-	-	1	-	-
	グラブソー	13	-	4	-	-	-	6	1	2
	その他の他	18	5	6	-	-	-	5	-	2
	小 計	41	10	14	-	-	-	12	1	4
破壊用具	万能斧	43	12	1	-	-	-	28	-	2
	その他の他	29	6	11	1	-	-	5	-	6
	小 計	72	18	12	1	-	-	33	-	8
測定器具		151	51	-	-	-	-	75	5	20
呼吸保護用具	空気呼吸器	605	438	-	-	-	-	49	7	111
	送排風機	2	2	-	-	-	-	-	-	-
	その他の他	14	8	3	-	-	-	3	-	-
	小 計	621	448	3	-	-	-	52	7	111
隊員保護用具	防護衣	932	60	281	15	-	-	291	8	277
	その他の他	68	13	3	21	-	-	4	-	27
	小 計	1,000	73	284	36	-	-	295	8	304
水難救助器具	潜水器具一式	8	-	-	8	-	-	-	-	-
	救命胴衣	208	-	-	172	-	-	-	-	36
	その他の他	35	-	-	32	-	-	-	-	3
	小 計	251	-	-	212	-	-	-	-	39
山岳救助器具	カラビナ	46	-	-	-	-	-	-	-	46
	テーパー	81	1	-	6	-	-	-	-	74
	その他の他	62	-	-	-	-	-	4	-	58
	小 計	189	1	-	6	-	-	4	-	178
その他救助器具	携帯拡声器	476	201	129	31	-	3	10	2	100
	携帯・可搬無線機	173	57	33	12	-	1	-	1	69
	強力ライト	771	328	151	25	-	-	93	-	174
	応急処置用セット	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	感染防護具	6,426	570	1,767	199	-	32	1,975	19	1,864
	その他の他	2,435	675	698	79	-	12	351	10	610
	小 計	10,282	1,831	2,779	346	-	48	2,429	32	2,817
合 計		12,982	2,467	3,156	660	-	49	2,957	53	3,640

12 救助訓練実施状況

下記訓練とは別に、水難救助訓練（80回、延べ515人）及び山岳救助訓練（61回、延べ621人）を実施しています。

(令和3年中)

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
体力練成及び訓練	184	131	35	74	123	60	100	77	84	108	96	187
	673	504	152	458	529	269	407	287	361	402	362	660
	204:00	168:30	37:00	79:40	167:05	83:00	120:50	82:40	87:30	116:50	98:15	193:00
ロープ基本 応用訓練	39	6	7	26	39	18	13	22	29	36	38	63
	163	16	36	653	147	66	42	87	118	159	168	232
	44:30	29:00	7:00	18:30	32:00	18:00	15:00	22:30	30:30	47:00	47:30	55:30
検索救助 訓練	71	62	25	61	82	45	43	69	81	72	84	71
	352	260	96	272	412	186	193	335	394	360	390	280
	118:10	104:10	36:30	88:25	154:45	77:25	83:50	123:45	150:50	117:55	160:14	111:10
救助器具 取扱訓練	40	22	15	75	56	42	38	56	43	59	57	58
	168	69	55	331	215	161	145	239	194	262	233	204
	47:00	29:50	22:30	94:15	73:30	60:10	62:00	89:05	65:20	87:40	80:30	56:15
救助事象 想定訓練	58	27	19	58	53	48	37	38	54	63	54	72
	244	154	88	221	249	213	190	192	287	341	269	334
	88:20	51:50	36:30	99:40	124:30	92:00	79:30	67:30	97:15	126:40	95:10	137:15
その他の 訓練	22	29	18	64	81	85	70	36	49	58	45	24
	120	111	68	318	363	388	339	184	269	360	277	136
	43:20	48:30	23:30	110:05	330:05	321:45	264:30	63:40	81:15	84:20	87:05	28:00

※ 上段：実施回数、中段：実施延べ人員、下段：実施延べ時間

資 料

このページは空白です。

令和3年度救急車適正利用啓発ポスター入賞作品

金賞（1点）

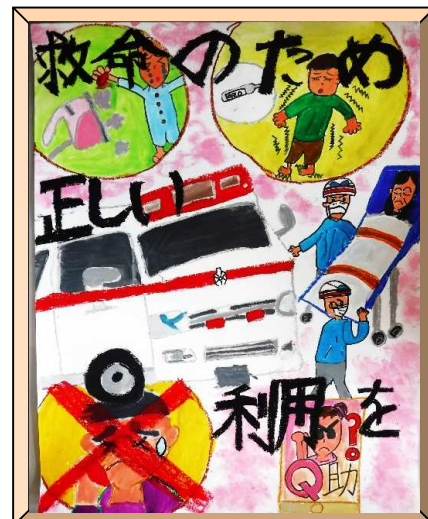


姫路市立城東小学校 2年生
大谷 明梨 さんの作品

銀賞（2点）

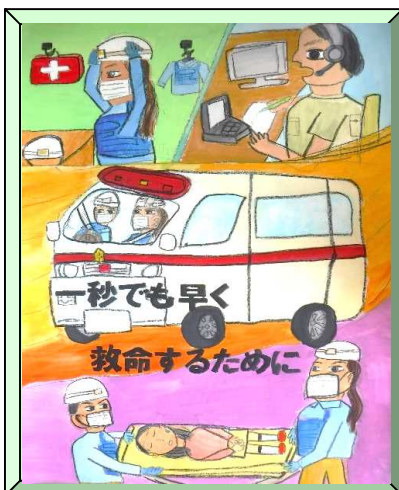


姫路市立増位小学校6年生
田中 真愛 さんの作品

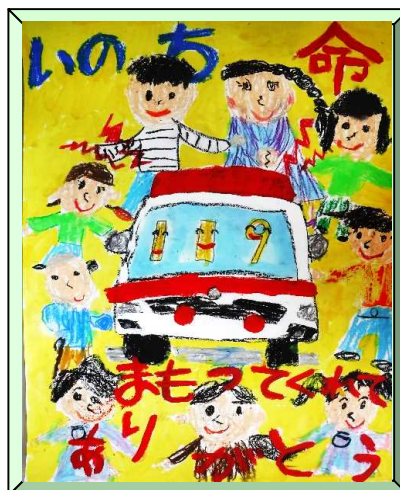


姫路市立大津茂小学校 4年生
赤穂 優依 さんの作品

銅賞（3点）



姫路市立城西小学校 5年生
臼井 愛 さんの作品



姫路市立谷外小学校 2年生
山岡 りんご さんの作品



姫路市立広畑第二小学校 1年生
鳥井 咲綾 さんの作品

このページは空白です。

令和3年度防火ポスター—最優秀賞・金賞作品



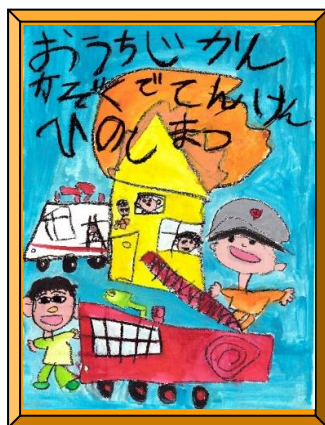
最優秀賞

令和3年秋季火災予防運動ポスター
福崎町立田原小学校 5年生
浅井 優良 さんの作品



最優秀賞

令和4年春季火災予防運動ポスター
姫路市立広畑第二小学校 3年生
柵木 智榎 さんの作品



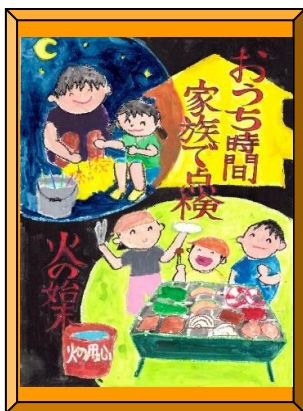
金賞

姫路市立城西小学校 1年生
橋詰 佳晟 さんの作品



金賞

姫路市立城西小学校 2年生
左海 優奈 さんの作品



金賞

姫路市立曾左小学校 4年生
梅宮 煌希 さんの作品



金賞

姫路市立砥堀小学校 4年生
西本 壮良 さんの作品



金賞

姫路市立香呂小学校 6年生
藤井 美緒 さんの作品



姫路市 ホームページ
<https://www.city.himeji.lg.jp>



姫路市消防局 公式Instagram
https://instagram.com/himeji_fd.119

